

# 資料 1 コストの算定条件について

4-3 施設分類別の再編計画におけるコストの算定条件は次のとおりです。

## 1 施設の建替え・改修に係るコスト

### (1) 建替えコスト

施設を建替えるときに発生するコストです。設計費、仮設費、工事費が含まれます。コストの算定では、基本的に建設後 60 年目に建替えを行うとしています。

### (2) 大規模改修コスト

施設の老朽化に伴い、大規模改修を行うときに発生するコストです。設計費、工事費が含まれます。コストの算定では、基本的に建設後 30 年目に大規模改修を行うとしています。

#### 【算定方法】

建替え（新設）・大規模改修単価については、総務省更新費用ソフトの単価（右表）を適用しています。

設計費は単価に 5%含まれているものとし、本計画では工事前の 2 年間で基本設計と詳細設計を行うと仮定しています（大規模改修は 1 年間）。

公共施設は長期にわたり利用されることから、単年度で負担するよりも、市債を発行することによって世代間で負担することとし、本計画の建替え・大規模改修に係るコストについては、以下の条件により、起債償還額を考慮しています。

- ・起債充当率： 75%
- ・償還期間： 20 年（一般的な期間）  
25 年（学校施設の場合）

再編計画において集約化・複合化等を行うため、従来の大規模改修・建替えの時期よりも短時間で解体等を行う建物については、前倒しする直前の大規模改修時のコストを、解体までの期間が 10 年以下の場合は 10 年分に換算（以降、同様に、10 年超 20 年以下の場合は 20 年分に、20 年超 30 年以下の場合は 30 年分にそれぞれ換算）した大規模改修コストを計上しています。

### (3) 仮設費

現在地で建替えを実施する際には、工事期間中は仮設の建物でサービス提供を継続するものとし、仮設建物の工事単価は 6.2 万円/m<sup>2</sup>（附帯設備、引越費用も含む）としています（『平成 25 年度 新営予算単価（国土交通省）』をもとに設定）。

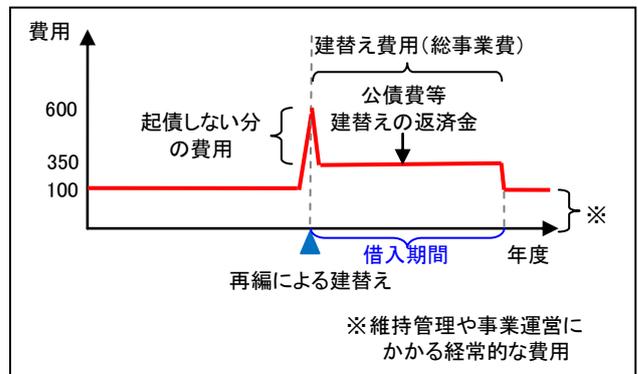
なお、コストの算定では、仮設建物の設置場所（土地）については、既存の市有地（取得済みの用地）を利用することを前提とし、用地取得費については考慮していません。

大規模改修に際しては、建物の一定範囲を区画化して順次実施することや、緊急性の高い改修については休日及び夜間に実施するなど、業務が停滞しないように配慮しながら行うものとするので、一時移転のための仮設費がかからないものとしします。

図表 建替え・大規模改修単価

	大規模改修		建替え	
	単価	償還年	単価	償還年
行政系施設	万円/m <sup>2</sup>	25	万円/m <sup>2</sup>	40
社会教育系施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
市民文化系施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
産業系施設	万円/m <sup>2</sup>	20	万円/m <sup>2</sup>	36
医療施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
保健・福祉施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
スポーツ・レクリエーション系施設	万円/m <sup>2</sup>	17	万円/m <sup>2</sup>	33
供給処理施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
学校教育系施設	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
子育て支援施設	万円/m <sup>2</sup>	20	万円/m <sup>2</sup>	36
公園	万円/m <sup>2</sup>		万円/m <sup>2</sup>	
市営住宅	万円/m <sup>2</sup>		28	万円/m <sup>2</sup>
その他	万円/m <sup>2</sup>		36	万円/m <sup>2</sup>

図表 建替え・大規模改修に係る起債の条件



#### (4) 移転時の用地取得費

移転した場所で施設を建てる際は、市有地（取得済みの用地）へ移転することを前提として、用地取得費は不要としています。

#### (5) 民間活用による建替え・大規模改修費（PFI 方式等）

民間事業者による建替え・大規模改修を実施するケース（PFI 方式等）では、特に記載のないものについては、従来方式と比べ、建替え及び大規模改修費、仮設費等の建設費の縮減効果を 10%と仮定しています。

## 2 施設の維持管理・事業運営に係るコスト

### (1) 維持管理に係るコスト

公共施設白書（平成 24 年 3 月作成）から各施設の修繕費・光熱費・建物管理費・賃借料等の支出を引用しています。

### (2) 保全の実務に携わる職員の人件費

各施設の点検や、改修計画策定など保全の実務に携わっている職員の人数を基に、施設分類別に延床面積あたりの人件費単価（下表）を設定しています。

保全の実務に携わる職員の人件費＝人件費単価（千円/㎡）×施設延床面積（㎡）		
施設分類	人件費単価	【単価設定の条件】 ・保全の実務に携わる職員の人数 どもみらい課:3.5 人(保育園、子どもの家・子ども会館、子育て支援センター)、 学校施設課:6 人(小中学校)、管財課:1.2 人(本庁舎)、 建築住宅課:14 名(その他施設) ・事務事業評価に用いた H24 職員人件費の平均額を適用: 8,178 千円(超過勤務手当額を含む) ・延床面積は、公共施設白書(平成 24 年 3 月)から引用。
保育園等 (子育て支援施設)	2.5(千円/㎡)	
小中学校	0.3(千円/㎡)	
本庁舎	0.8(千円/㎡)	
その他施設 (上記に含まれない施設)	0.8(千円/㎡)	

### (3) 事業運営に係るコスト

公共施設白書から、各施設の事業運営に係る人件費・指定管理料・委託費・負担金補助等の支出を引用しています。

事業運営に係るコストについては、基本的に再編前後でサービスの内容は変わらないものと仮定しています。ただし、施設数が増えるなどサービス提供方法に大きな変化が想定される場合には、個別に条件を設定しています。

### (4) 民間活用による維持管理、事業運営（民間委託、指定管理、包括管理等）

民間事業者による建物の維持管理や、事業運営を実施するケースでは、特に記載のないものについては、従来方式と比べ、維持管理及び事業運営に係るコストの縮減効果を 10%と仮定しています。

## 3 再編による空き用地の借地料

再編によって空き用地が発生した場合、借地による収入を想定します。

貸付料は、本市が県から借用している実績価格等をもとに年間 7 千円/㎡とし、施設廃止の翌年から毎年収入があるものとします。

## 資料2 公共施設再編計画策定に向けたアンケート調査結果について

### 1. アンケート調査の実施方法

調査の目的：平成24年度に鎌倉市公共施設再編計画基本方針を策定するにあたり、市民の公共施設の利用状況や公共施設に対する意識などを確認することを目的に実施。

調査の期間：平成24年12月10日(月)～12月19日(水)まで

調査の対象：平成24年12月1日現在、本市在住の18歳以上の方から2,000人を無作為抽出

調査の方法：郵送方式

回答者数：828人(回答率41.4%)

### 2. アンケート調査の結果

#### (1) 回答者の属性

##### 【問1】性別

	回答数	割合
男	366	44.2%
女	456	55.1%
無回答	6	0.7%
合計	828	100.0%

##### 参考) 市民全体の男女比率[H24.12.1現在]

	市民全体	割合
男	82,089	47.2%
女	91,968	52.8%
合計	174,057	100.0%

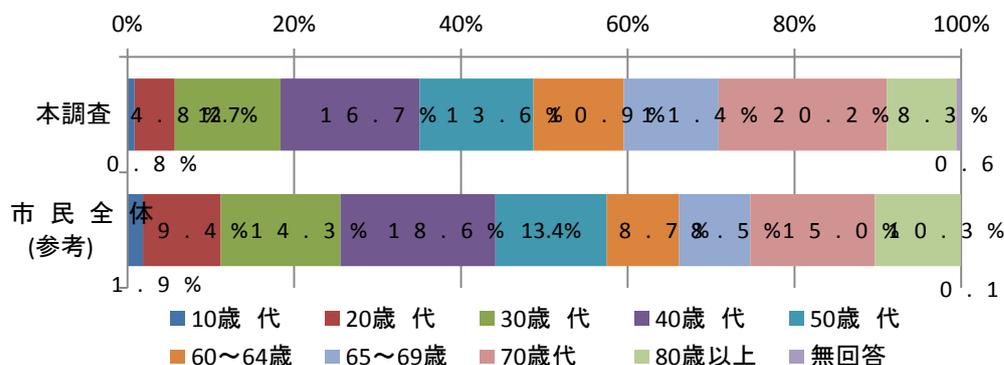
※アンケート調査対象者抽出時の平成24年12月1日現在

##### 【問2】年齢

	回答数	割合
10歳代	7	0.8%
20歳代	40	4.8%
30歳代	105	12.7%
40歳代	138	16.7%
50歳代	113	13.6%
60～64歳	90	10.9%
65～69歳	94	11.4%
70歳代	167	20.2%
80歳以上	69	8.3%
無回答	5	0.6%
合計	828	100.0%

##### 参考) 市民全体の年代別比率[H25.1.1現在]

	市民全体	割合	
		全体	18歳以上
10歳未満	13,685	7.9%	
10歳代	14,273	8.2%	
18・19歳	2,765	1.6%	1.9%
20歳代	13,917	8.0%	9.4%
30歳代	21,300	12.2%	14.3%
40歳代	27,639	15.9%	18.6%
50歳代	19,862	11.4%	13.4%
60～64歳	12,897	7.4%	8.7%
65～69歳	12,687	7.3%	8.5%
70歳代	22,248	12.8%	15.0%
80歳以上	15,321	8.8%	10.3%
不明	78	0.0%	0.1%
合計(18歳以上)	148,714	85.5%	100.0%
合計(全体)	173,907	100.0%	



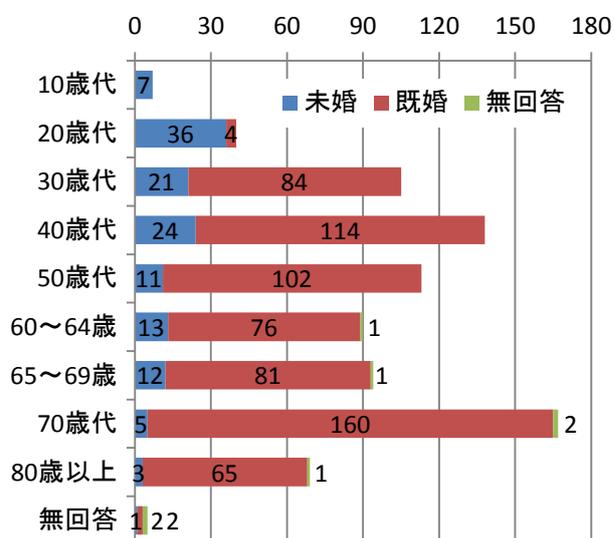
※市民全体は18歳以上(本調査の対象)の分布  
(年齢階級別データは1月1日現在の値のみ)

【問3】職業

	自営業	勤め人	専業主婦・主夫	学生	無職	無回答	合計
10歳代	0	0	0	7	0	0	7
20歳代	2	19	2	12	5	0	40
30歳代	7	60	36	0	2	0	105
40歳代	12	75	46	0	4	1	138
50歳代	9	73	25	0	5	1	113
60～64歳	8	30	24	0	27	1	90
65～69歳	8	12	35	0	39	0	94
70歳代	7	11	55	0	94	0	167
80歳以上	3	0	10	0	55	1	69
無回答	0	1	1	0	1	2	5
合計	56	281	234	19	232	6	828
(割合)	6.8%	33.9%	28.3%	2.3%	28.0%	0.7%	100.0%

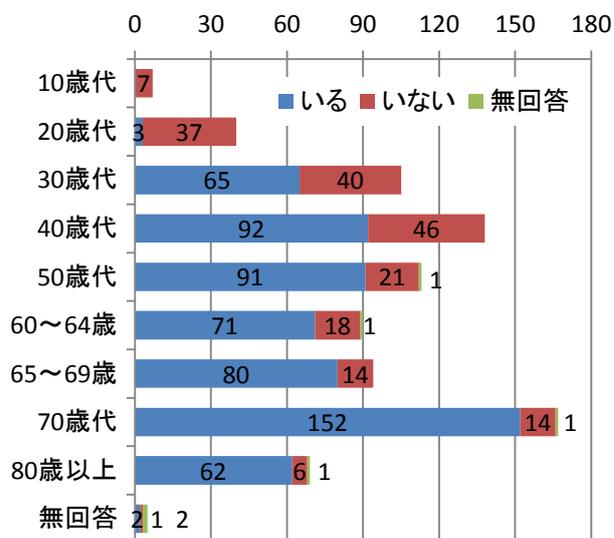
【問4】結婚について

	未婚	既婚	無回答	合計
10歳代	7	0	0	7
20歳代	36	4	0	40
30歳代	21	84	0	105
40歳代	24	114	0	138
50歳代	11	102	0	113
60～64歳	13	76	1	90
65～69歳	12	81	1	94
70歳代	5	160	2	167
80歳以上	3	65	1	69
無回答	1	2	2	5
合計	133	688	7	828
(割合)	16.1%	83.1%	0.8%	100.0%



【問5】子どもについて

	いる	いない	無回答	合計
10歳代	0	7	0	7
20歳代	3	37	0	40
30歳代	65	40	0	105
40歳代	92	46	0	138
50歳代	91	21	1	113
60～64歳	71	18	1	90
65～69歳	80	14	0	94
70歳代	152	14	1	167
80歳以上	62	6	1	69
無回答	2	1	2	5
合計	618	204	6	828
(割合)	74.6%	24.6%	0.7%	100.0%

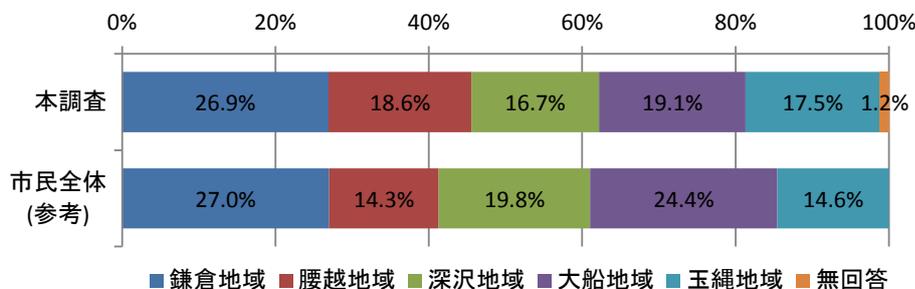


【問6】居住地域

	回答数	割合
鎌倉地域	223	26.9%
腰越地域	154	18.6%
深沢地域	138	16.7%
大船地域	158	19.1%
玉縄地域	145	17.5%
無回答	10	1.2%
合計	828	100.0%

参考) 市民全体の地域比率 [H24. 12. 1 現在]

	市民全体	割合
鎌倉地域	46,979	27.0%
腰越地域	24,892	14.3%
深沢地域	34,380	19.8%
大船地域	42,456	24.4%
玉縄地域	25,350	14.6%
合計	174,057	100.0%



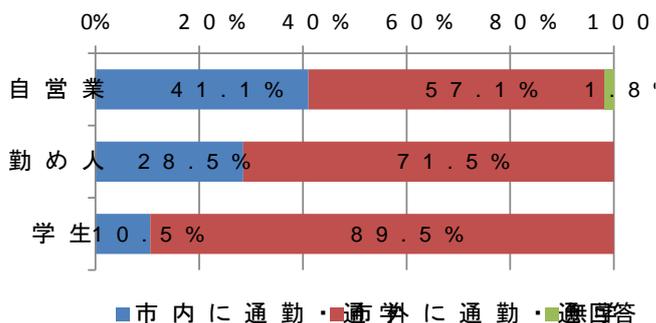
【問7】居住年数

	回答数	割合
1年未満	17	2.1%
1年以上5年未満	76	9.2%
5年以上10年未満	83	10.0%
10年以上20年未満	147	17.8%
20年以上50年未満	386	46.6%
50年以上	113	13.6%
無回答	6	0.7%
合計	828	100.0%

【問8・9】鎌倉市に住む理由 (次ページ)

【問10】鎌倉市内に通勤・通学しているか

	鎌倉市内に		通勤・通学 していない	無回答	合計
	通勤	通学			
自営業	23	0	32	1	56
勤め人	77	3	201	0	281
専業主婦・主夫	15	0	203	16	234
学生	0	2	17	0	19
無職	5	1	200	26	232
無回答	2	0	2	2	6
合計 (割合)	122 14.7%	6 0.7%	655 79.1%	45 5.4%	828 100.0%



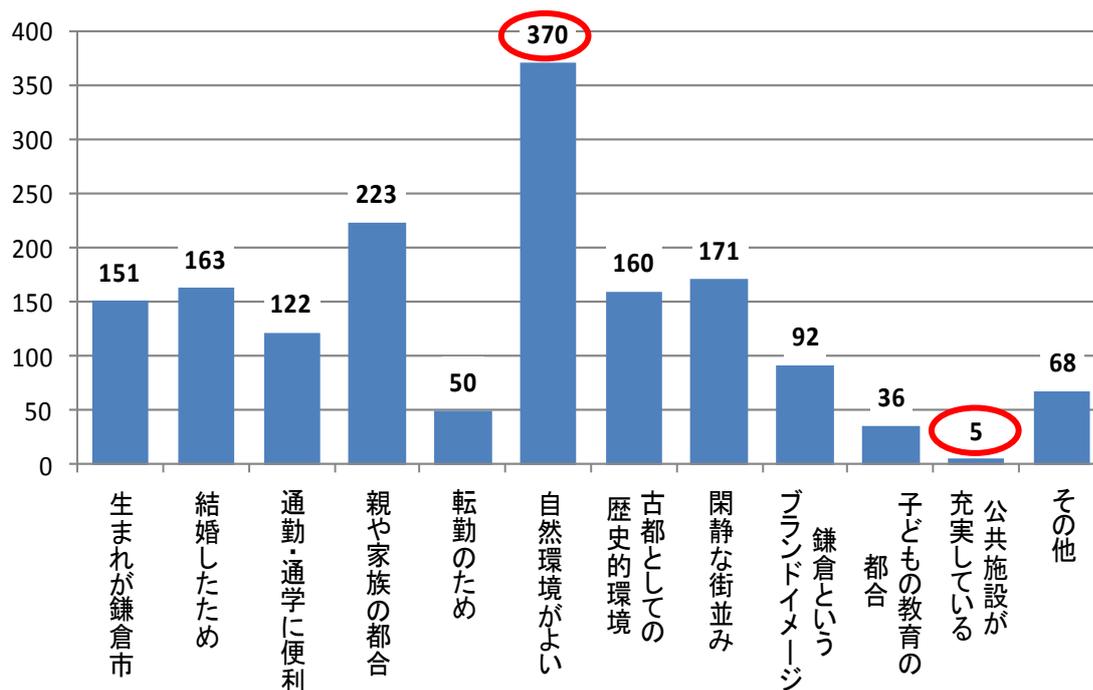
【問8・問9】鎌倉市に住む理由

あなたが鎌倉市に住む理由は何ですか？ 3つまで選んでください。

	回答数	割合
生まれが鎌倉市	151	18.2%
結婚したため	163	19.7%
通勤・通学に便利	122	14.7%
親や家族の都合	223	26.9%
転勤のため	50	6.0%
自然環境がよい	370	44.7%
古都としての歴史的環境	160	19.3%
閑静な街並み	171	20.7%
鎌倉というブランドイメージ	92	11.1%
子どもの教育の都合	36	4.3%
公共施設が充実している	5	0.6%
その他	68	8.2%
無回答者(全て該当無含む)	10	1.2%
本設問の回答者数	818	98.8%
回答者数	828	100.0%

問9 その他

- ・ 息子夫婦・娘夫婦と同居、近居のため 等
- ・ 社宅があるため
- ・ 親が建てた家がある、親が住んでいたから 等
- ・ 子どもの頃から住んでいる・育ちが鎌倉・代々住んでいるため 等
- ・ 配偶者が鎌倉出身、配偶者の実家に近い 等
- ・ 事業のため、自営のため（職住近接）、就職のため 等
- ・ 海の遊びが好き・海が好き・海が見える所
- ・ 作品制作・発表の場として
- ・ 土地を探していて条件（希望金額、駅からの近さ等）に合った、分譲地に当たった 等
- ・ 物価の安さ、利便性がよい、住みやすさ、環境と家賃のバランス 等
- ・ 友人が多く住んでいるため
- ・ 交通の便が良い、大船駅まで歩けるため
- ・ 地域の安全性、駅前の下町感、大船駅周辺の活気、人の雰囲気 等
- ・ あこがれ



- 「自然環境の良さ」を理由に挙げる人が突出しており、他の回答の2倍程度多い。
- 歴史的環境・閑静な街並みといった街の魅力、親や家族の都合も比較的多い。
- 公共施設の充実を「住む理由の上位3つ」に挙げる人は少ない。

(2) 公共施設の利用状況

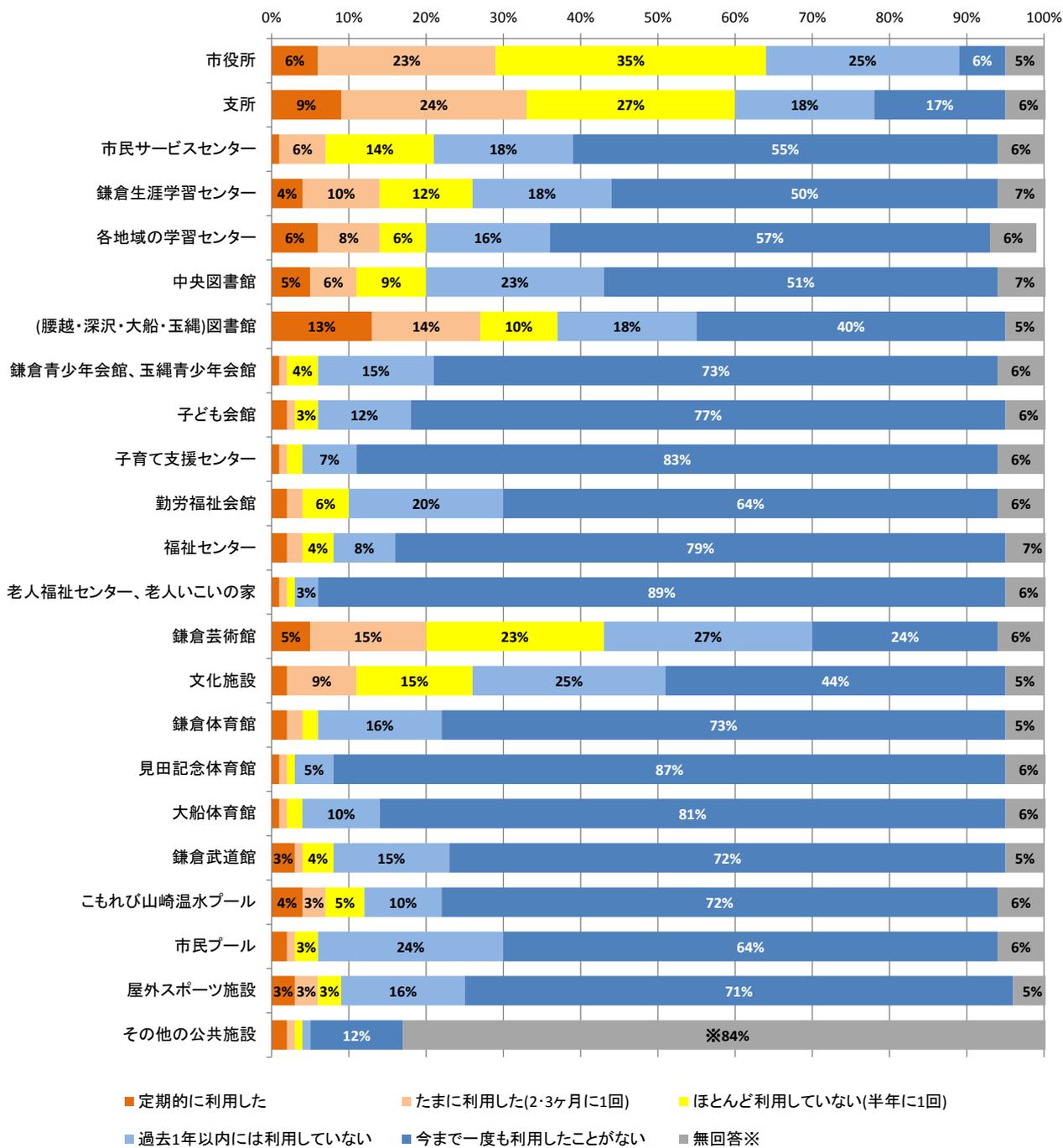
【問 11】：公共施設の利用状況

あなたは過去1年間に鎌倉市の公共施設をどのくらい利用しましたか？  
以下の施設ごとに1つお答え下さい。

	定期的に 利用した	たまに 利用した	ほとんど利用 していない	過去1年以内 には利用して いない	今まで一度も 利用したこと がない	無回答	合計
市役所	50 6.0%	193 23.3%	287 34.7%	208 25.1%	51 6.2%	39 4.7%	828 100.0%
支所	75 9.1%	195 23.6%	226 27.3%	147 17.8%	138 16.7%	47 5.7%	828 100.0%
市民サービスセンター	5 0.6%	50 6.0%	116 14.0%	148 17.9%	456 55.1%	53 6.4%	828 100.0%
鎌倉生涯学習センター	30 3.6%	83 10.0%	98 11.8%	150 18.1%	412 49.8%	55 6.6%	828 100.0%
各地域の学習センター	49 5.9%	67 8.1%	52 6.3%	136 16.4%	471 56.9%	53 6.4%	828 100.0%
中央図書館	40 4.8%	53 6.4%	71 8.6%	190 22.9%	418 50.5%	56 6.8%	828 100.0%
(腰越・深沢・大船・玉縄) 図書館	107 12.9%	117 14.1%	80 9.7%	149 18.0%	331 40.0%	44 5.3%	828 100.0%
鎌倉青少年会館、 玉縄青少年会館	12 1.4%	11 1.3%	29 3.5%	124 15.0%	602 72.7%	50 6.0%	828 100.0%
子ども会館	16 1.9%	8 1.0%	23 2.8%	95 11.5%	639 77.2%	47 5.7%	828 100.0%
子育て支援センター	10 1.2%	8 1.0%	15 1.8%	61 7.4%	685 82.7%	49 5.9%	828 100.0%
勤労福祉会館	13 1.6%	19 2.3%	51 6.2%	169 20.4%	527 63.6%	49 5.9%	828 100.0%
福祉センター	14 1.7%	17 2.1%	29 3.5%	63 7.6%	650 78.5%	55 6.6%	828 100.0%
老人福祉センター、 老人いこいの家	10 1.2%	4 0.5%	8 1.0%	26 3.1%	734 88.6%	46 5.6%	828 100.0%
鎌倉芸術館	43 5.2%	121 14.6%	194 23.4%	225 27.2%	199 24.0%	46 5.6%	828 100.0%
文化施設	16 1.9%	75 9.1%	120 14.5%	207 25.0%	367 44.3%	43 5.2%	828 100.0%
鎌倉体育館	17 2.1%	17 2.1%	19 2.3%	129 15.6%	601 72.6%	45 5.4%	828 100.0%
見田記念体育館	4 0.5%	5 0.6%	11 1.3%	41 5.0%	721 87.1%	46 5.6%	828 100.0%
大船体育館	12 1.4%	5 0.6%	13 1.6%	81 9.8%	670 80.9%	47 5.7%	828 100.0%
鎌倉武道館	22 2.7%	11 1.3%	29 3.5%	125 15.1%	597 72.1%	44 5.3%	828 100.0%
こもれび山崎温水プール	36 4.3%	25 3.0%	38 4.6%	86 10.4%	594 71.7%	49 5.9%	828 100.0%
市民プール	17 2.1%	11 1.3%	22 2.7%	200 24.2%	531 64.1%	47 5.7%	828 100.0%
屋外スポーツ施設	25 3.0%	22 2.7%	21 2.5%	132 15.9%	584 70.5%	44 5.3%	828 100.0%
その他の公共施設	14 1.7%	12 1.4%	4 0.5%	5 0.6%	100 12.1%	693 83.7%	828 100.0%

※その他公共施設の無回答には、施設名記入無しを含む

<全体>



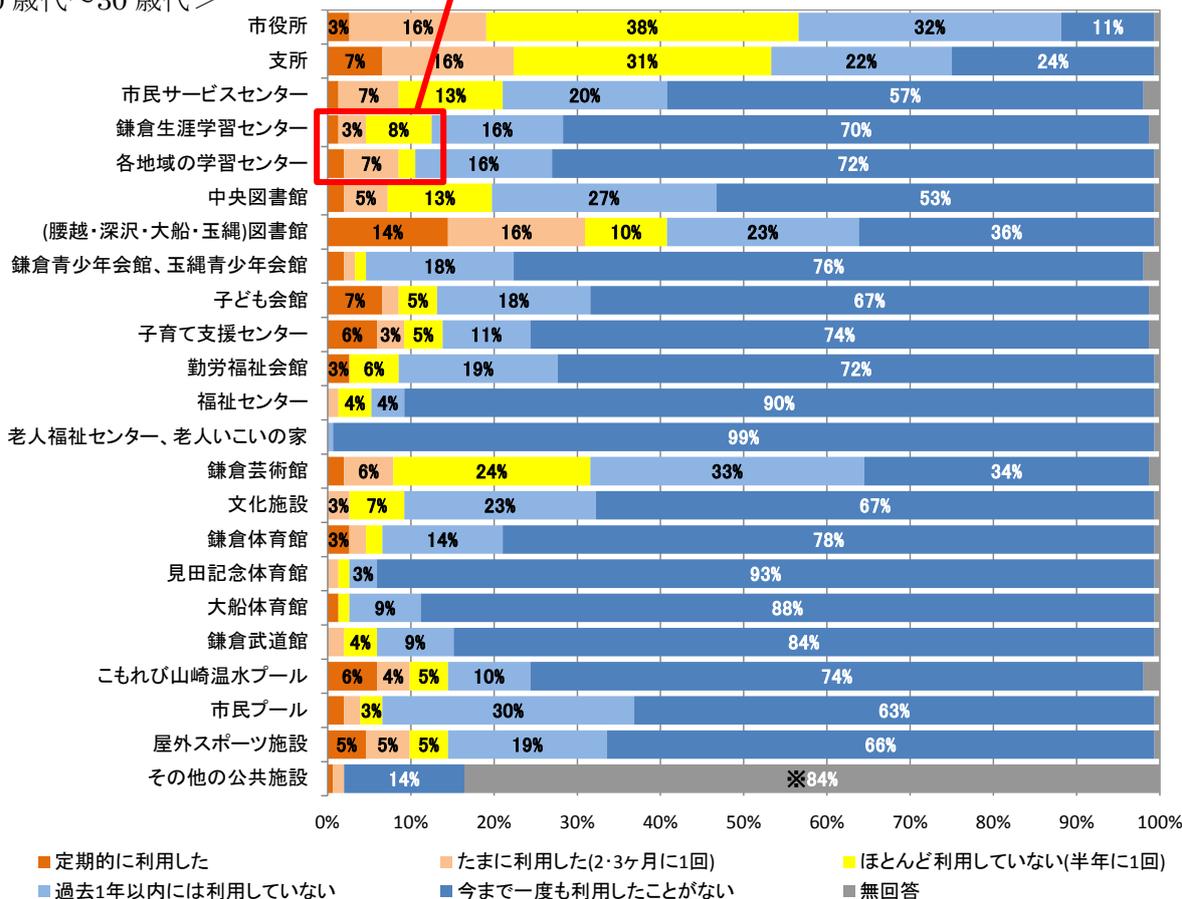
※その他公共施設の無回答には、施設名記入無しを含む

○最もよく利用されている施設(回答で、定期的にご利用した、たまにご利用したと回答があったもの)は市役所・支所で、次いで図書館、鎌倉芸術館、文化施設(国宝館等)などとなっている。

【年代別】

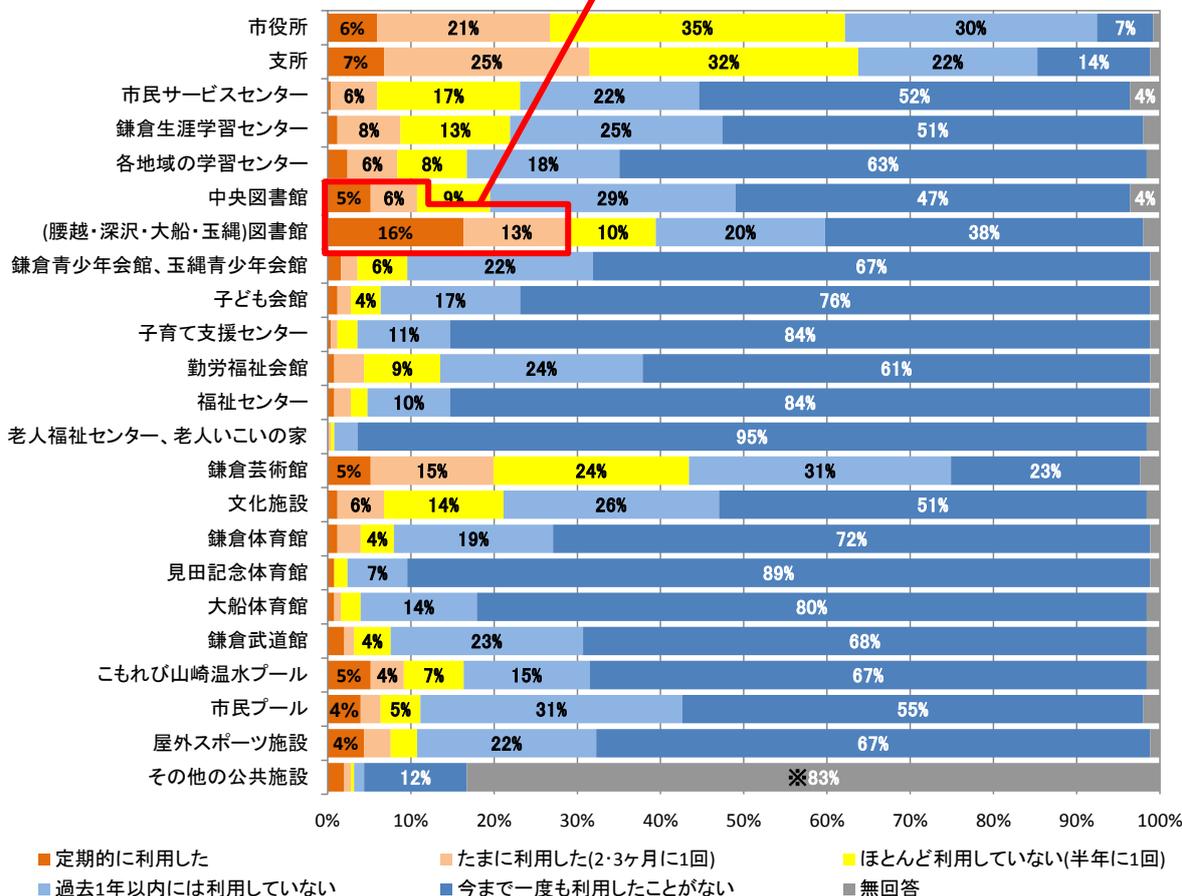
<10歳代~30歳代>

他の年齢層に比べて、学習センターを利用する人の割合が小さい

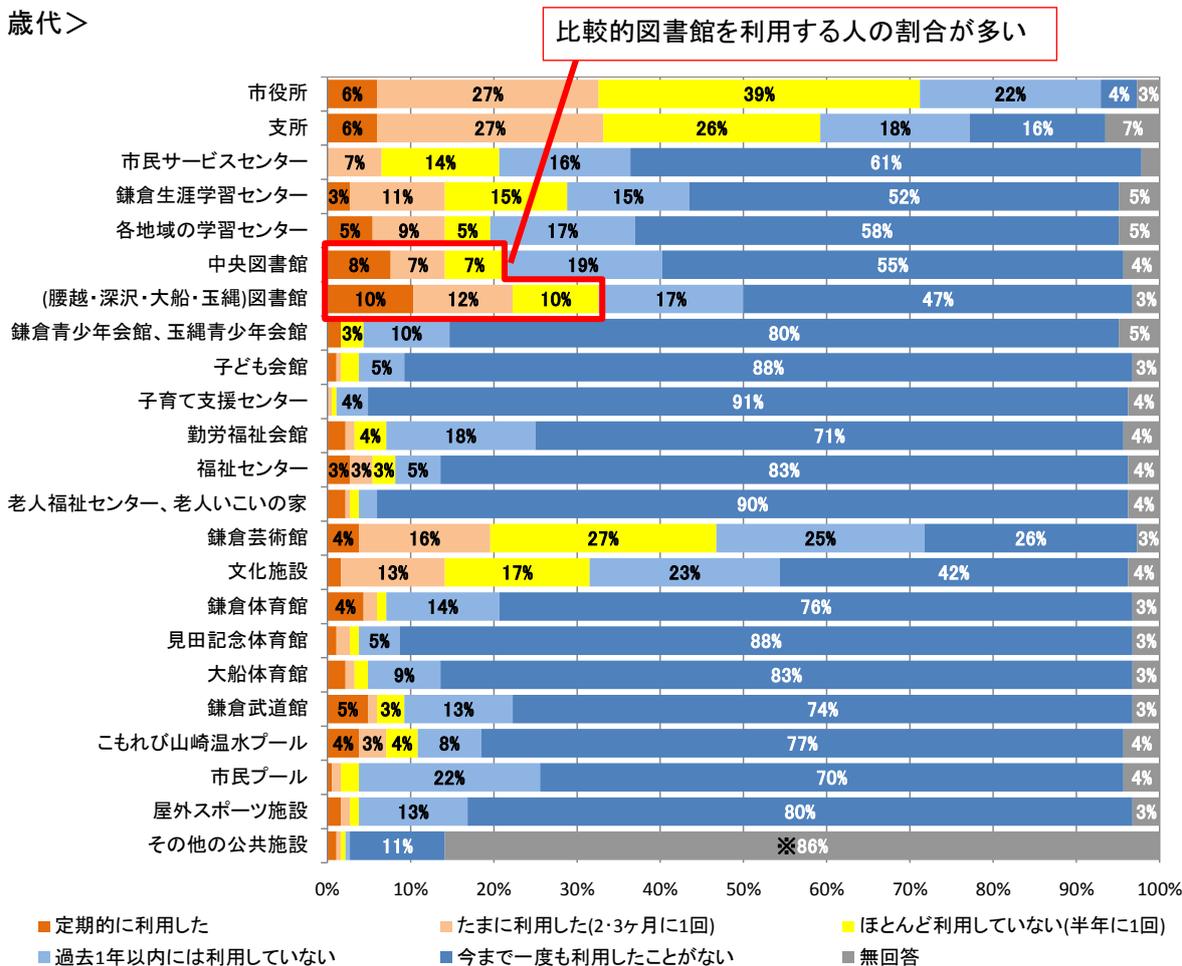


<40歳代~50歳代>

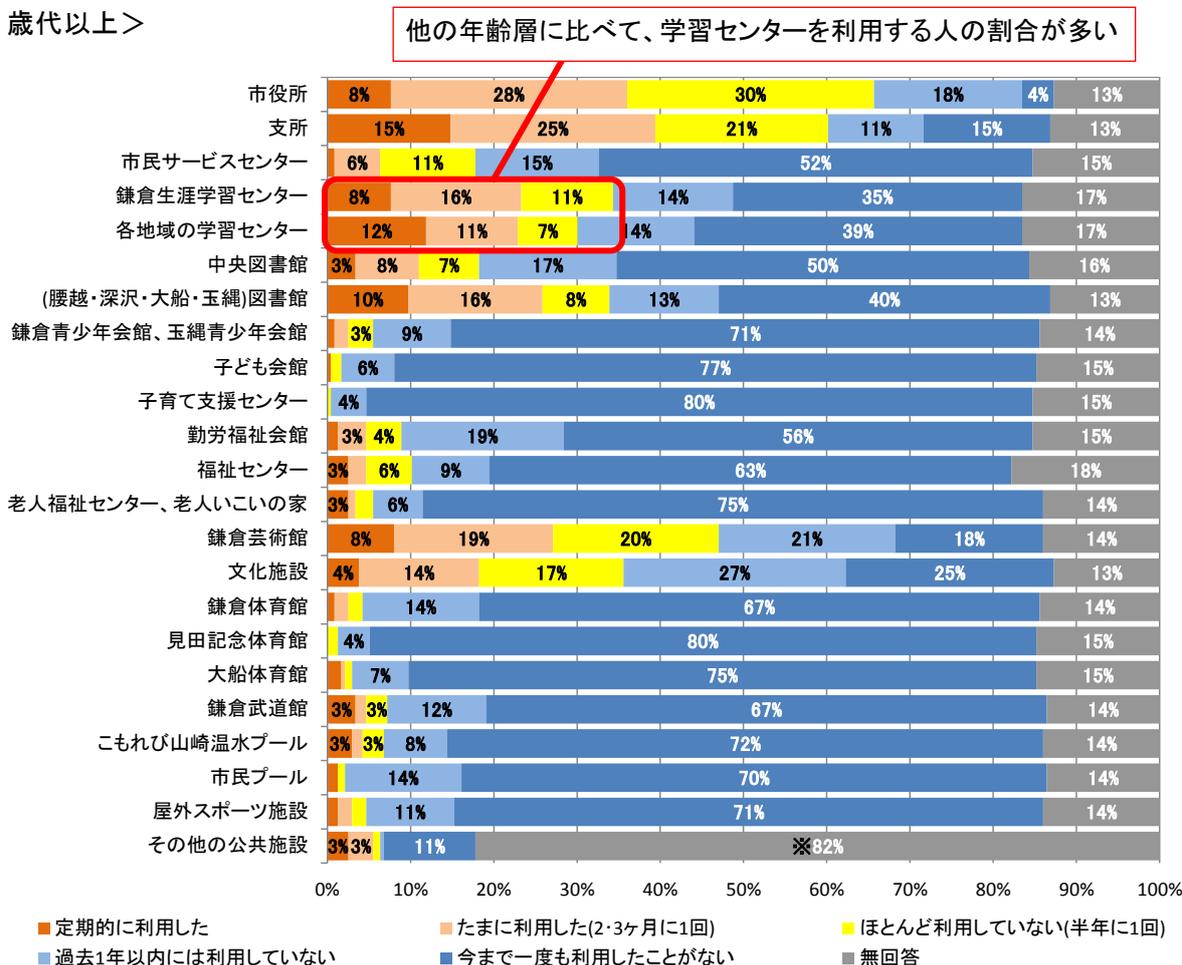
他の年齢層に比べて、図書館を利用する人の割合が多い



<60 歳代>



<70 歳代以上>



【問 12】：あまり施設を利用しない理由

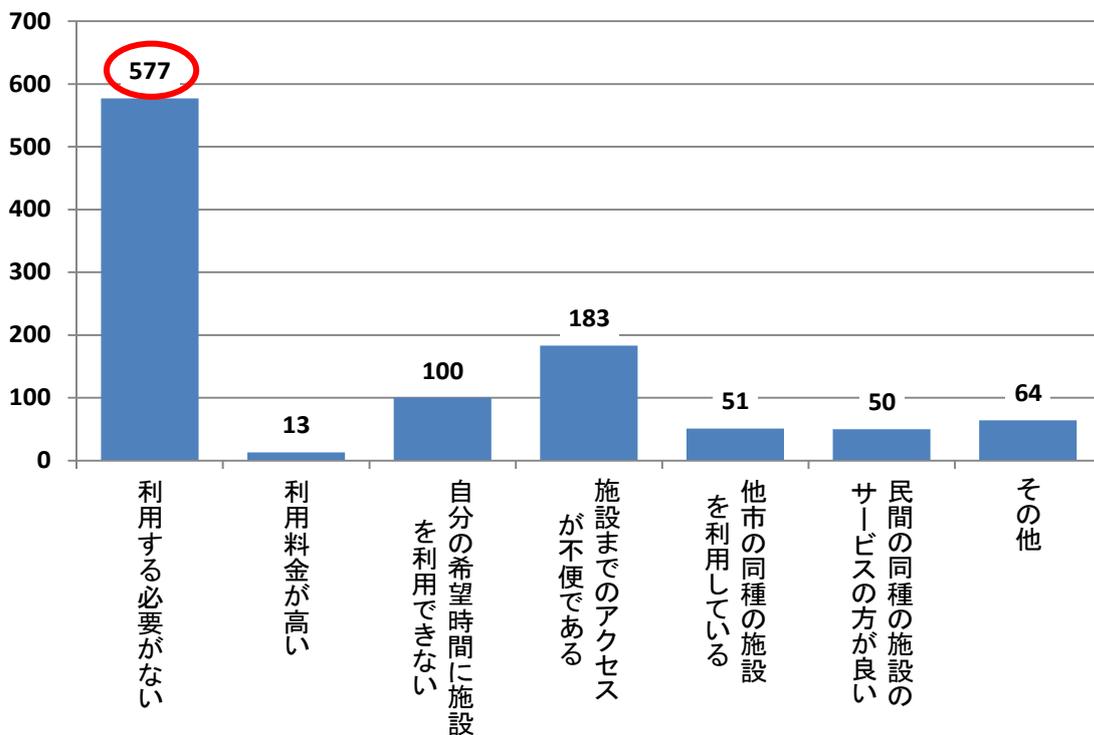
【問 11 で「3. ほとんど利用していない」、「4. 過去 1 年以内には利用していない」、「5. 今まで一度も利用したことがない」と回答された方に】

あなたが鎌倉市の公共施設を利用されない理由は何ですか？（複数回答可）

- ①利用する必要がない
- ②利用料金が低い
- ③自分の希望時間に施設を利用できない
- ④施設までのアクセスが不便である
- ⑤他市の同種の施設を利用している
- ⑥民間の同種の施設のサービス（設備・対応）の方が良い
- ⑦その他

	回答数	割合
①利用する必要がない	577	69.7%
②利用料金が低い	13	1.6%
③自分の希望時間に施設を利用できない	100	12.1%
④施設までのアクセスが不便である	183	22.1%
⑤他市の同種の施設を利用している	51	6.2%
⑥民間の同種の施設のサービスの方が良い	50	6.0%
⑦その他	64	7.7%
無回答者(全て該当無含む)	110	13.3%
本設問の回答者数	718	86.7%
回答者数	828	100.0%

※割合はアンケート回答者数828人に対する値



○アクセスや利用時間の不便さよりも、公共施設を利用する必要がないとの回答が多い。

【問 13】：本市施設の充実度

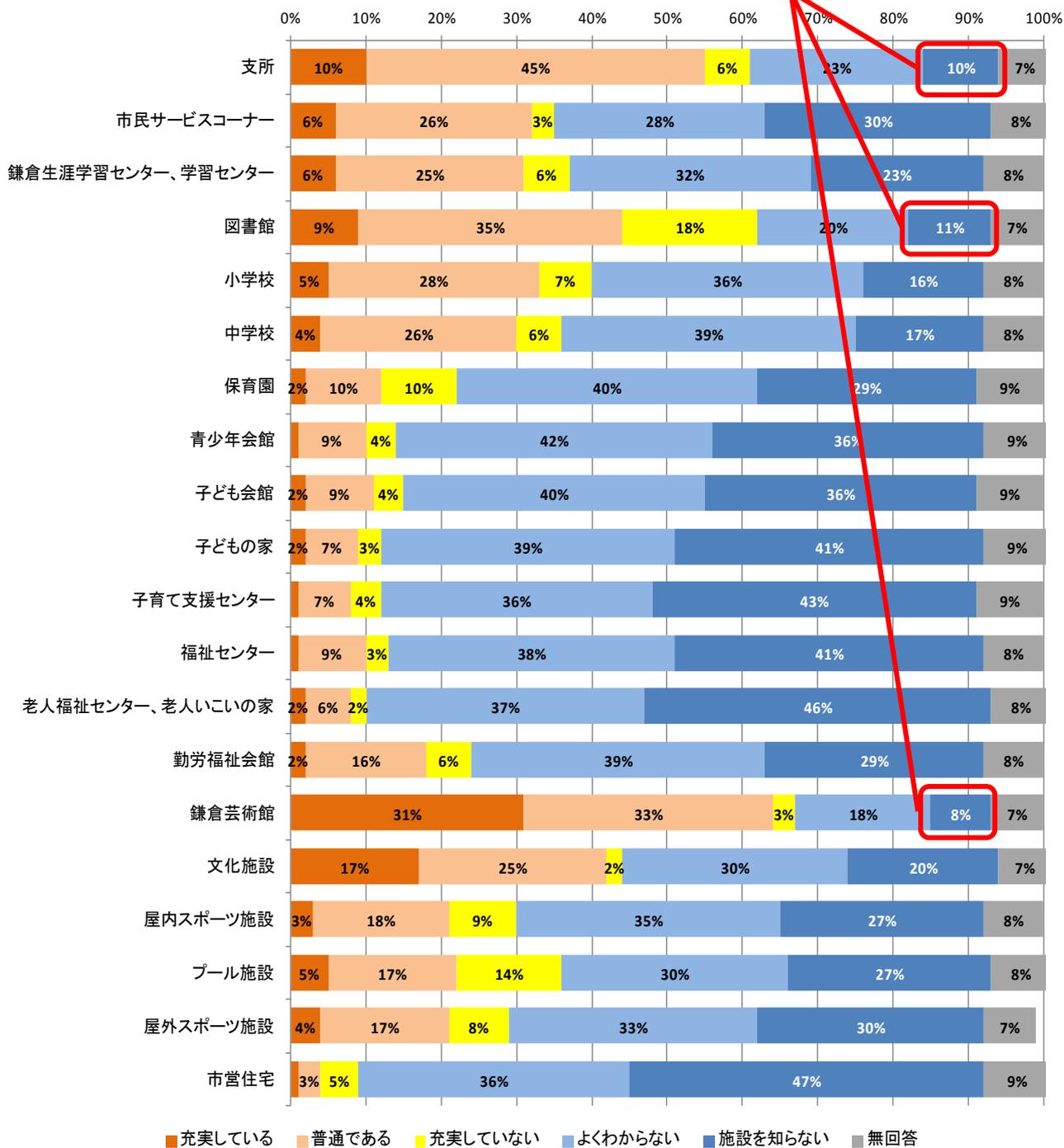
鎌倉市の公共施設の量やサービスの内容は他の市町村と比べて充実していると思いますか？

以下の施設毎に1つお答えください。

	充実している	普通である	充実していない	よくわからない	施設を知らない	無回答	合計
支所	81 9.8%	374 45.2%	46 5.6%	192 23.2%	81 9.8%	54 6.5%	828 100.0%
市民サービスコーナー	53 6.4%	214 25.8%	25 3.0%	229 27.7%	244 29.5%	63 7.6%	828 100.0%
鎌倉生涯学習センター、学習センター	47 5.7%	205 24.8%	49 5.9%	265 32.0%	194 23.4%	68 8.2%	828 100.0%
図書館	72 8.7%	289 34.9%	146 17.6%	168 20.3%	94 11.4%	59 7.1%	828 100.0%
小学校	43 5.2%	230 27.8%	59 7.1%	300 36.2%	128 15.5%	68 8.2%	828 100.0%
中学校	33 4.0%	212 25.6%	51 6.2%	320 38.6%	143 17.3%	69 8.3%	828 100.0%
保育園	16 1.9%	82 9.9%	86 10.4%	333 40.2%	240 29.0%	71 8.6%	828 100.0%
青少年会館	11 1.3%	71 8.6%	30 3.6%	347 41.9%	298 36.0%	71 8.6%	828 100.0%
子ども会館	20 2.4%	76 9.2%	33 4.0%	327 39.5%	300 36.2%	72 8.7%	828 100.0%
子どもの家	18 2.2%	57 6.9%	25 3.0%	321 38.8%	336 40.6%	71 8.6%	828 100.0%
子育て支援センター	12 1.4%	61 7.4%	35 4.2%	295 35.6%	353 42.6%	72 8.7%	828 100.0%
福祉センター	10 1.2%	74 8.9%	27 3.3%	314 37.9%	336 40.6%	67 8.1%	828 100.0%
老人福祉センター、老人いこいの家	16 1.9%	46 5.6%	15 1.8%	304 36.7%	381 46.0%	66 8.0%	828 100.0%
勤労福祉会館	16 1.9%	131 15.8%	52 6.3%	326 39.4%	237 28.6%	66 8.0%	828 100.0%
鎌倉芸術館	254 30.7%	273 33.0%	27 3.3%	150 18.1%	65 7.9%	59 7.1%	828 100.0%
文化施設	137 16.5%	203 24.5%	17 2.1%	250 30.2%	166 20.0%	55 6.6%	828 100.0%
屋内スポーツ施設	24 2.9%	149 18.0%	77 9.3%	288 34.8%	224 27.1%	66 8.0%	828 100.0%
プール施設	40 4.8%	143 17.3%	118 14.3%	245 29.6%	220 26.6%	62 7.5%	828 100.0%
屋外スポーツ施設	32 3.9%	142 17.1%	69 8.3%	273 33.0%	251 30.3%	61 7.4%	828 100.0%
市営住宅	5 0.6%	22 2.7%	45 5.4%	297 35.9%	385 46.5%	74 8.9%	828 100.0%

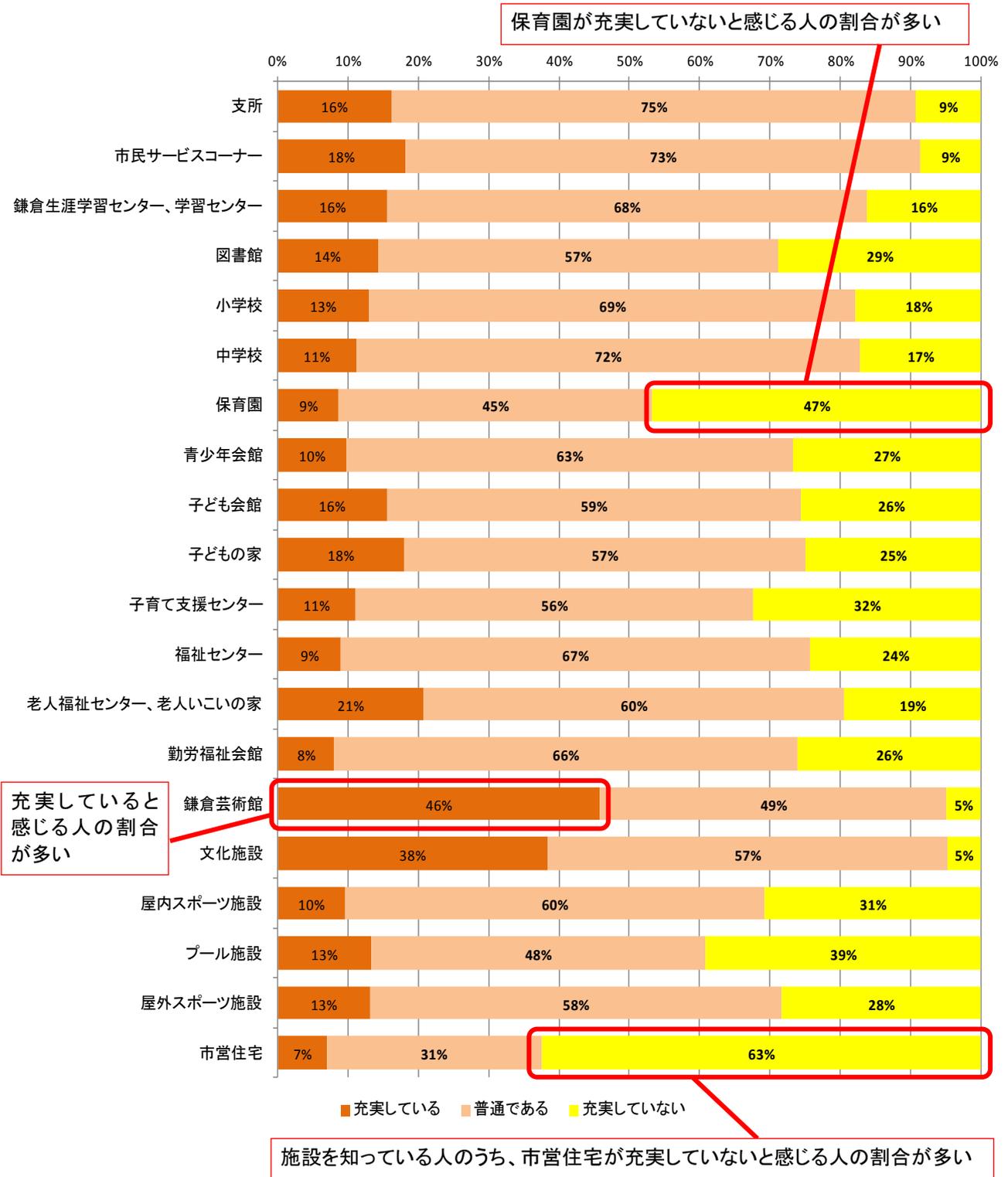
<全体>

支所、図書館、鎌倉芸術館は施設を知らないという人の割合が少ない



○支所、図書館、鎌倉芸術館はよく知られている。  
 ○問 11 で比較的よく利用されていると回答があった鎌倉芸術館や文化施設は、充実した施設として受け止められている。  
 ○上記施設以外は「よくわからない」、「施設を知らない」人の割合が多い。

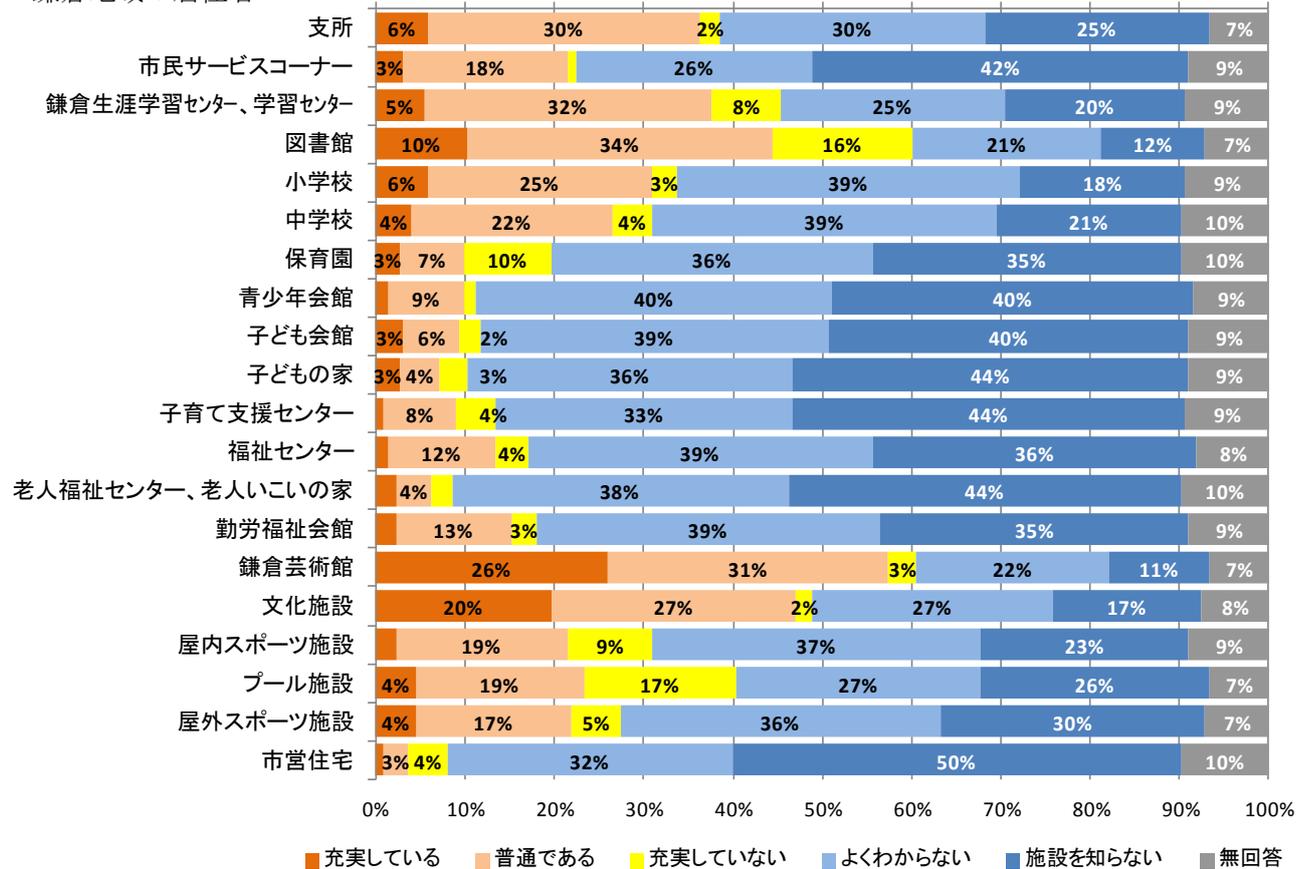
<「よくわからない」「施設を知らない」「無回答」を除いたデータ>



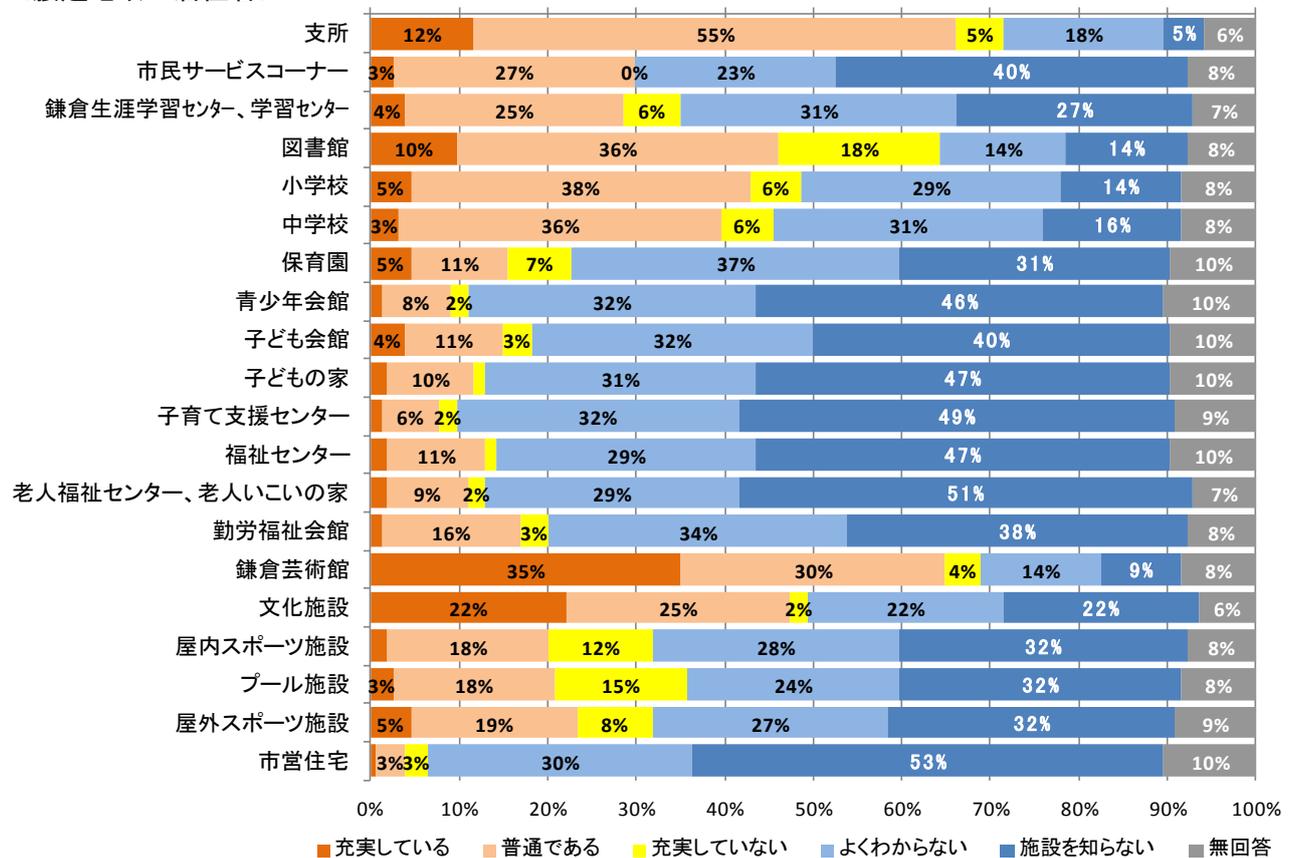
○ 保育園と市営住宅は「充実していない」と感じる人の割合が多い。  
○ 鎌倉芸術館は「充実している」と感じる人の割合が多い。

【地域別】

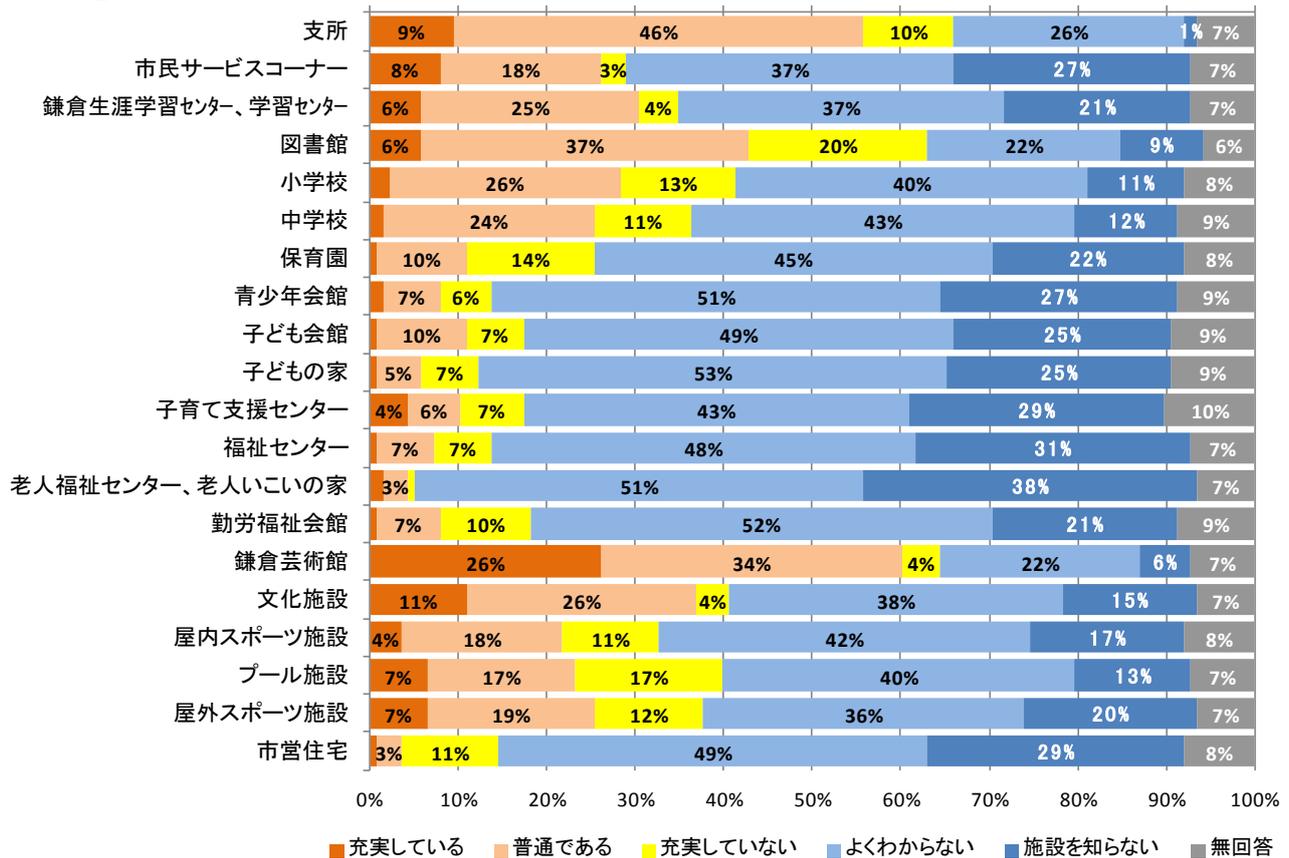
＜鎌倉地域の居住者＞



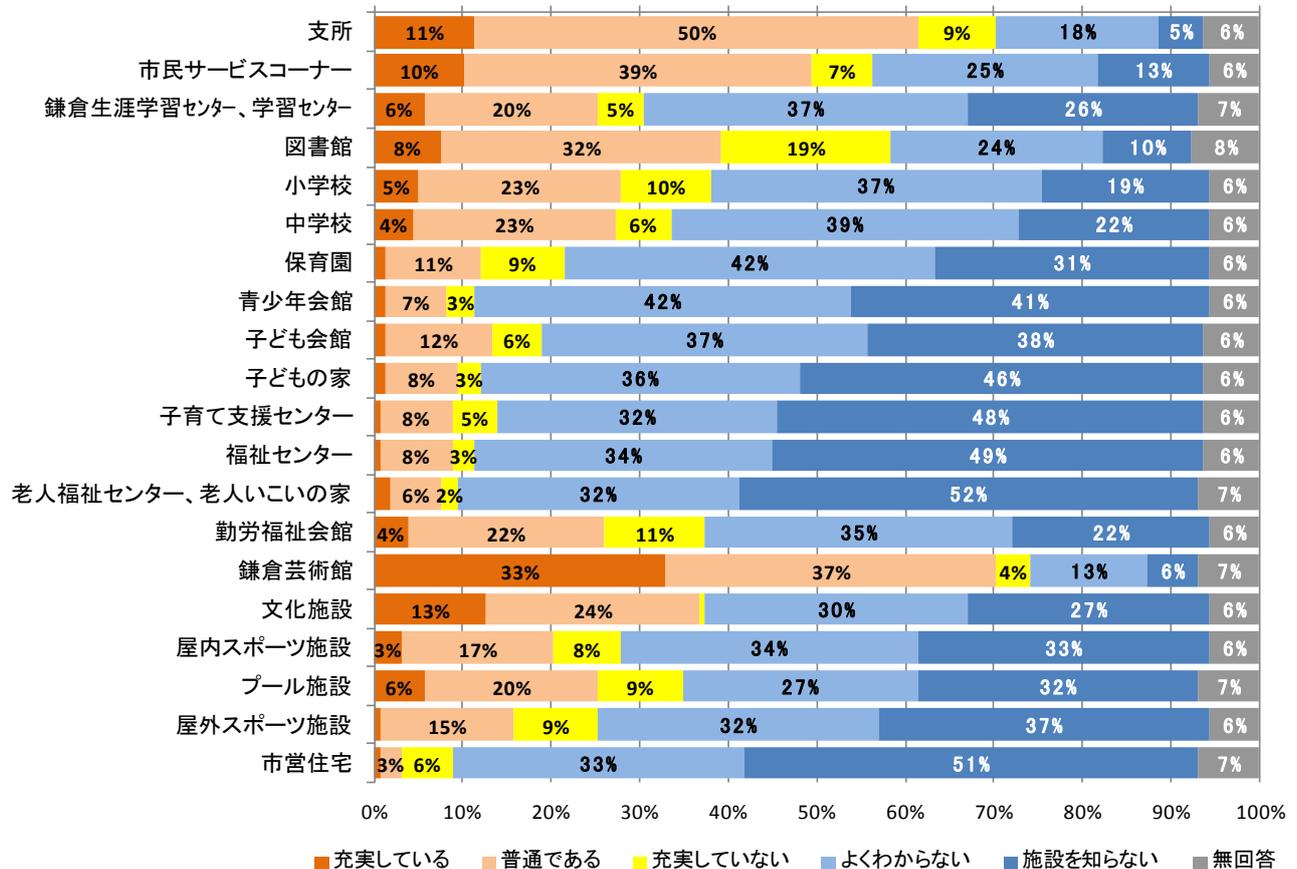
＜腰越地域の居住者＞



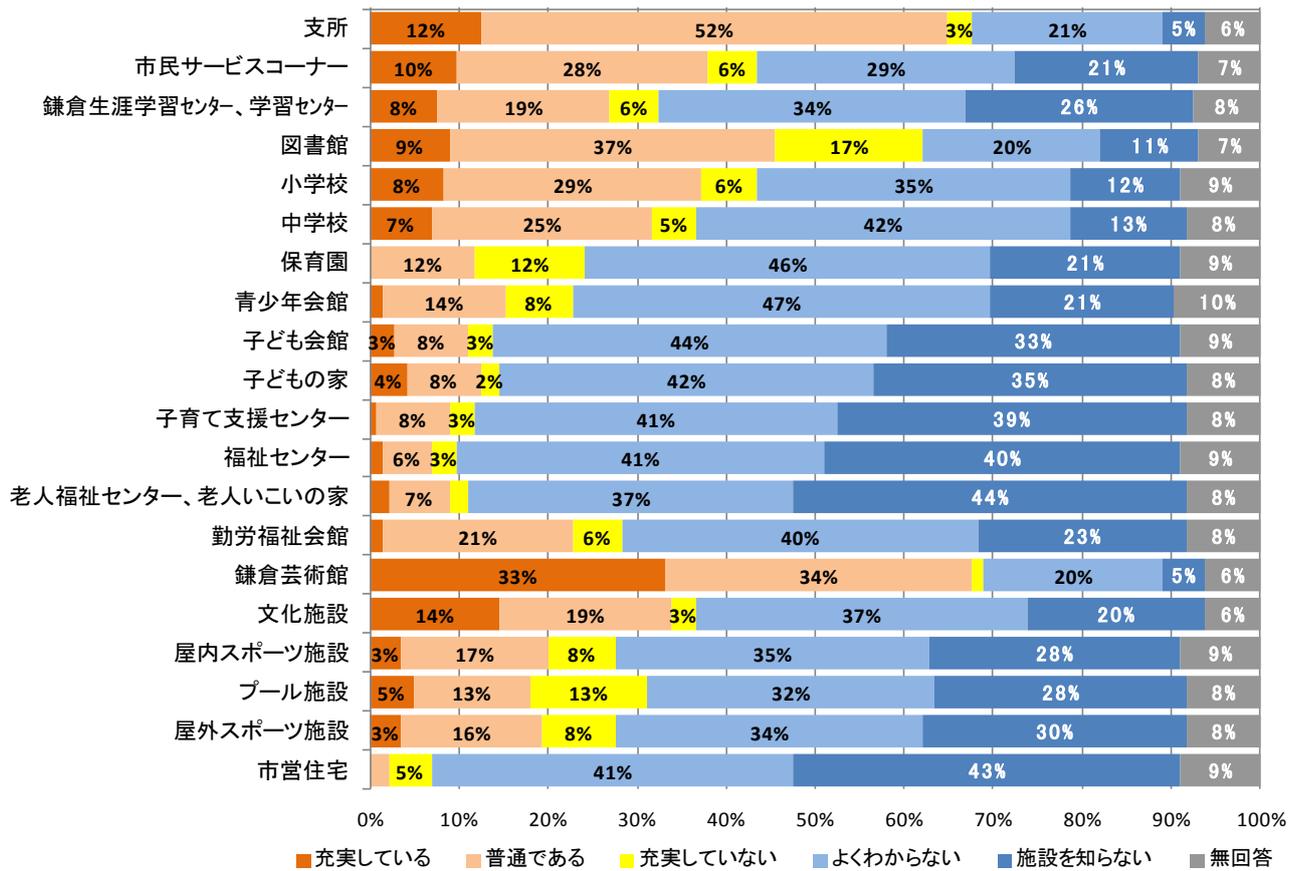
<深沢地域の居住者>



<大船地域の居住者>



<玉縄地域の居住者>



(3) 今後の公共施設のあり方について

現在、鎌倉市の多くの公共施設は老朽化が進んでおり、将来、施設の建替えや改修工事にかかる経費を試算したところ、今ある公共施設を現状のまま維持していくことは困難な状況と分かりました。この状況における鎌倉市の保有する公共施設について、あなたの考えをお聞かせください。

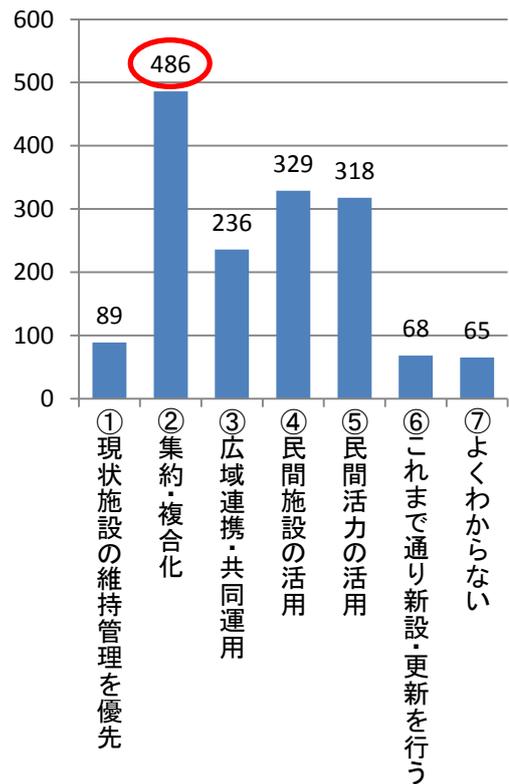
【問 14】：公共施設のあり方に関する今後の方策

今ある公共施設をすべて維持していくことが困難な中、公共施設のあり方を見直し、有効活用などによって、施設にかかる経費を削減していく必要があります。あなたは、鎌倉市の公共施設を今後どのようにしていくべきだと思いますか？公共施設のあり方に対する今後の方策として、あなたが適切だと考えるものを選んで下さい。（複数回答可）

- ① 現在ある施設の維持管理を優先して行うべきである。
- ② 現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らして、施設の再編をするべきである。
- ③ 近隣自治体と共同で1つの施設を整備・共有し、経費を削減するべきである。
- ④ 民間が保有する施設(例えば会議室やホール、スポーツ施設等)を公共施設として使用し、経費を削減するべきである。
- ⑤ 施設の更新(建替え)や管理運営に民間のノウハウや資金を活用し、経費を削減するべきである。
- ⑥ 今後もこれまで通り地域ニーズに応え、積極的に新設・更新(建替え)していくべきである。
- ⑦ よくわからない。

	回答数	割合
① 現状施設の維持管理を優先	89	10.7%
② 集約・複合化	486	58.7%
③ 広域連携・共同運用	236	28.5%
④ 民間施設の活用	329	39.7%
⑤ 民間活力の活用	318	38.4%
⑥ これまで通り新設・更新を行う	68	8.2%
⑦ よくわからない	65	7.9%
無回答者(全て該当無含む)	41	5.0%
本設問の回答者数	787	95.0%
回答者数	828	100.0%

※割合はアンケート回答者数828人に対する値



- 現在ある施設の統廃合や施設機能の集約化・複合化を行うことで、施設数を減らして施設の再編をするとの回答が最も多い。
- 次いで、民間施設の活用や、民間のノウハウや資金等民間活力の活用が多い。
- 近隣自治体との広域連携や共同運用すべきとの回答も多い。
- 「現状施設の維持管理を優先」、「これまで通り新設・更新を行う」の回答は少ない。

【問 15】：優先的に維持すべき施設について

今ある公共施設をすべて維持できなくなった場合、市が将来にわたり優先的に維持するべきと考える公共施設を選んでください。(複数回答可)

- ① 支所
- ② 生涯学習センター・学習センター
- ③ 図書館
- ④ 小学校・中学校
- ⑤ 保育園
- ⑥ 青少年会館
- ⑦ 子ども会館
- ⑧ 子どもの家
- ⑨ 子育て支援センター
- ⑩ 福祉センター
- ⑪ 老人福祉センター・老人いこいの家
- ⑫ 勤労福祉会館
- ⑬ 鎌倉芸術館
- ⑭ 文化施設
- ⑮ 屋内スポーツ施設
- ⑯ プール施設
- ⑰ 屋外スポーツ施設
- ⑱ 市営住宅
- ⑲ その他

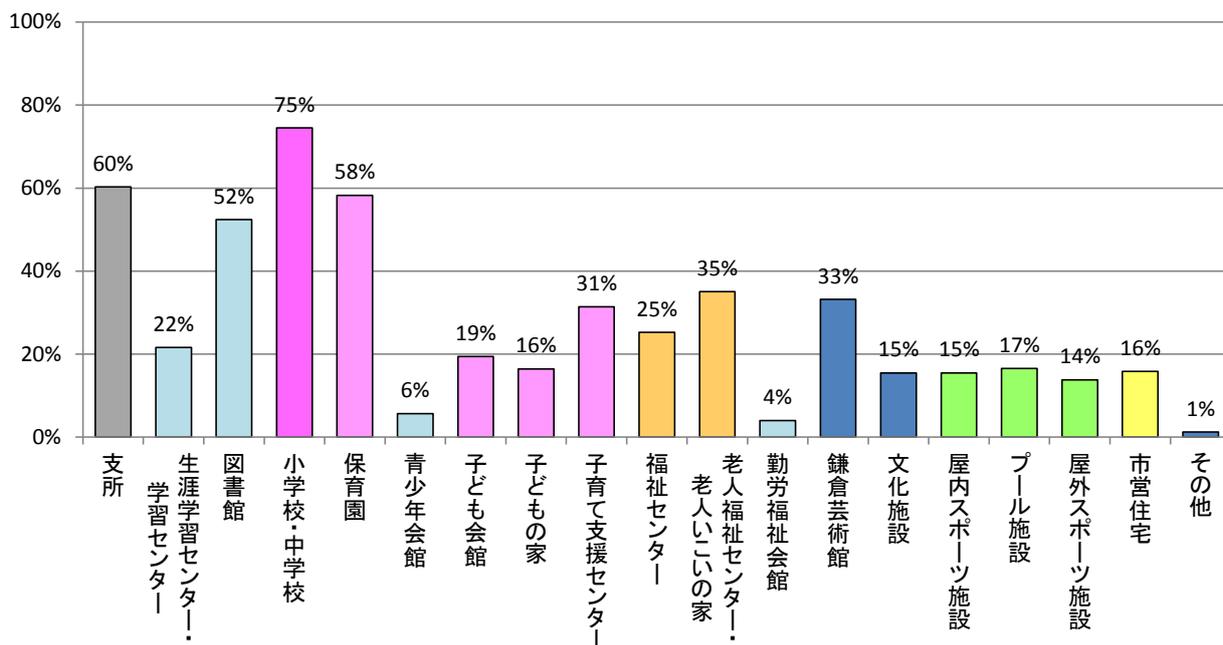
	回答数	割合
支所	499	60.3%
生涯学習センター・学習センター	179	21.6%
図書館	434	52.4%
小学校・中学校	617	74.5%
保育園	482	58.2%
青少年会館	47	5.7%
子ども会館	161	19.4%
子どもの家	136	16.4%
子育て支援センター	260	31.4%
福祉センター	209	25.2%
老人福祉センター・老人いこいの家	290	35.0%
勤労福祉会館	33	4.0%
鎌倉芸術館	275	33.2%
文化施設	128	15.5%
屋内スポーツ施設	128	15.5%
プール施設	137	16.5%
屋外スポーツ施設	114	13.8%
市営住宅	131	15.8%
その他	10	1.2%
無回答者(全て該当無含む)	37	4.5%
本設問の回答者数	791	95.5%
回答者数	828	100.0%
回答施設数の平均	5.4	施設

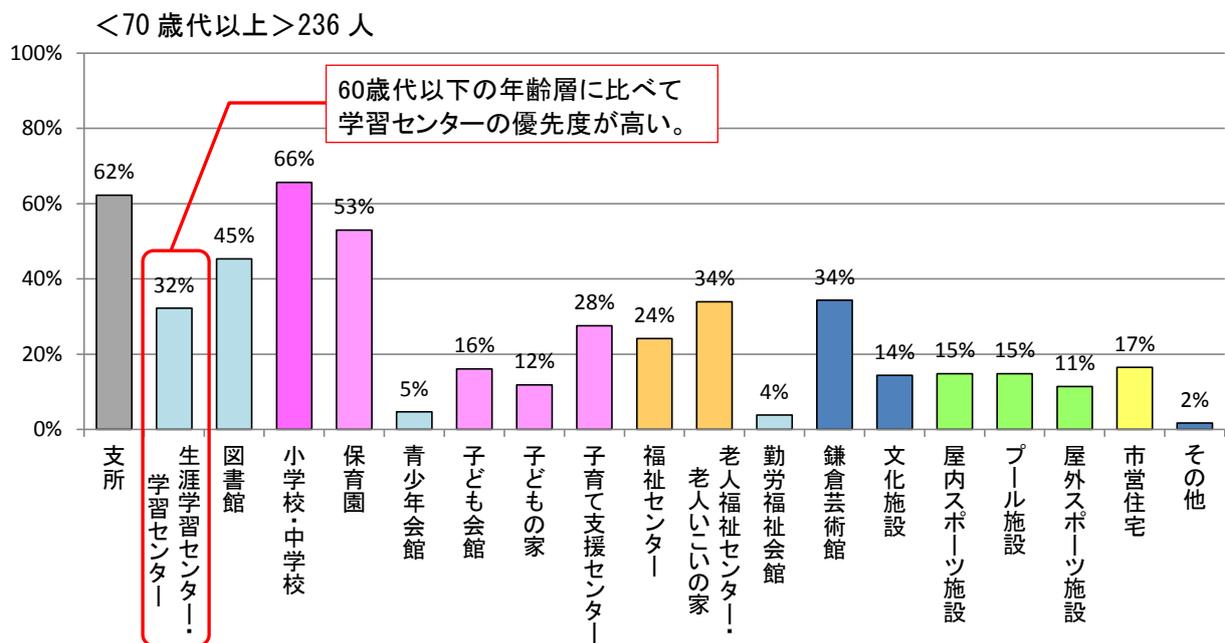
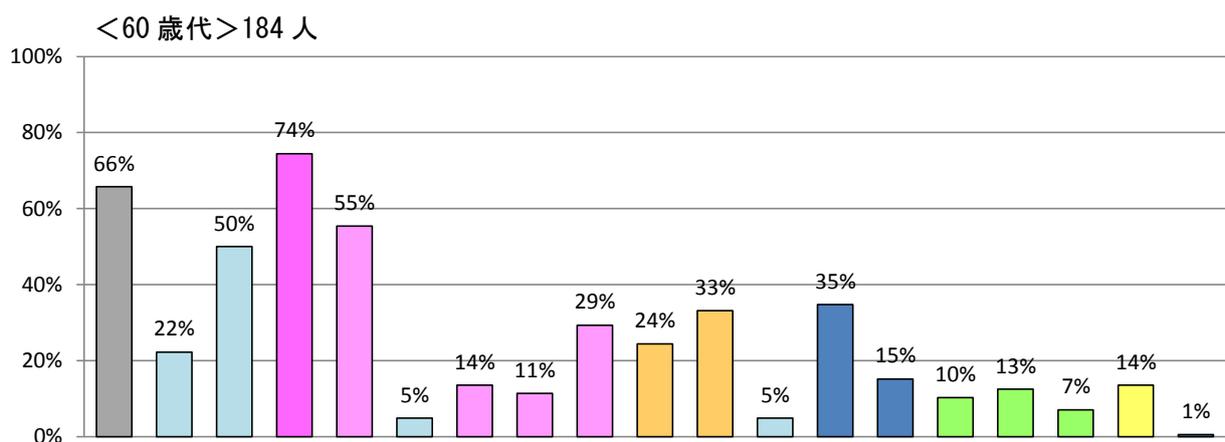
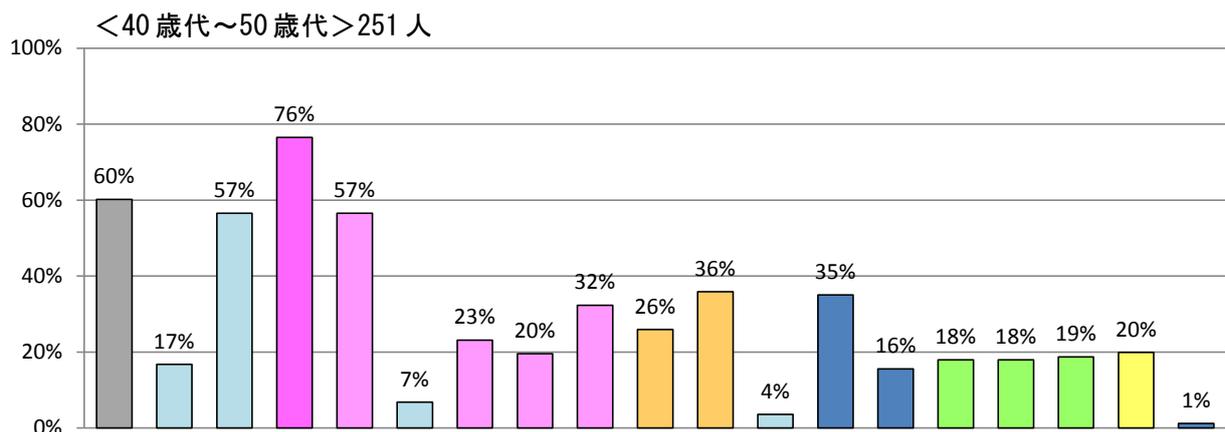
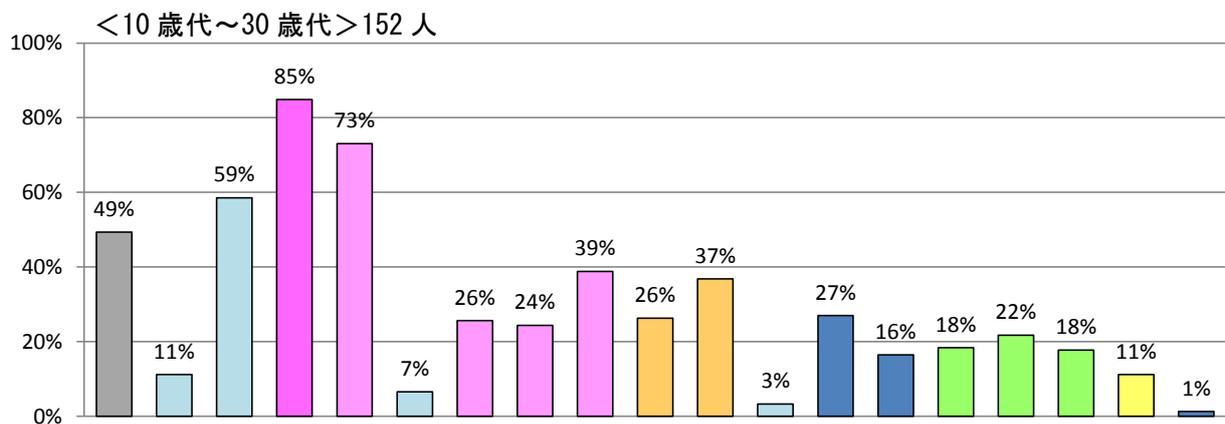
○小中学校の義務教育施設を除くと、支所、保育園、図書館を優先的に維持すべきとする回答が最も多い。

○次いで、老人福祉センター、鎌倉芸術館、子育て支援センターを優先的に維持すべきという回答が多い。

○青少年会館、勤労福祉会館を優先的に維持すべきとする回答は少ない。

<全体>



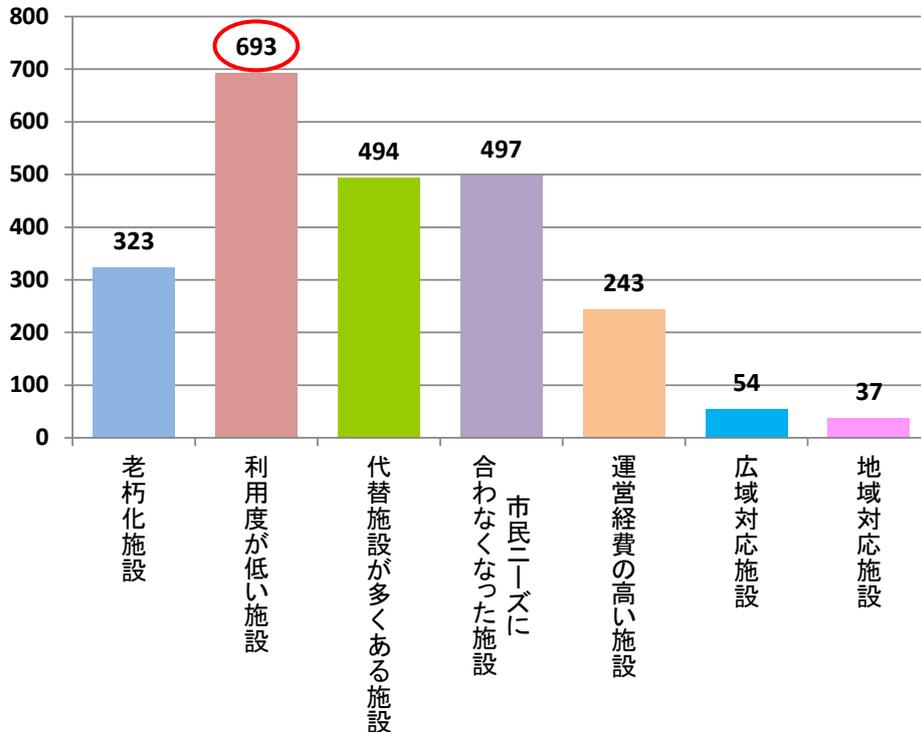


【問 16】：削減しても良いと考える施設について

公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の総量(施設数)を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から削減していけば良いと思いますか。削減しても良いと考える施設をすべて選んで下さい。(複数回答可)

- ①老朽化が著しい施設
- ②利用度や稼働率が低い施設(あまり利用されていない施設)
- ③同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある場合
- ④人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設
- ⑤運営経費の高い施設
- ⑥市内全域で利用するような施設(鎌倉芸術館、スポーツ施設、青少年会館など)
- ⑦各地域で利用するような施設(行政センター、子ども会館、老人福祉センターなど)

	回答数	割合
①老朽化施設	323	39.0%
②利用度が低い施設	693	83.7%
③代替施設が多くある施設	494	59.7%
④市民ニーズに合わなくなった施設	497	60.0%
⑤運営経費の高い施設	243	29.3%
⑥広域対応施設	54	6.5%
⑦地域対応施設	37	4.5%
無回答者(全て該当無含む)	53	6.4%
本設問の回答者数	775	93.6%
回答者数	828	100.0%



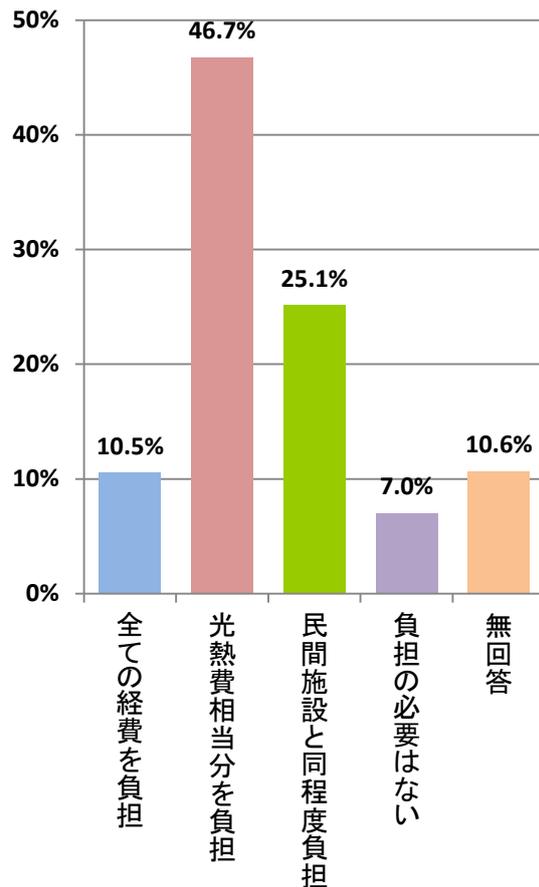
- 老朽化の状況よりも、利用度の低さを削減の判断基準とする回答が多い。
- 次いで代替施設がある施設、市民ニーズに合わなくなった施設を削減の判断基準とする回答が多い。

【問 17】：受益者負担について

公共施設を利用する際に、学習センターやスポーツ施設では施設使用料を支払いますが、現在、利用者が支払う使用料は、施設の運営に要する経費全体の 10～30%程度であり、残りは税金でまかっています。受益者負担の原則から、利用者が負担する費用はどれくらいが適当だと思いますか？あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- ① 必要な全ての経費を利用者が負担するべきである。
- ② 使用する照明や空調などの光熱水費相当分は利用者が負担するべきである。
- ③ 民間の同種の施設と同等程度は利用者が負担するべきである。
- ④ 負担の必要はない

	回答数	割合
全ての経費を負担	87	10.5%
光熱費相当分を負担	387	46.7%
民間施設と同程度負担	208	25.1%
負担の必要はない	58	7.0%
無回答	88	10.6%
合計	828	100.0%



- 施設使用料として、光熱水費相当分は利用者が負担するべきとする回答が多い。
- 次いで、民間の同種の施設と同等程度は、利用者が負担するべきとする回答が多い。

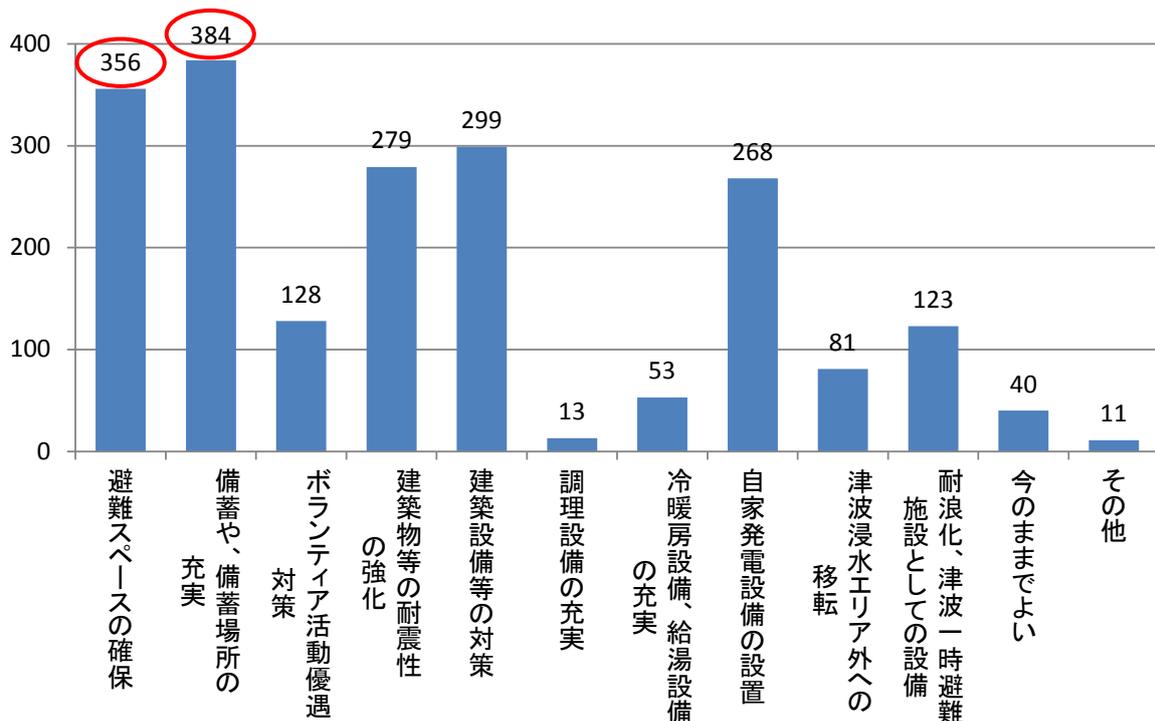
【問 18】：公共施設に求められる防災対策について

今ある公共施設を全て維持していくことが困難な中、あなたが力を入れるべきと考える防災拠点となる公共施設の防災対策は何だと思えますか？次の中から3つまで選んでください。

- ①十分な避難スペースの確保
- ②非常食などの備蓄や、備蓄場所の充実
- ③ボランティア活動が速やかに行われるようにするための対策
- ④建築物等の耐震性の強化
- ⑤災害時の安全な水の確保のための建築設備等の対策(受水槽・井戸等)
- ⑥調理設備の充実
- ⑦冷暖房設備、給湯設備(シャワー設備等)の充実
- ⑧自家発電設備(非常用電源)の設置
- ⑨津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の津波浸水エリア外への移転
- ⑩津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の耐浪化、津波一時避難施設としての整備
- ⑪今のままでよい(必要以上に防災対策に税金を使うべきではない)
- ⑫その他

	回答数	割合
避難スペースの確保	356	43.0%
備蓄や、備蓄場所の充実	384	46.4%
ボランティア活動優遇対策	128	15.5%
建築物等の耐震性の強化	279	33.7%
建築設備等の対策	299	36.1%
調理設備の充実	13	1.6%
冷暖房設備、給湯設備の充実	53	6.4%
自家発電設備の設置	268	32.4%
津波浸水エリア外への移転	81	9.8%
耐浪化、津波一時避難施設としての設備	123	14.9%
今のままでよい	40	4.8%
その他	11	1.3%
無回答者(全て該当無含む)	98	11.8%
回答者数	730	88.2%
合計	828	100.0%

○力を入れるべき防災対策として、備蓄の充実、避難スペースの確保とする回答が最も多い。  
○次いで、建築設備等の対策、建築物等の耐震性の強化、自家発電設備の設置の順に多い。

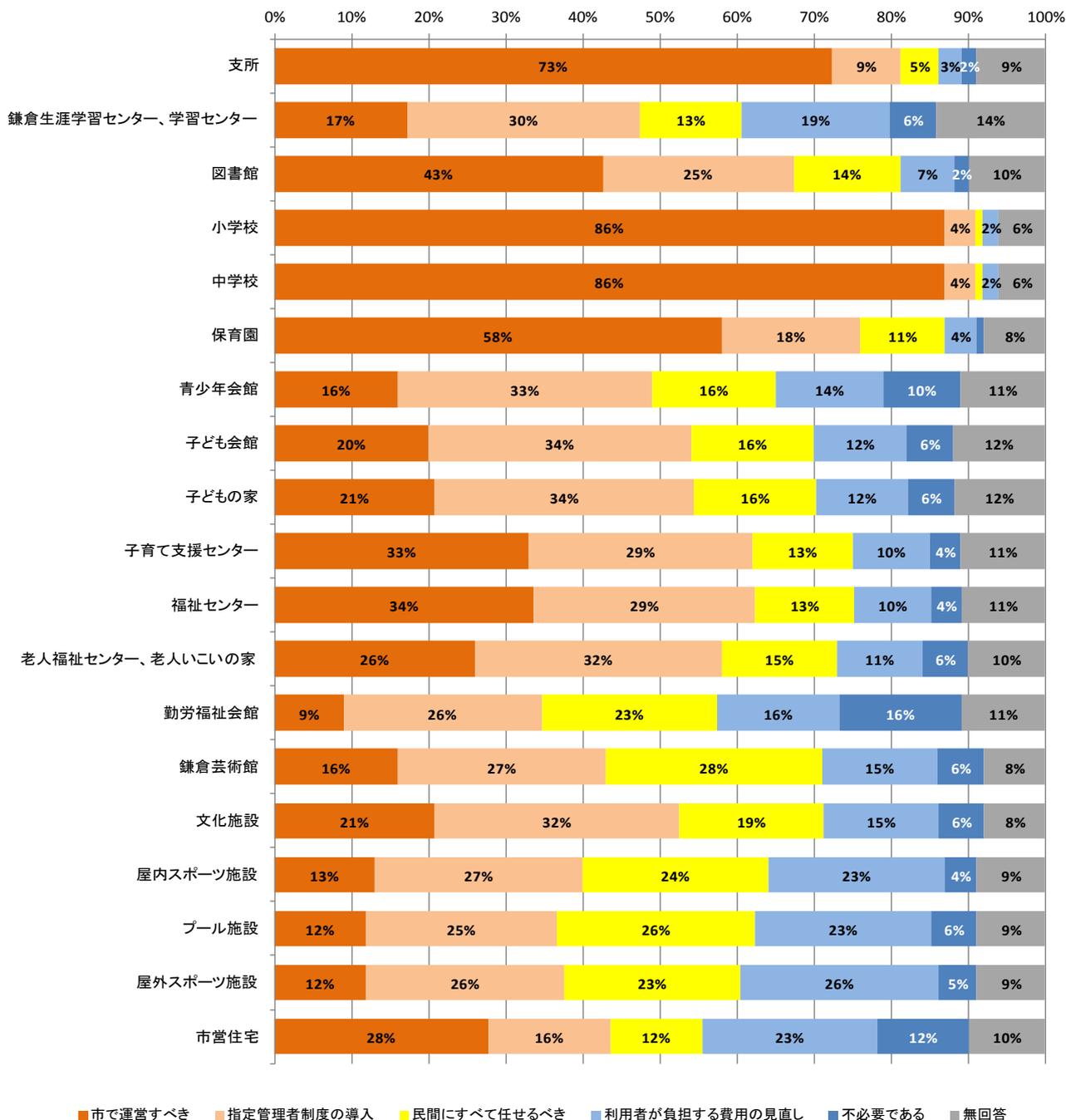


【問 19】：各公共施設の将来の運営方法について

公共施設にかかる費用を削減するために、公共施設の今後の運営方法のあり方・サービス（機能）の必要性について、どのように思いますか？

以下の施設毎に1つお答えください。

	市で運営すべき	指定管理者制度の導入	民間にすべて任せるべき	利用者が負担する費用の見直し	不必要である	無回答	合計
支所	600	72	40	23	17	76	828
	72.5%	8.7%	4.8%	2.8%	2.1%	9.2%	100.0%
鎌倉生涯学習センター、学習センター	144	248	109	159	49	119	828
	17.4%	30.0%	13.2%	19.2%	5.9%	14.4%	100.0%
図書館	355	207	112	57	16	81	828
	42.9%	25.0%	13.5%	6.9%	1.9%	9.8%	100.0%
小学校	712	35	9	16	3	53	828
	86.0%	4.2%	1.1%	1.9%	0.4%	6.4%	100.0%
中学校	711	35	10	16	3	53	828
	85.9%	4.2%	1.2%	1.9%	0.4%	6.4%	100.0%
保育園	483	151	88	34	6	66	828
	58.3%	18.2%	10.6%	4.1%	0.7%	8.0%	100.0%
青少年会館	136	275	128	112	85	92	828
	16.4%	33.2%	15.5%	13.5%	10.3%	11.1%	100.0%
子ども会館	167	281	132	102	51	95	828
	20.2%	33.9%	15.9%	12.3%	6.2%	11.5%	100.0%
子どもの家	173	277	129	100	49	100	828
	20.9%	33.5%	15.6%	12.1%	5.9%	12.1%	100.0%
子育て支援センター	275	240	111	84	30	88	828
	33.2%	29.0%	13.4%	10.1%	3.6%	10.6%	100.0%
福祉センター	283	242	104	80	29	90	828
	34.2%	29.2%	12.6%	9.7%	3.5%	10.9%	100.0%
老人福祉センター、老人いこいの家	216	266	127	87	46	86	828
	26.1%	32.1%	15.3%	10.5%	5.6%	10.4%	100.0%
勤労福祉会館	76	215	186	134	130	87	828
	9.2%	26.0%	22.5%	16.2%	15.7%	10.5%	100.0%
鎌倉芸術館	136	227	230	121	50	64	828
	16.4%	27.4%	27.8%	14.6%	6.0%	7.7%	100.0%
文化施設	170	266	153	123	47	69	828
	20.5%	32.1%	18.5%	14.9%	5.7%	8.3%	100.0%
屋内スポーツ施設	104	226	196	190	36	76	828
	12.6%	27.3%	23.7%	22.9%	4.3%	9.2%	100.0%
プール施設	99	209	213	186	48	73	828
	12.0%	25.2%	25.7%	22.5%	5.8%	8.8%	100.0%
屋外スポーツ施設	98	212	187	214	45	72	828
	11.8%	25.6%	22.6%	25.8%	5.4%	8.7%	100.0%
市営住宅	229	132	95	192	95	85	828
	27.7%	15.9%	11.5%	23.2%	11.5%	10.3%	100.0%



○小中学校の義務教育施設を除くと、支所、保育園は市で直営すべきとする回答が多い。  
 ○その他の施設では、指定管理者制度の導入や民間にすべて任せるべきと考える人が多い。  
 ○スポーツ施設や市営住宅は、利用者が負担する費用の見直しが必要とする回答が多い。



### 資料3 公共施設再編計画策定に向けた利用者アンケート調査結果について

#### 1. アンケート調査の実施方法

調査の目的：平成24年度に鎌倉市公共施設再編計画基本方針を策定するにあたり、公共施設の利用実態を把握することを目的に実施。

調査の期間：平成24年10月4日(木)～11月3日(土)まで

調査の対象：①施設利用者 ②市有集会施設(14施設)の利用代表者等

調査の方法：①施設にアンケート用紙を設置する方式(30カ所)

②市有集会施設(15施設)については代表者等アンケート

回答者数：①3,932人 ②14人

#### ①アンケート対象施設と回収数

アンケート対象施設(回収箱各1カ所)			調査実施日	回収数	合計
行政センター	腰越	支所	10月6日～11月2日	50	1,427
		図書館		25	
		学習センター		99	
	深沢	支所	10月5日～11月2日	146	
		図書館		130	
		学習センター		191	
	大船	支所	10月5日～11月3日	256	
		図書館		90	
		学習センター		200	
	玉縄	支所	10月3日～11月14日	100	
		図書館		126	
		学習センター		14	
鎌倉生涯学習センター			10月10日～11月10日	40	40
玉縄学習センター分室			10月12日～11月3日	163	163
中央図書館			10月4日～10月21日	208	208
青少年会館	鎌倉	10月2日～10月22日	165	378	
	玉縄	10月5日～10月19日	213		
福祉センター	鎌倉市社会福祉協議会		10月10日～11月19日	92	92
老人福祉センター	名越やすらぎセンター		10月8日～10月17日	132	652
	今泉さわやかセンター		10月5日～10月19日	32	
	玉縄すこやかセンター		10月3日～10月19日	213	
	教養センター		10月1日～10月22日	199	
	こゆるぎ荘		10月6日～10月12日	76	
レイ・ウェル鎌倉			10月24日～10月27日	78	78
鎌倉芸術館			10月6日～10月19日	244	244
スポーツ施設	鎌倉体育館		9月27日～11月4日	196	650
	大船体育館		9月10日～10月23日	159	
	見田記念体育館		10月5日～10月18日	166	
	鎌倉武道館		10月28日～11月8日	7	
	こもれび山崎温水プール		10月5日～10月31日	122	

#### ②市有集会施設(回答数は15施設各1件)

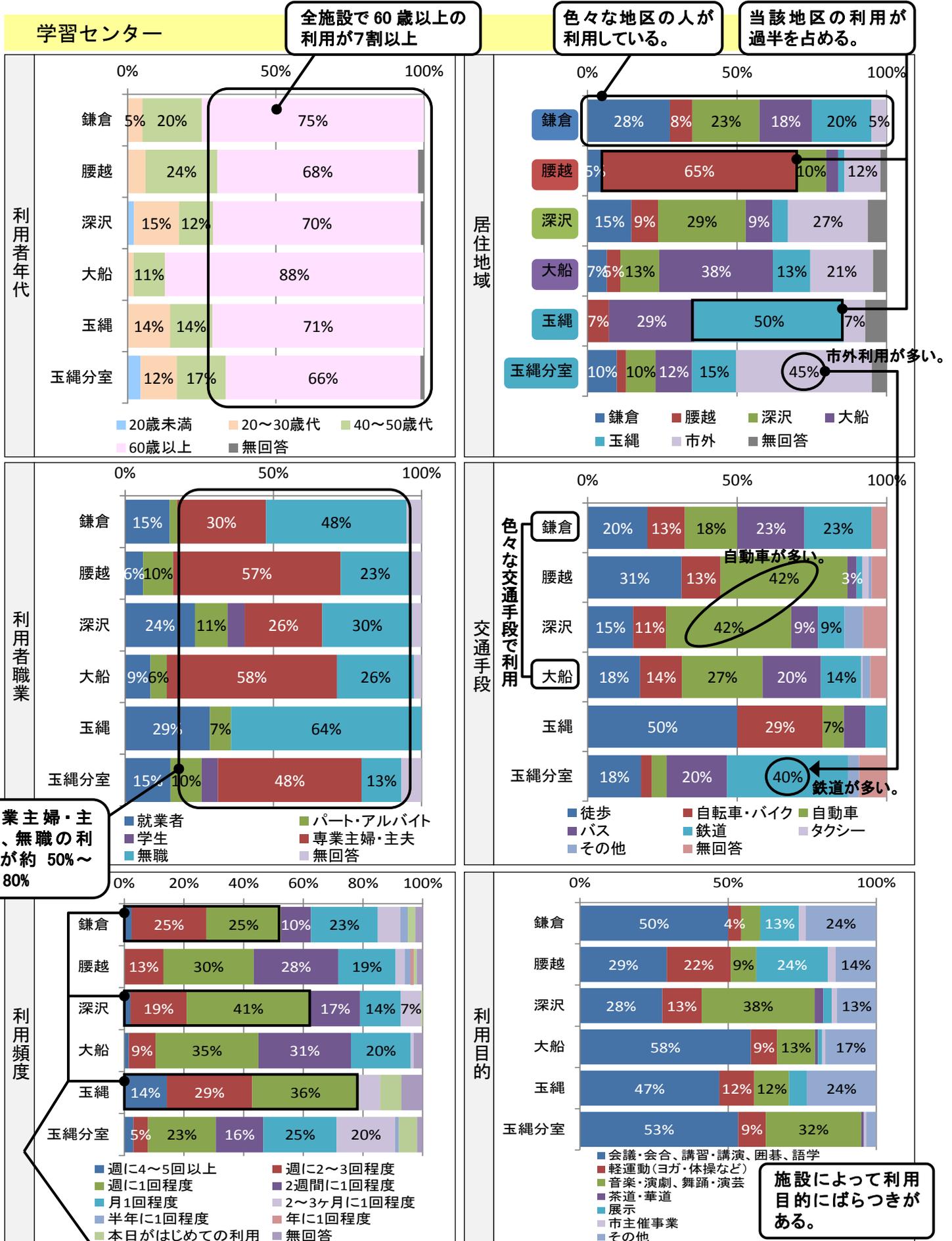
星月会館  
鎌倉山集会所  
七里ガ浜町内会館  
七里ガ浜自治会館  
山崎西町内会館

NPOセンター鎌倉  
NPOセンター大船  
稲村ガ崎自治会館  
(極楽寺ポンプ場管理舎)  
富士見町町内会館  
(台在宅福祉サービスセンター内1階)

深沢住宅集会所  
笛田住宅集会所  
梶原住宅集会所  
梶原東住宅集会所 } 併せて1回答  
岡本住宅集会所  
市営諏訪ヶ谷ハイツ集会所

## 2. アンケート結果

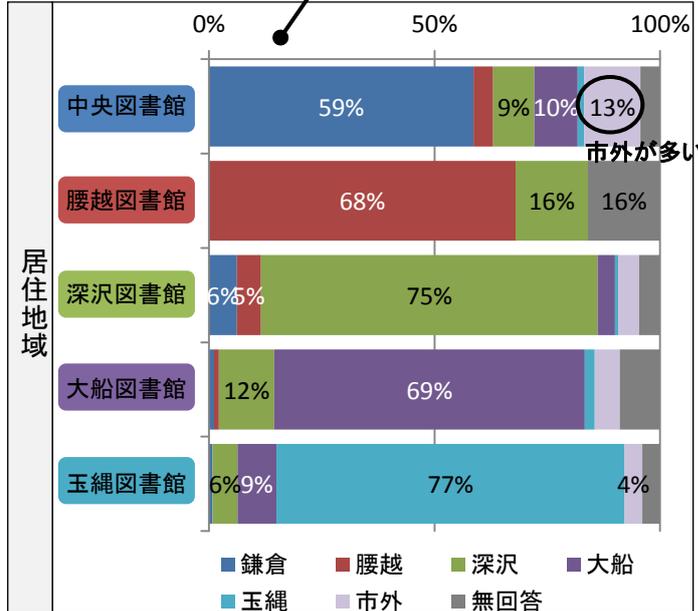
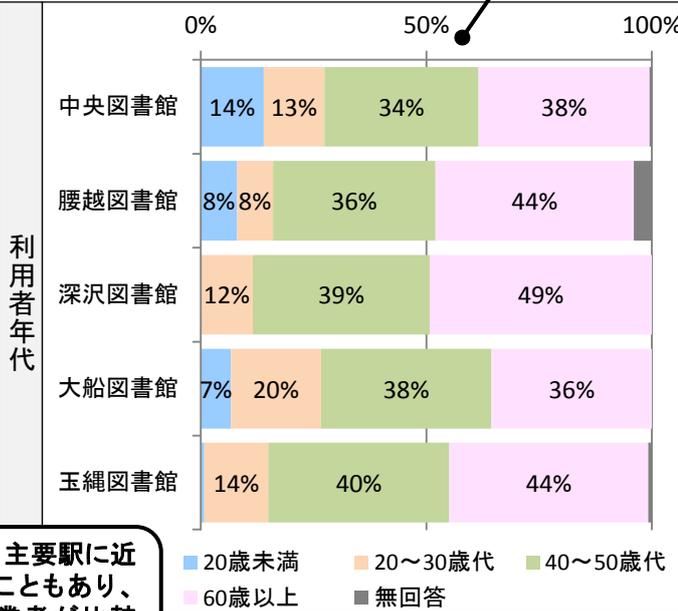
各施設ごとに、利用年代・居住地域・利用者職業・交通手段・利用頻度・利用目的を調査しました。



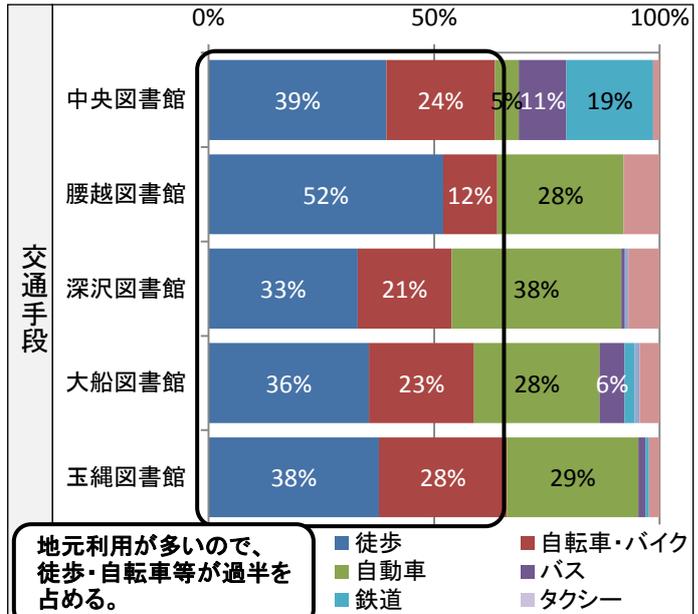
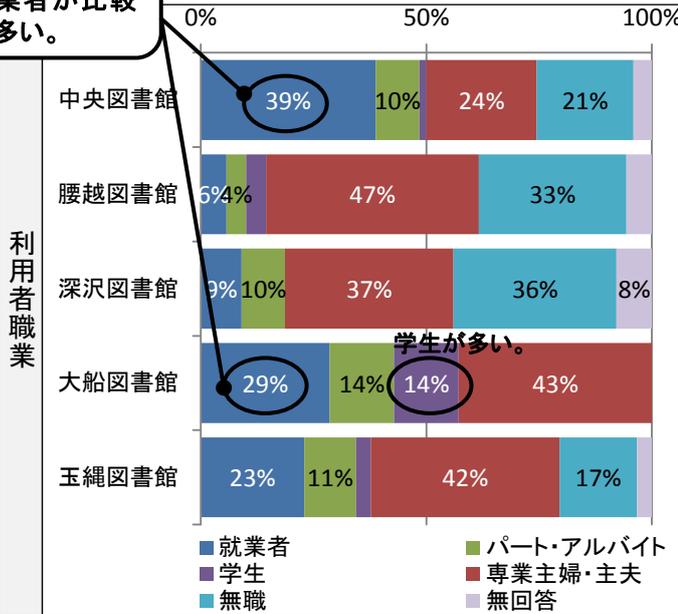
図書館

40～50 歳代、60 歳以上の利用  
がそれぞれ約 4 割を占める。

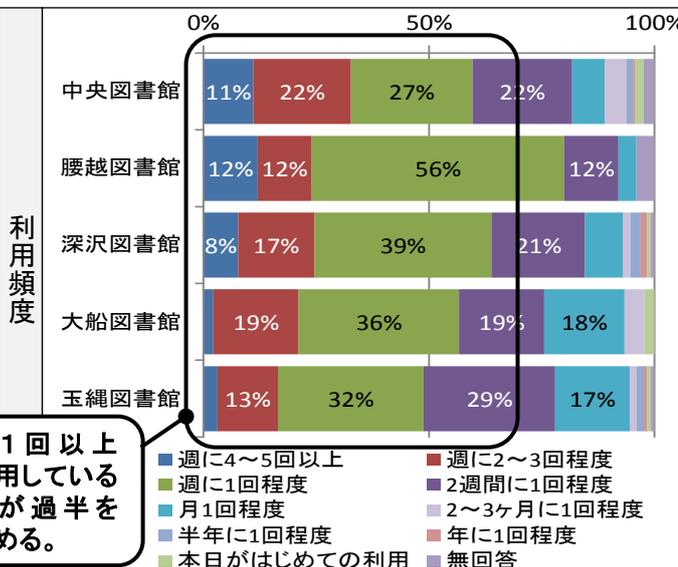
どの施設も、当該地区  
の利用が 6 割以上



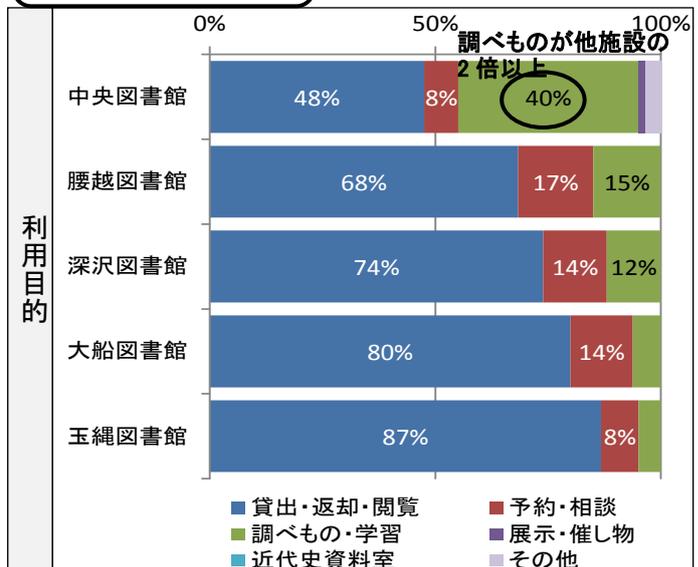
JR 主要駅に近  
いこともあり、  
就業者が比較  
的が多い。



地元利用が多いので、  
徒歩・自転車等が過半を  
占める。



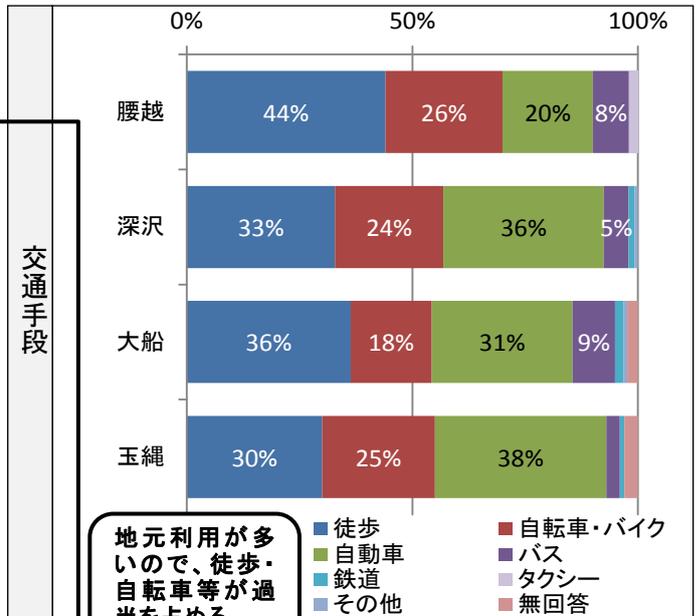
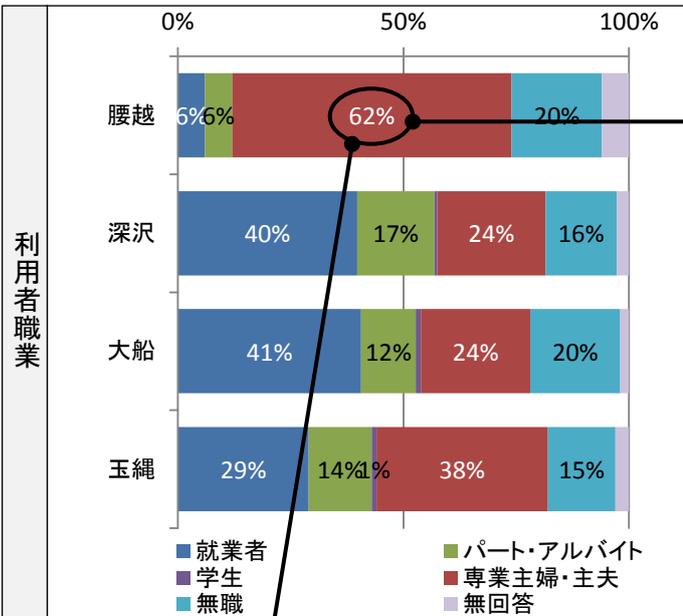
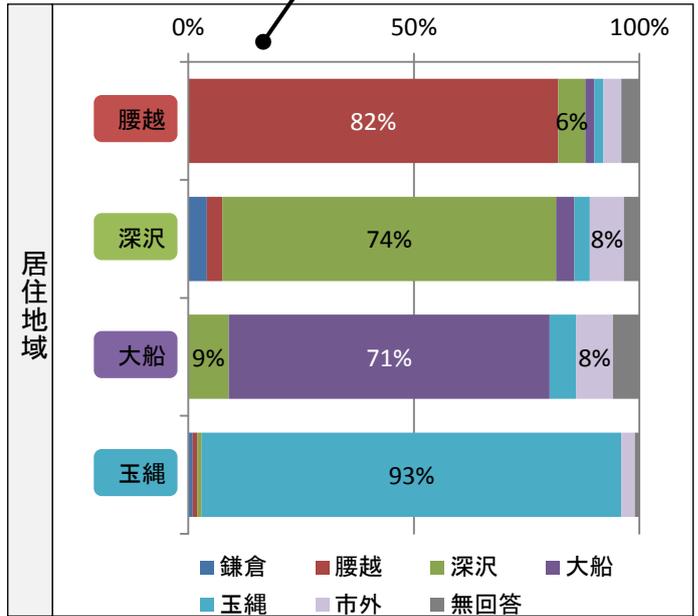
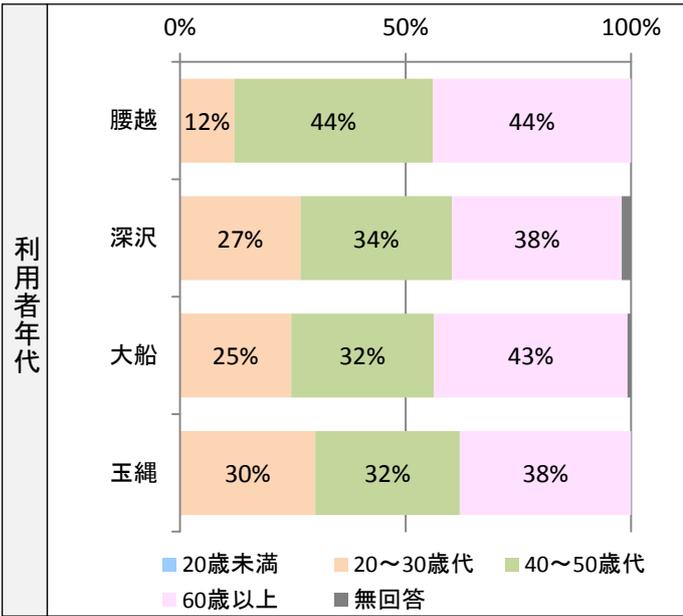
週 1 回 以上  
利用している  
人が過半を  
占める。



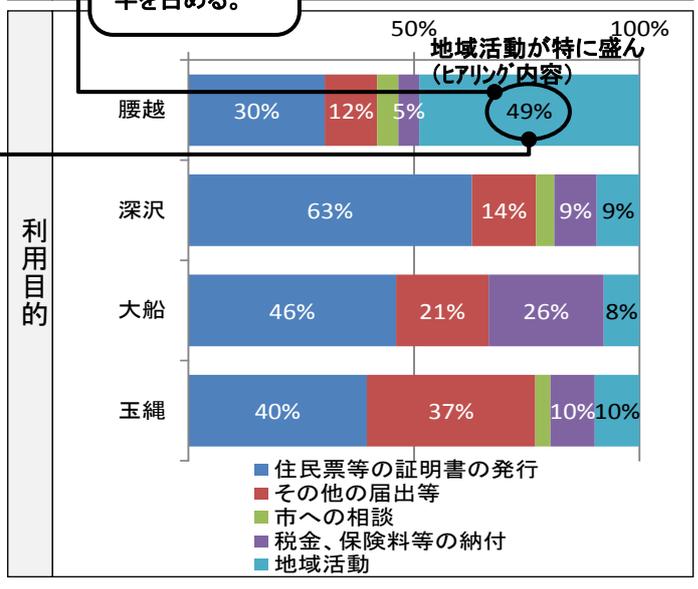
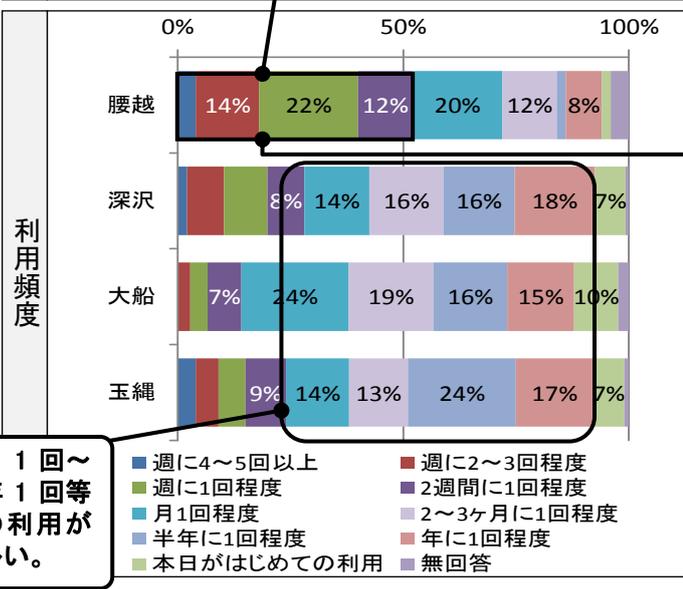
調べものが他施設の  
2 倍以上

支所

どの施設も、当該地区の利用が7割以上



地元利用が多いので、徒歩・自転車等が過半を占める。



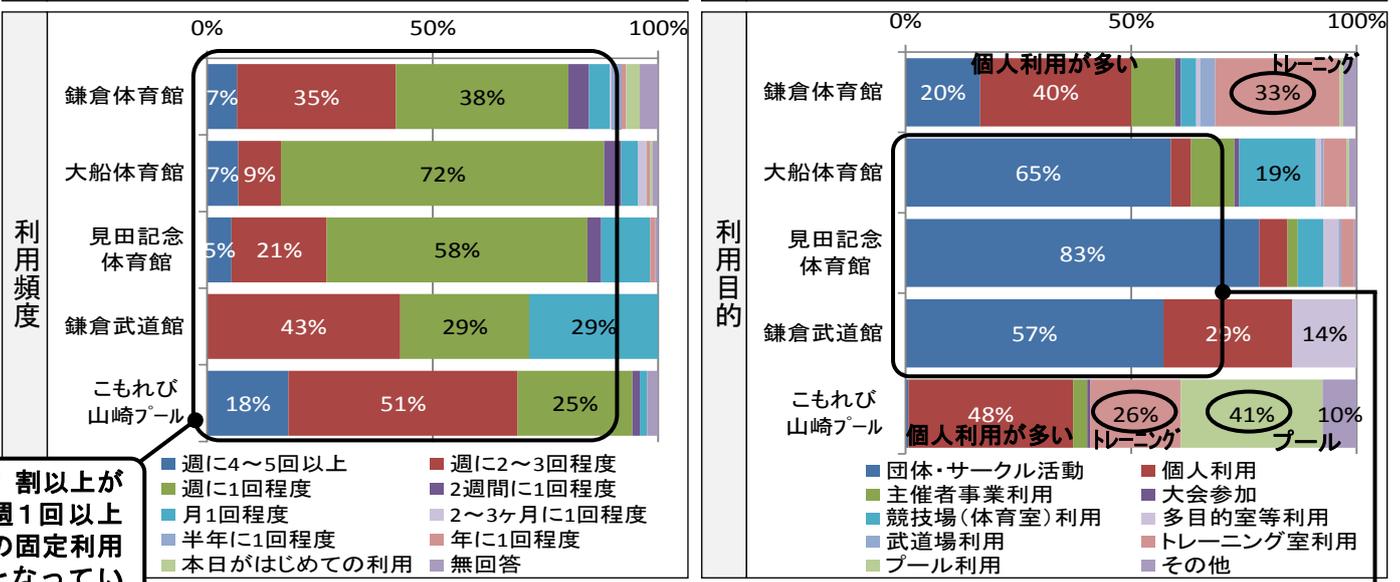
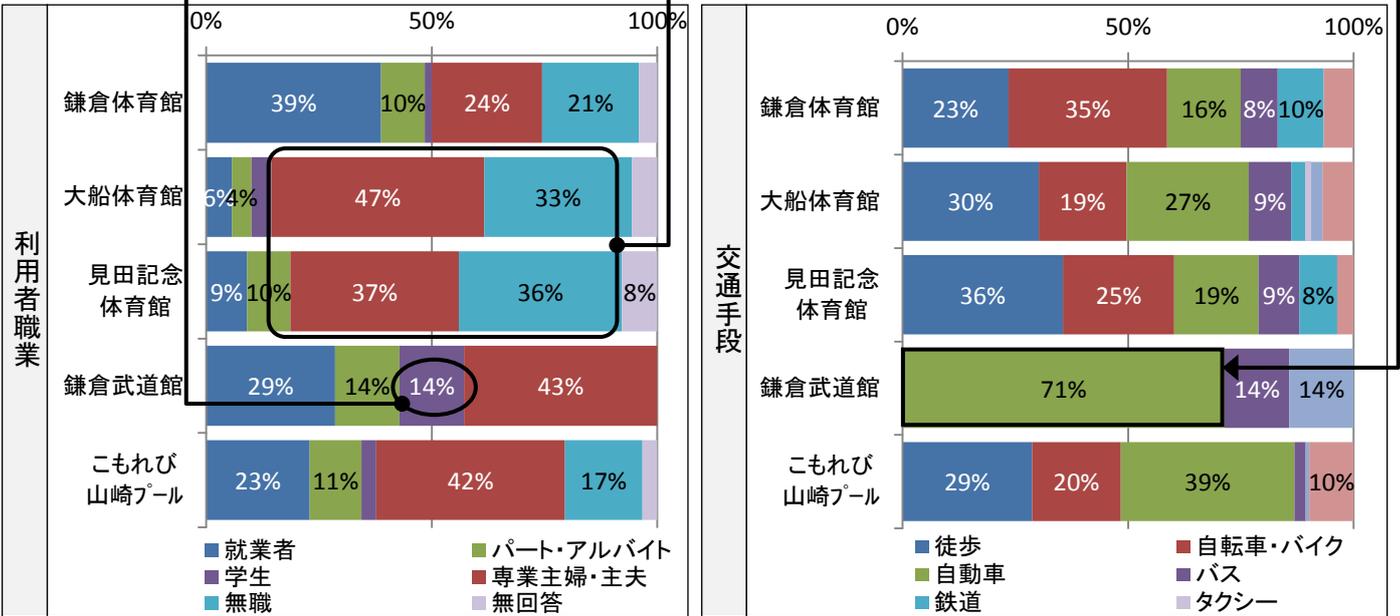
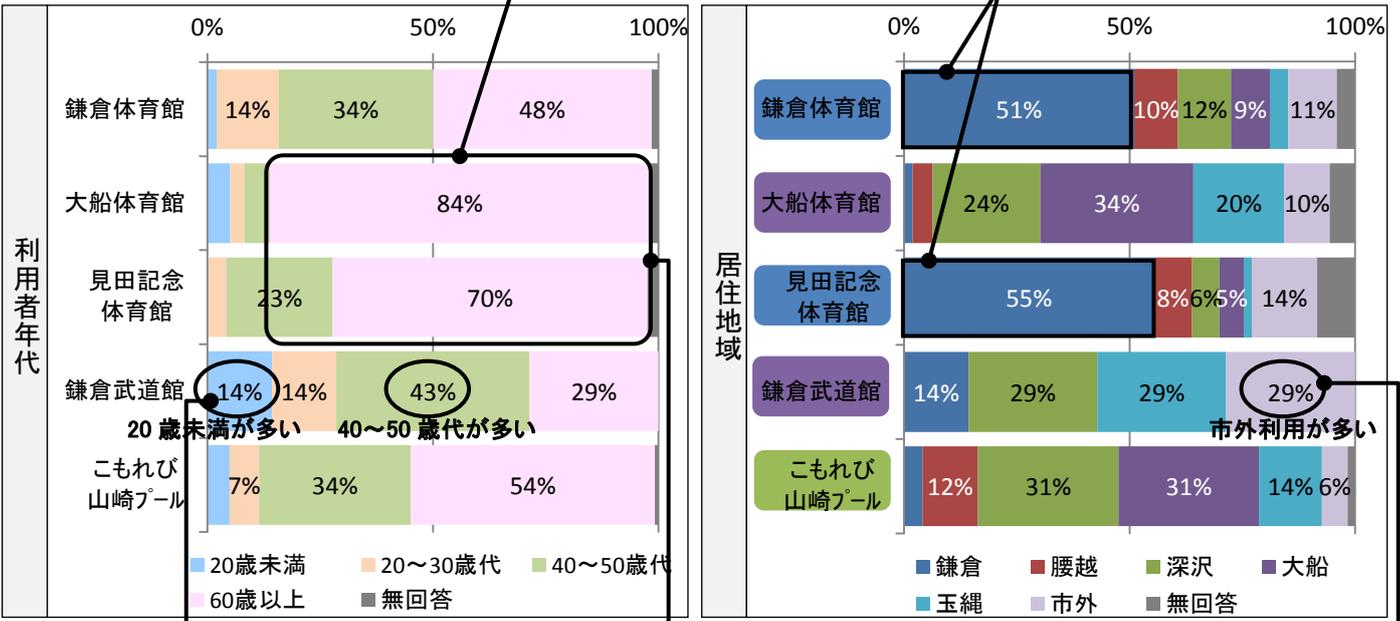
地域活動が特に盛ん(ヒアリング内容)

月1回~年1回等の利用が多い。

スポーツ施設

60歳以上の利用が7割以上を占める。

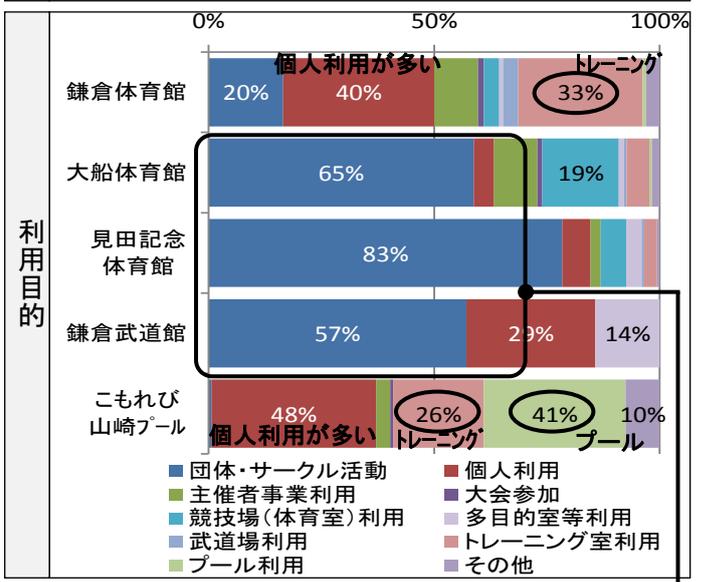
地元利用が多い。



7割以上が週1回以上の固定利用となっている。

他地区・市外の利用が多いため。

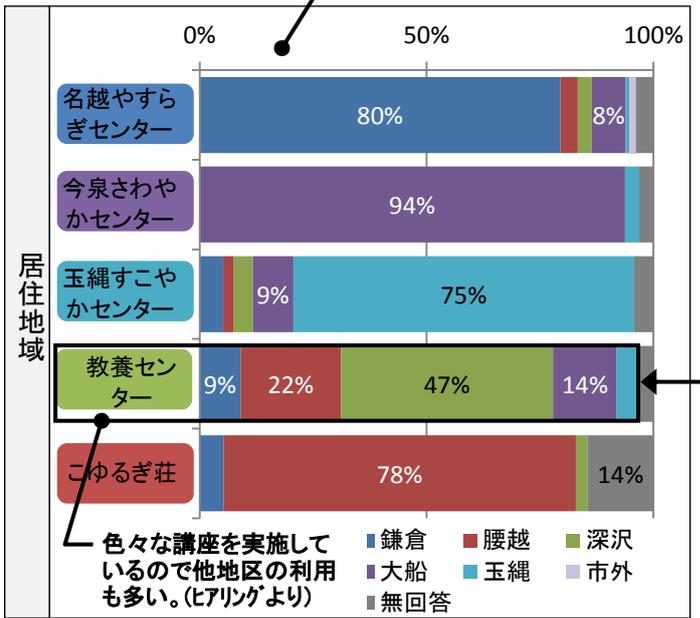
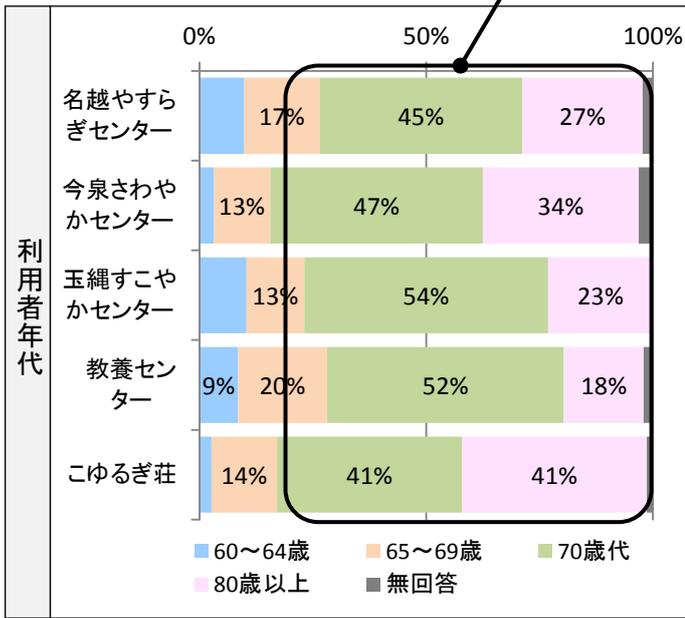
団体・サークル活動が中心



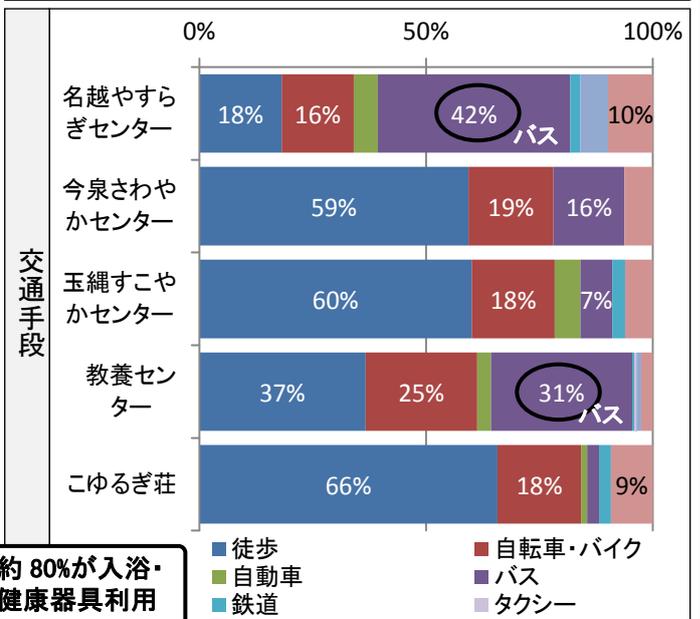
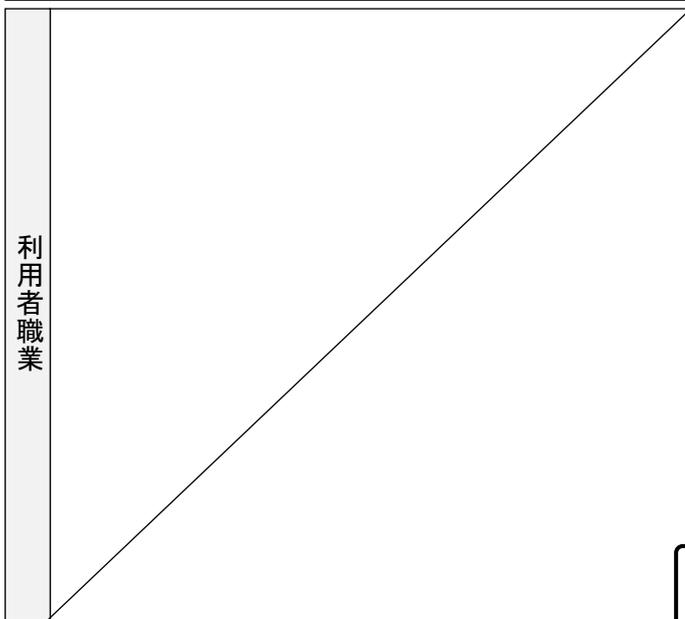
老人福祉センター

70・80 歳以上の利用が中心となっている。

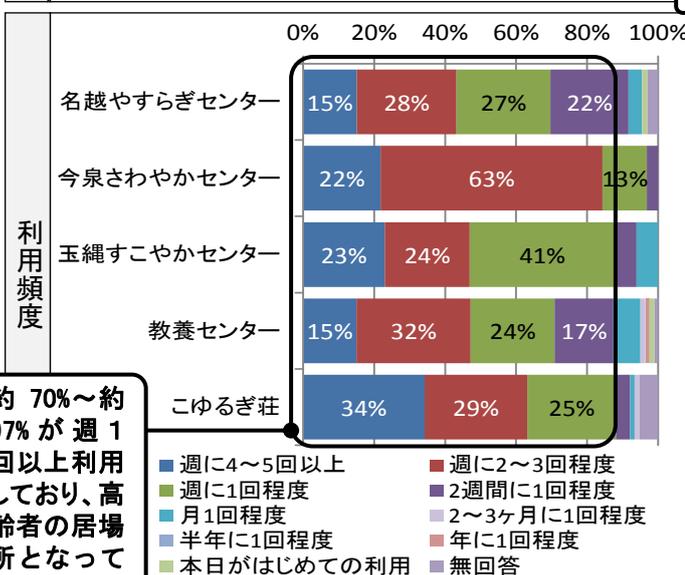
地元利用が多い。



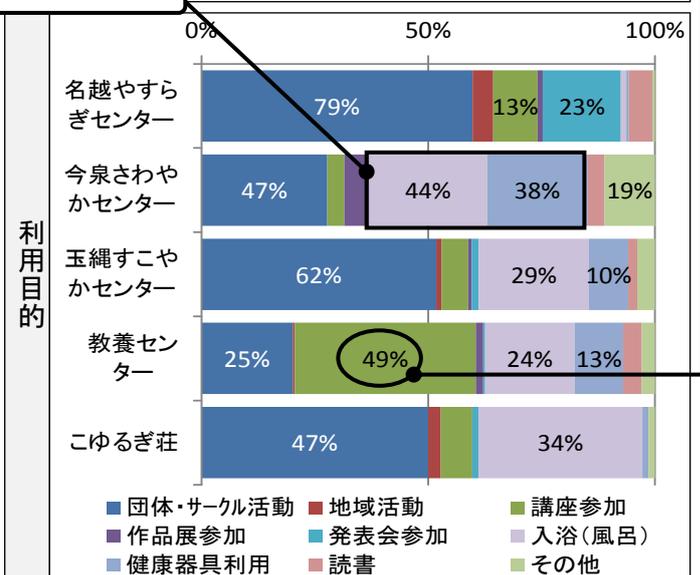
色々な講座を実施している所以他地区の利用も多い。(ヒアリングより)



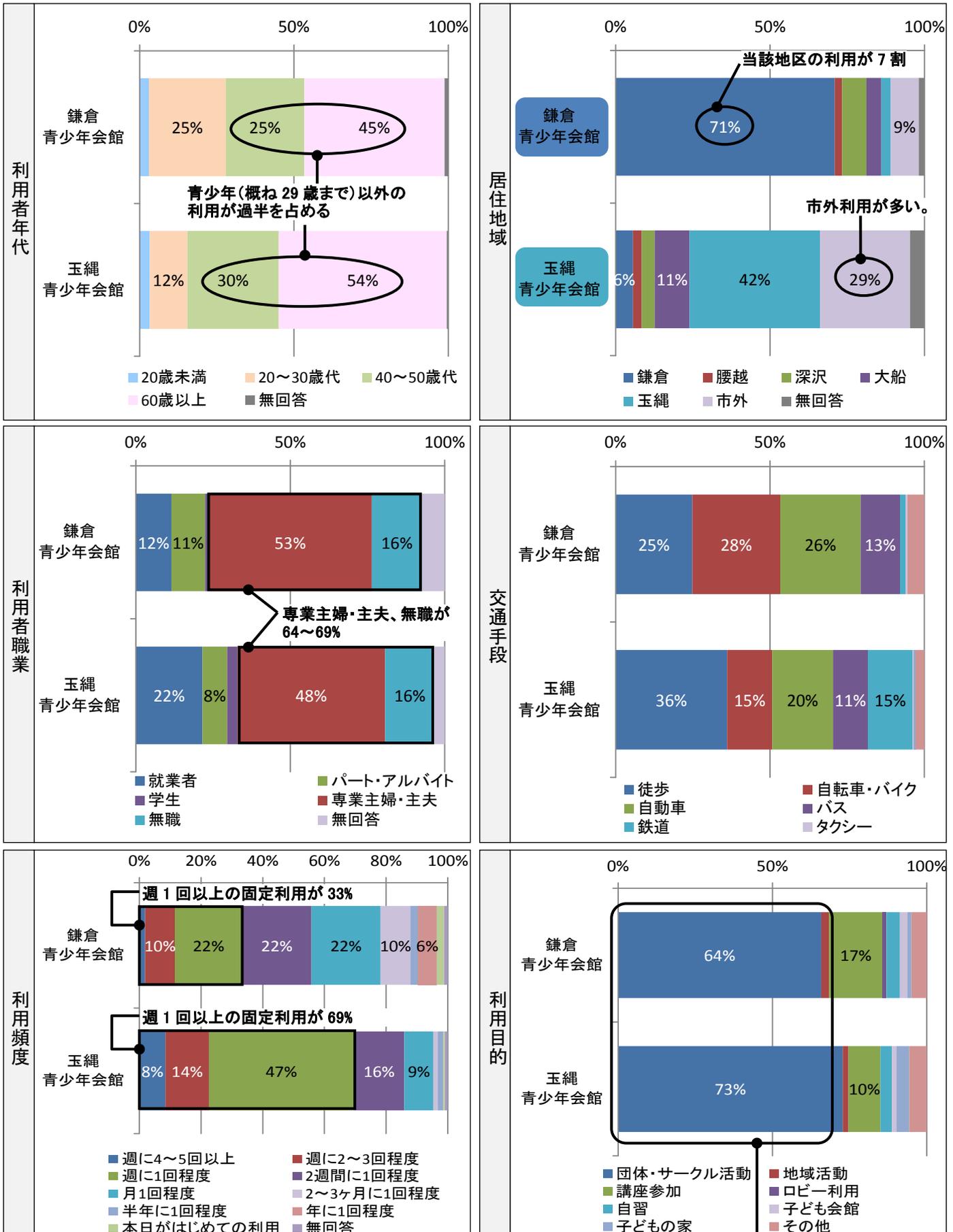
約 80%が入浴・健康器具利用



約 70%～約 97%が週 1 回以上利用しており、高齢者の居場所となっている。

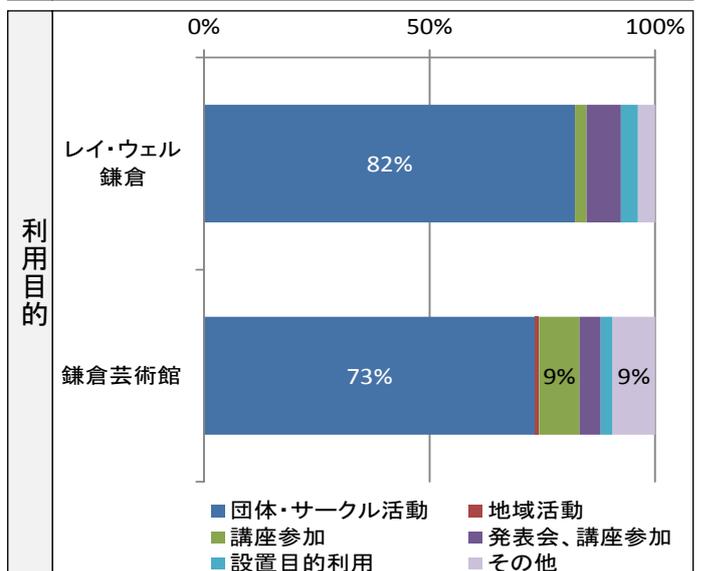
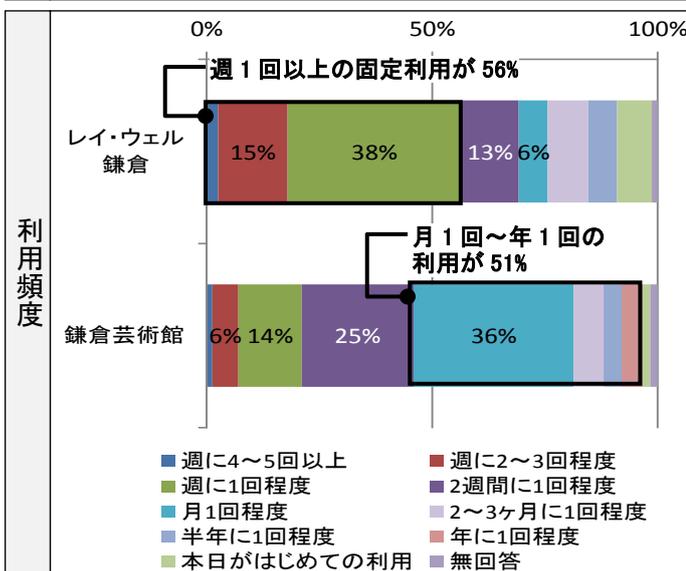
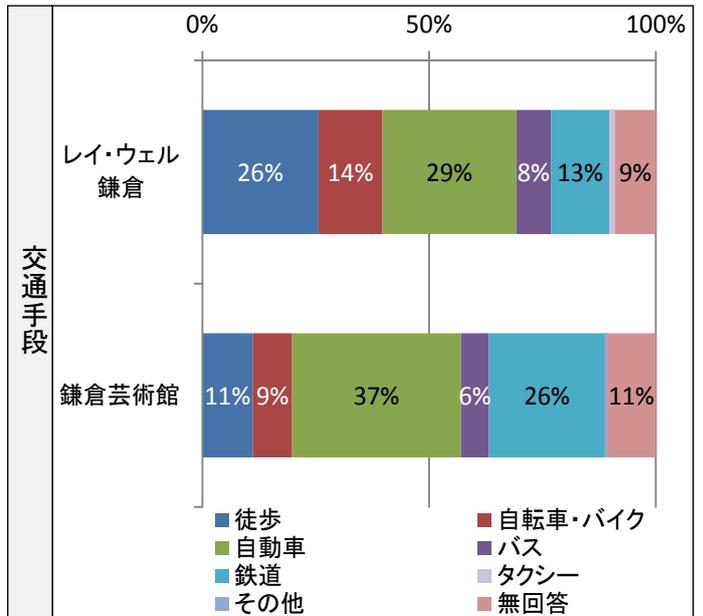
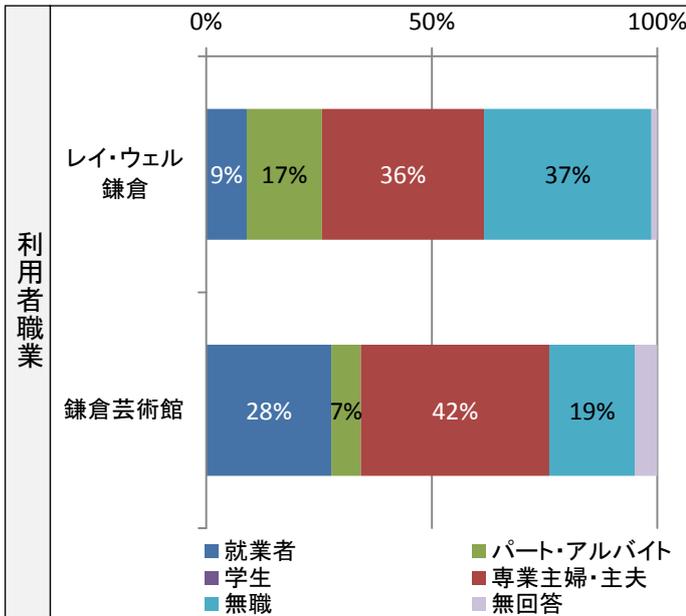
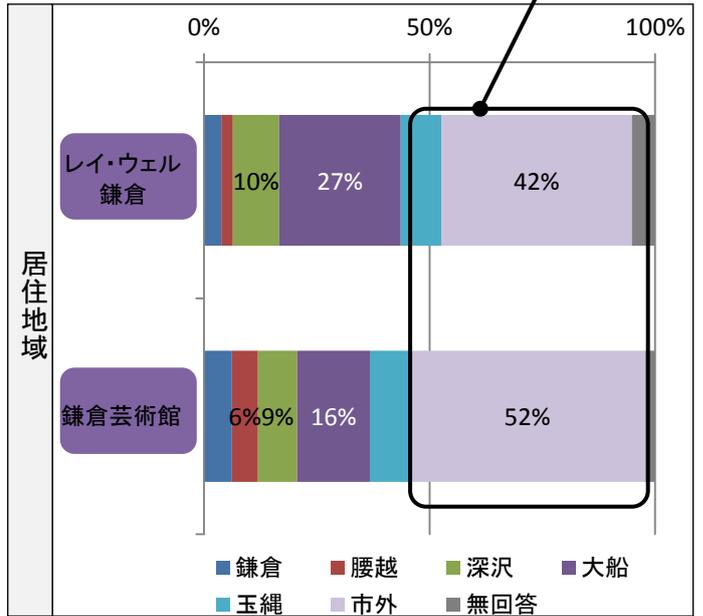
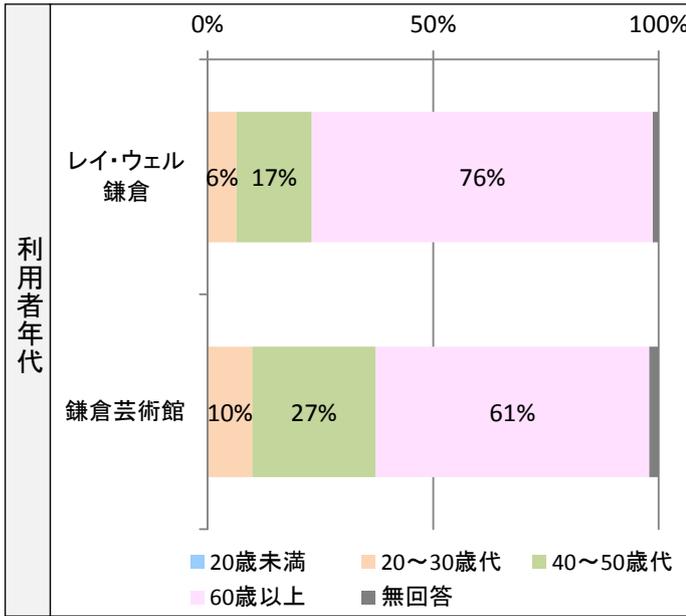


# 青少年会館



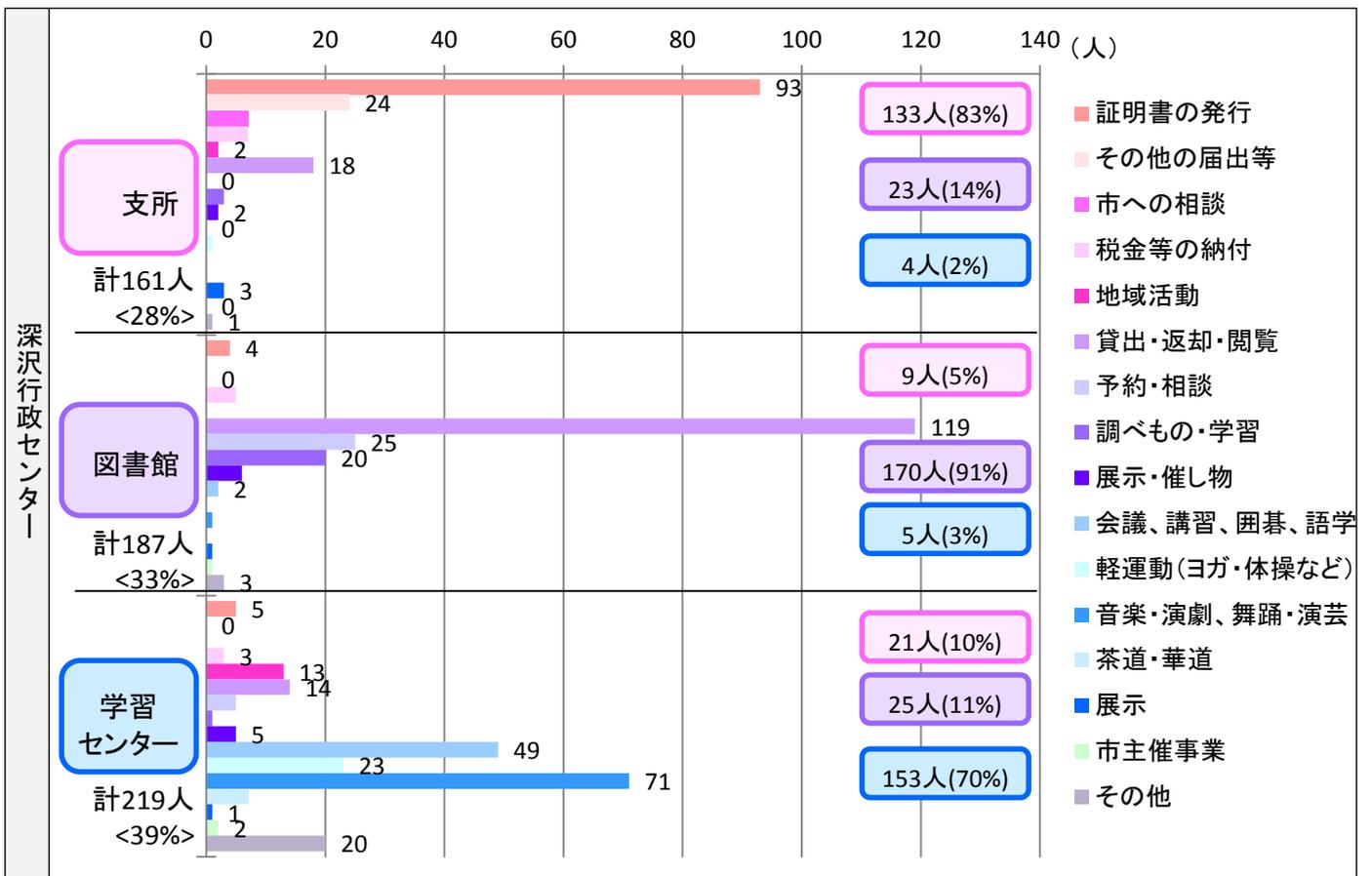
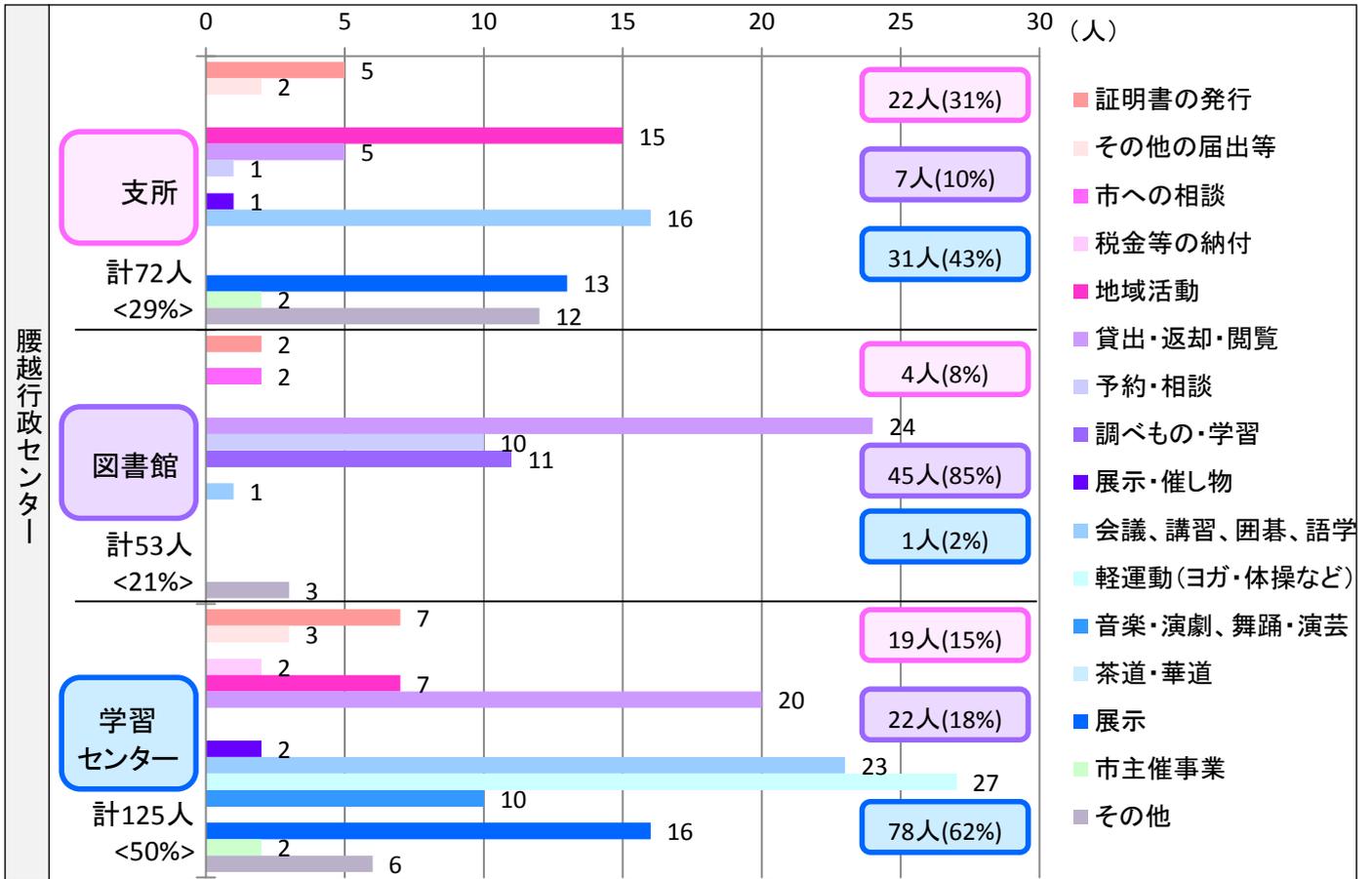
レイ・ウェル鎌倉、鎌倉芸術館

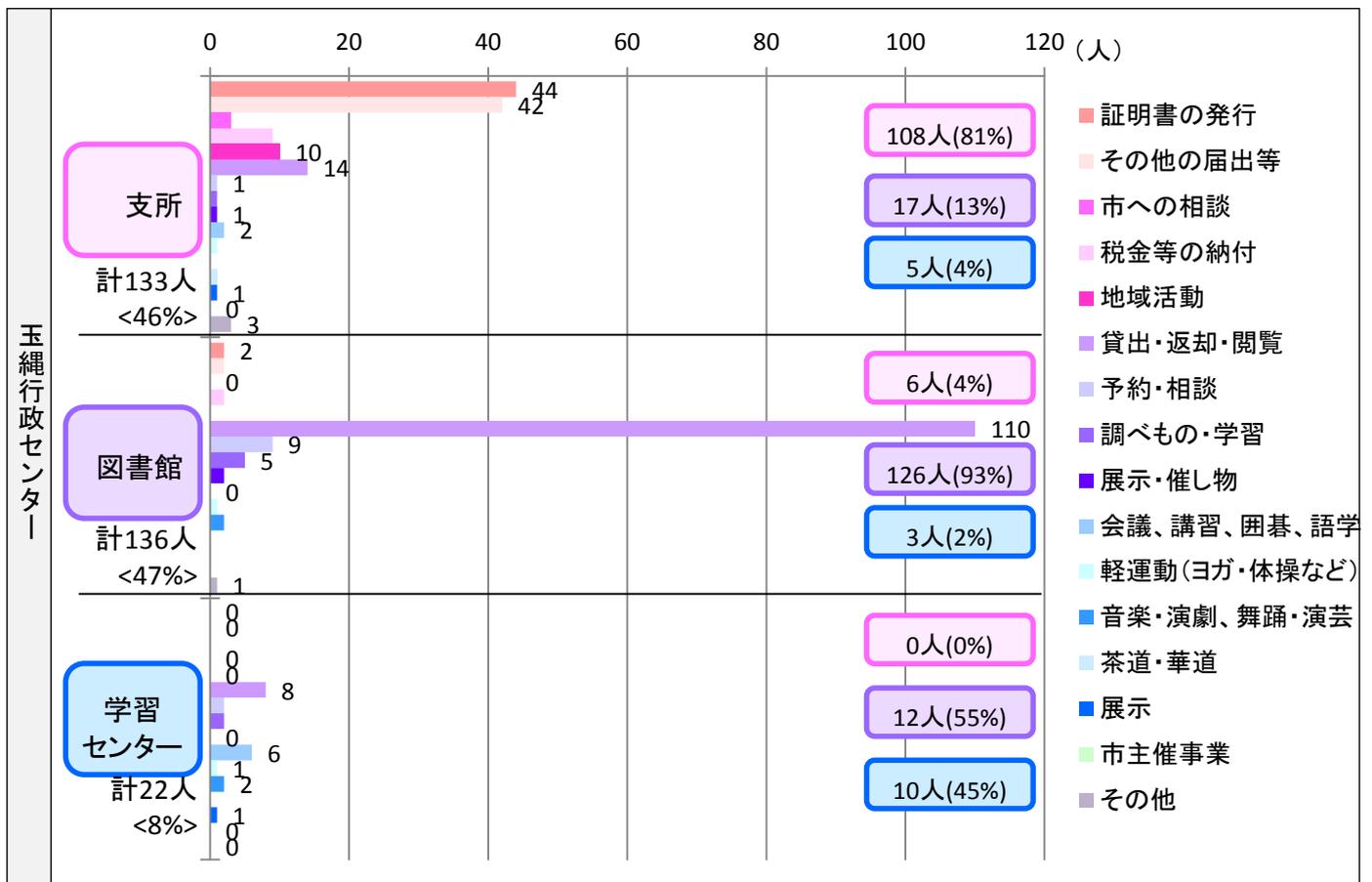
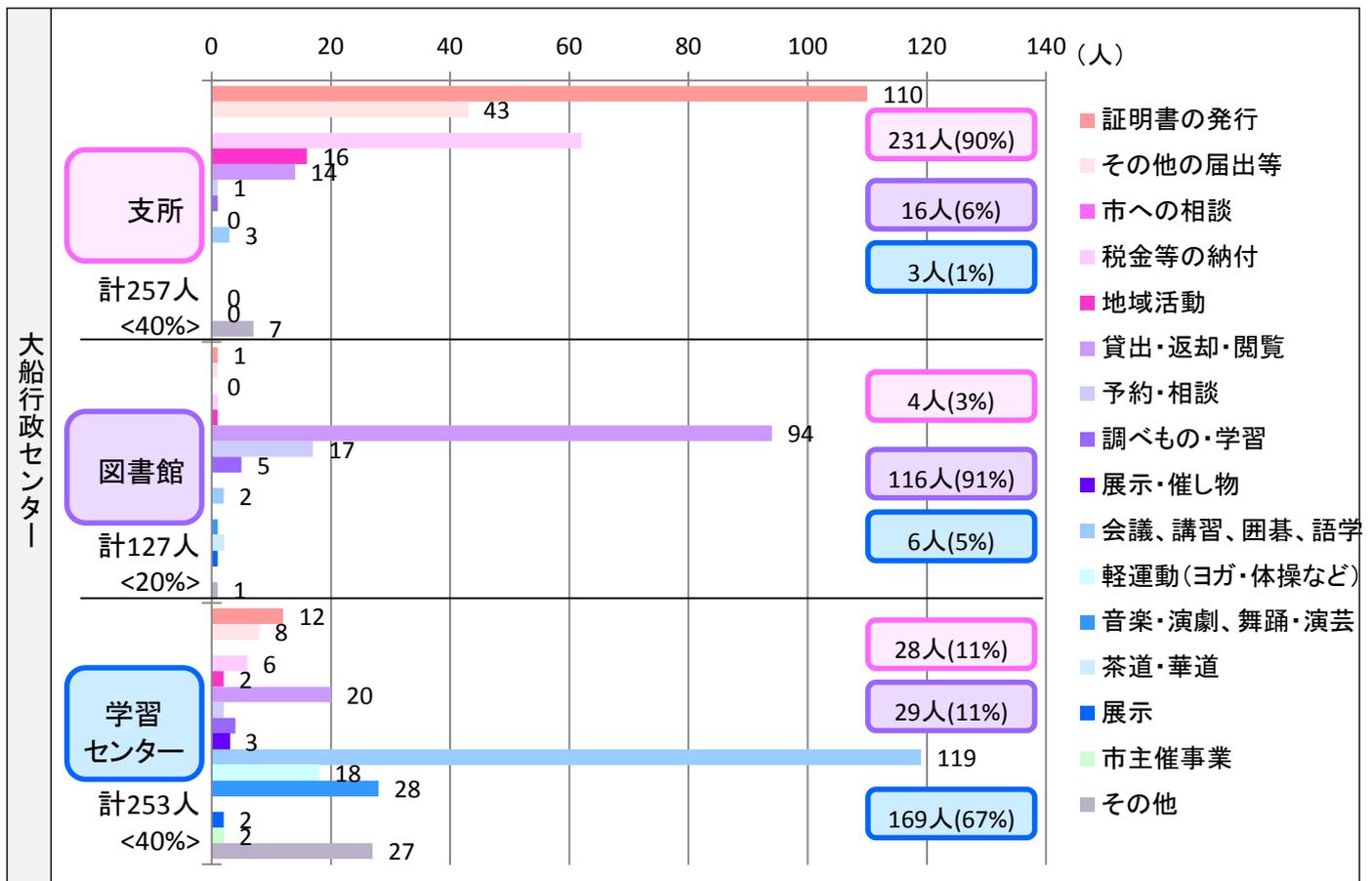
市外利用が多い。



行政センター（複合施設の利用状況（施設別の利用する理由））

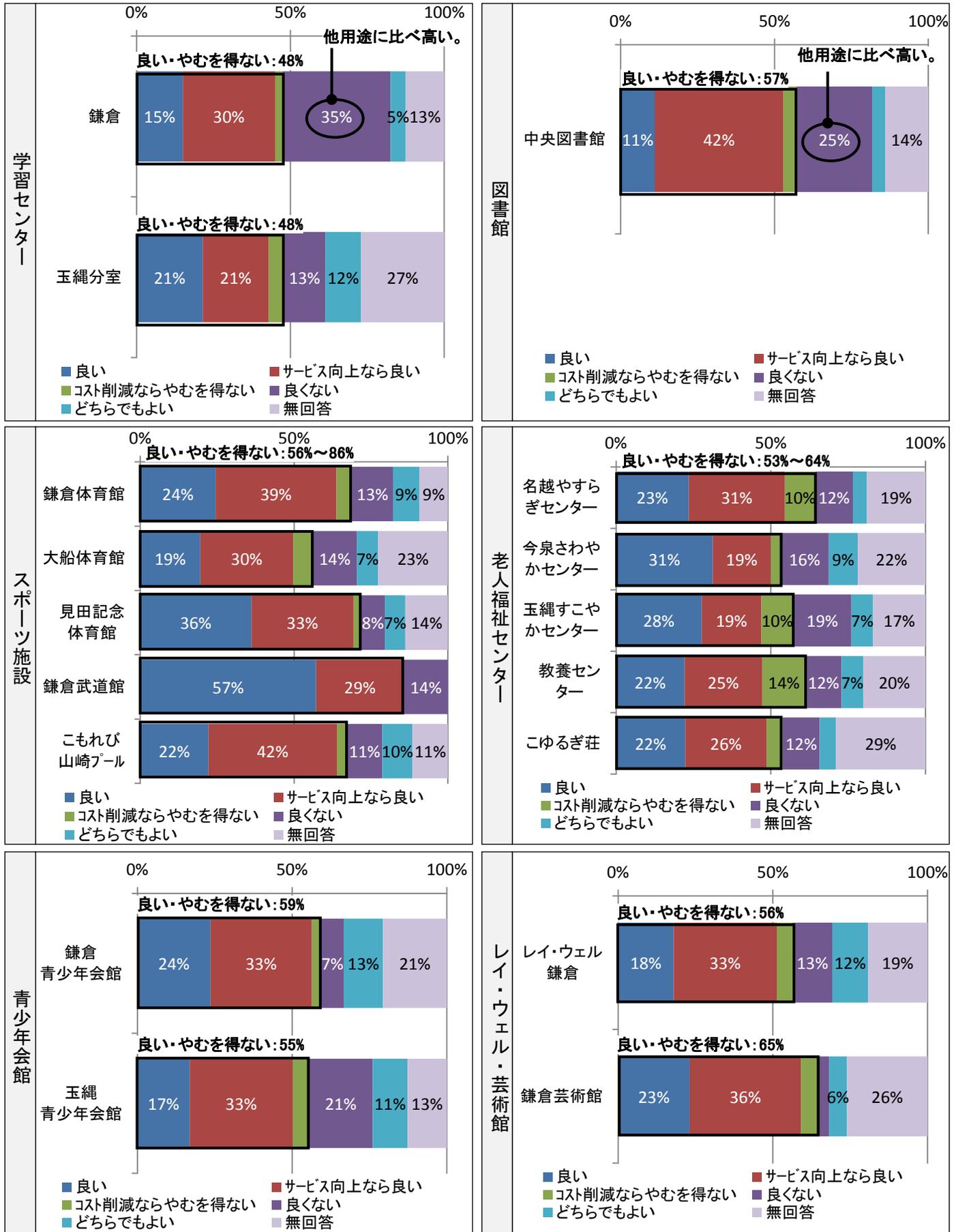
- 支所、図書館、学習センターの利用割合は施設によって異なる。
- 図書館は、図書館利用が目的の人が大半を占める。
- 支所、学習センターの利用者は、複合している他施設も利用する人が多い。





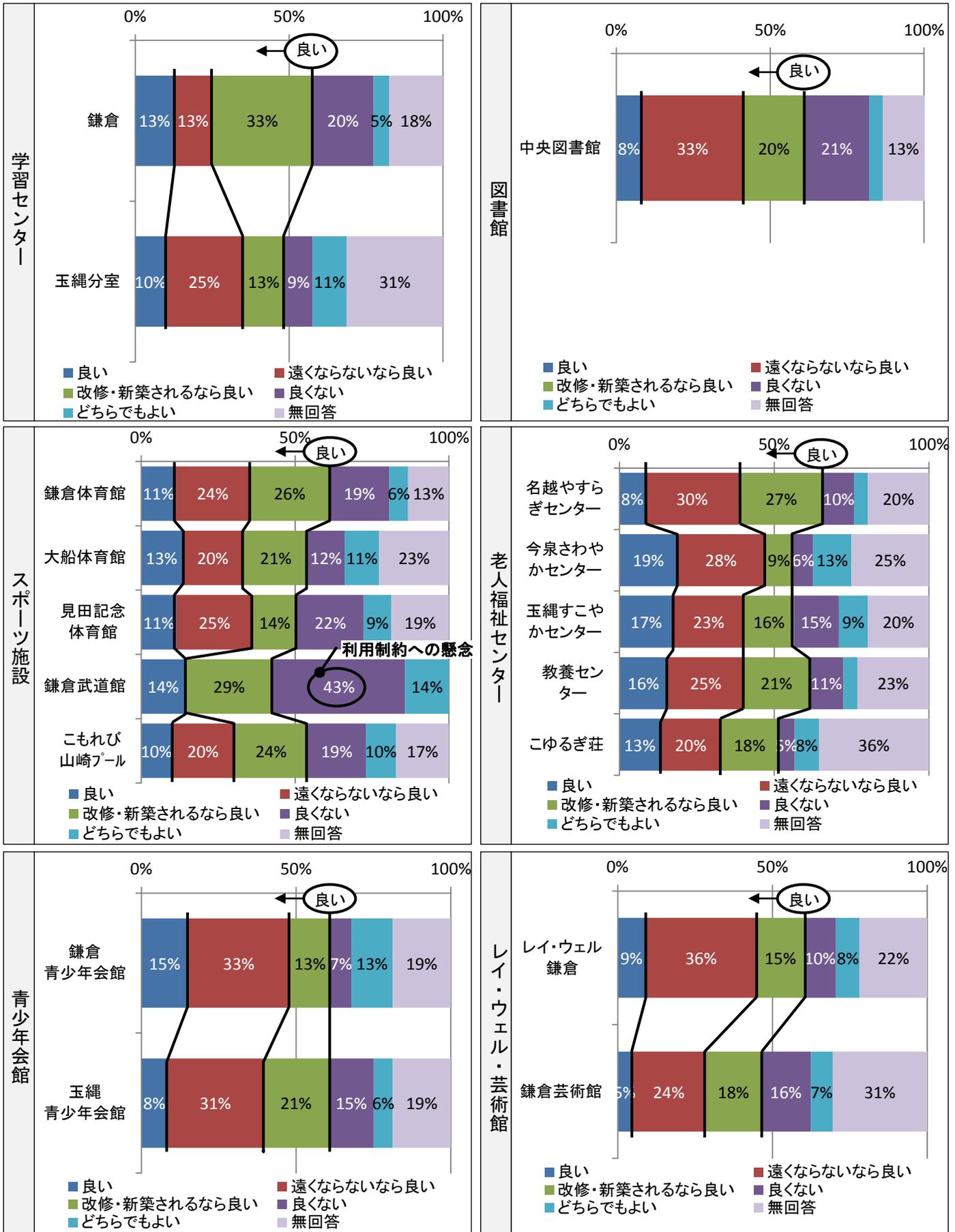
将来のあり方<民営化や指定管理者制度（民間事業者等による施設管理）導入>

- 学習センター・中央図書館は、他用途に比べ「良い」と考える人の割合が低く、「よくない」と考える人の割合が高い。
- スポーツ施設は、全施設で「良い」と考える人が多い。



将来のあり方<他施設（学校等）との複合化など>

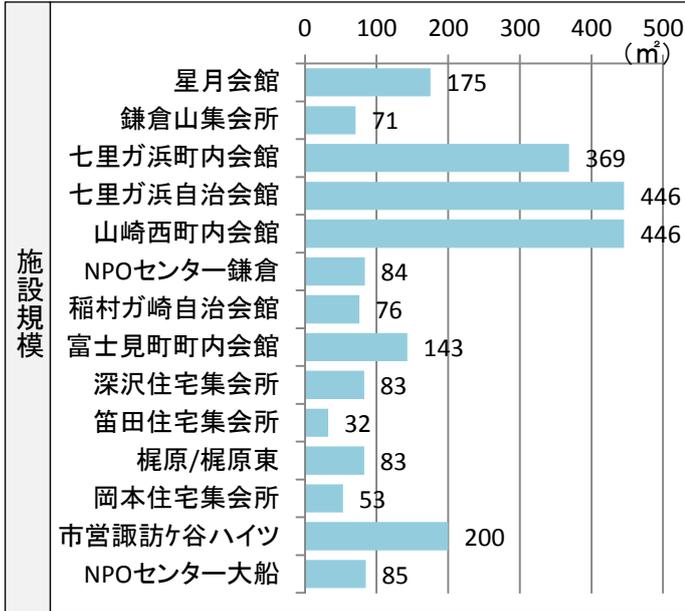
- 条件付きも含めて複合化を「良い」と考える人が全用途で50%程度である。
- 条件なく「良い」と考える人は10%程度となっている。
- 「良くない」と考える人は、利用制約が出る事への懸念が大きい。



その他集会施設

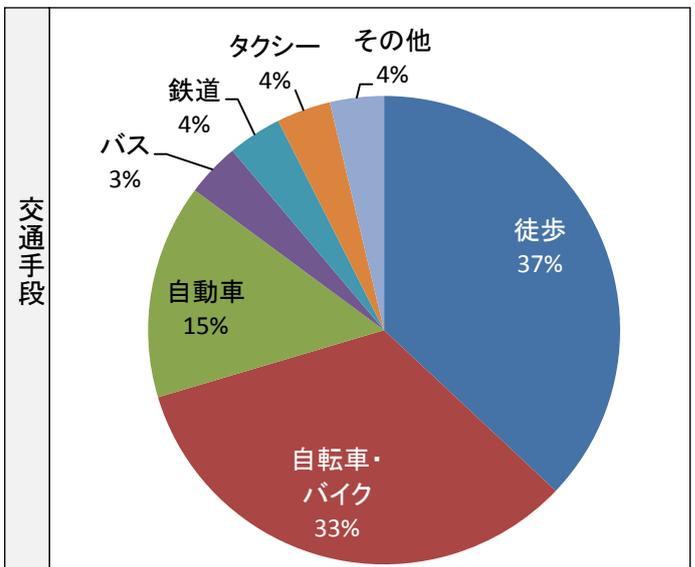
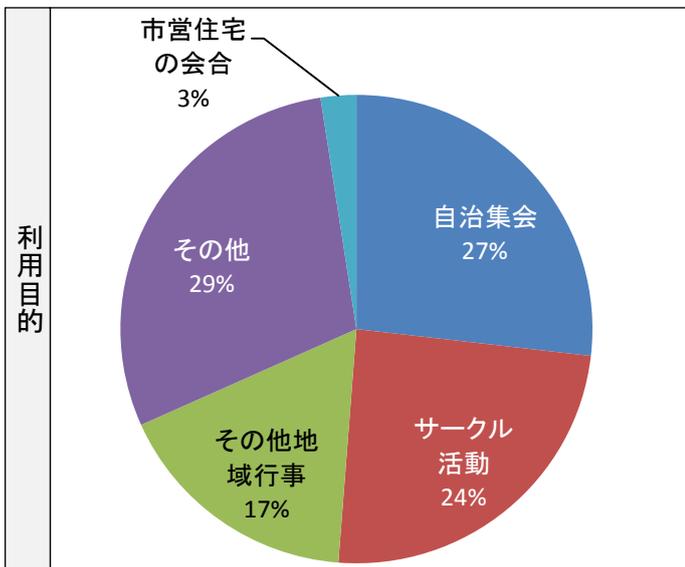
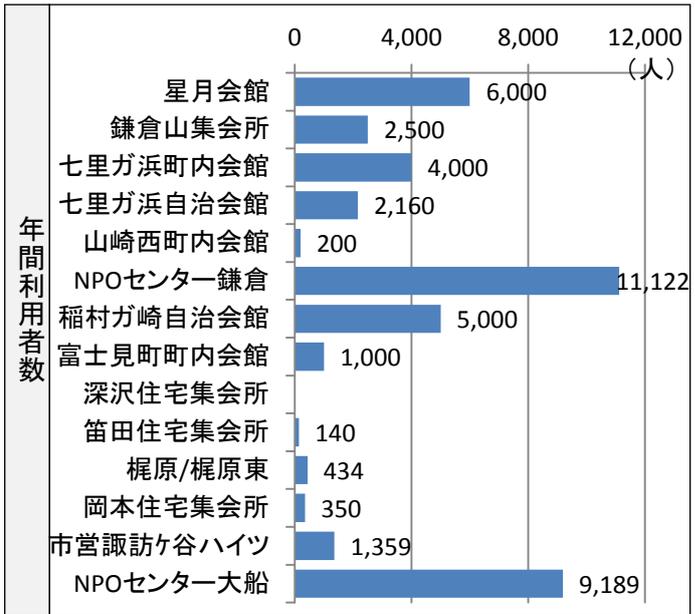
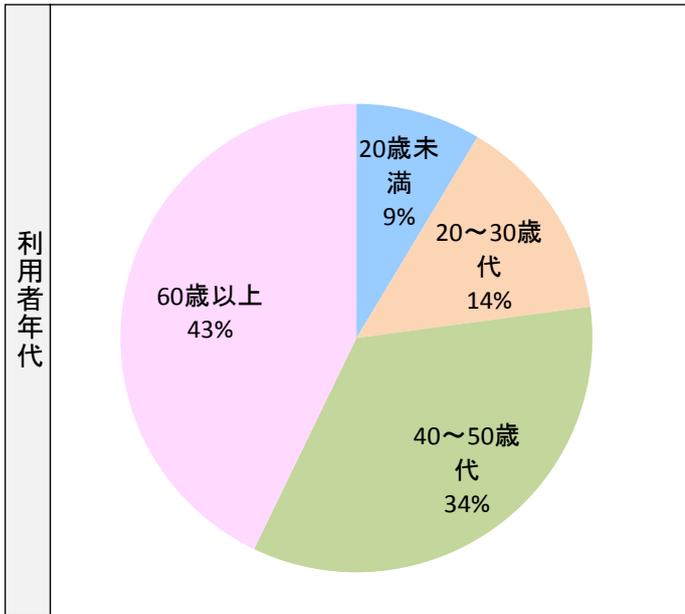
※地元の人が、自治会の集会やサークル活動(囲碁、日本画、体操等)、その他老人会や子供会、バザー等で活用  
 ※基本的に、年末年始を除き、いつでも自由に利用できる施設が多い

● 1日当たりの利用者数は、0.5人～35人と施設によりばらつきがある。



スペース構成

施設名	会議室	和室	調理室	ホール	その他
星月会館	●	●	●		管理人室
鎌倉山集会所	●				
七里ガ浜町内会館	●	●	●	●	図書室
七里ガ浜自治会館	●	●	●		図書室
山崎西町内会館	●	●	●		
NPOセンター鎌倉	●				
稲村ガ崎自治会館	●		●		カラオケ等
富士見町町内会館		●	●	●	
深沢住宅集会所	●		●		
笛田住宅集会所	●		●		
梶原/梶原東	●		●	●	
岡本住宅集会所	●		●		
市営諏訪ヶ谷ハイツ	●	●	●	●	
NPOセンター大船	●				





## 資料4 公共施設再編計画市民 web アンケート調査結果について

### 1. アンケート調査の実施方法

調査の目的： 公共施設再編計画の策定にあたり、施設ごとに考えられる具体的なコスト削減方策や今後の施設のあり方についての意見を把握する。

調査の方法： web アンケート形式

調査の対象： web リサーチ会社の登録者 2,243 人（鎌倉市在住の 18 歳以上の方）

調査の期間： 平成 26 年 3 月 14 日(金)から 3 月 23 日(日)まで

回答者数： 622 人（回答率 27.7%）

### 2. アンケート調査の結果

#### (1) 回答者の属性

##### 性別

	回答数	割合
男性	287	46.1%
女性	335	53.9%
合計	622	100.0%

##### 年齢

	回答数	割合
18歳～20歳代	69	11.1%
30歳代	119	19.1%
40歳代	170	27.3%
50歳代	128	20.6%
60歳代	93	15.0%
70歳以上	43	6.9%
合計	622	100.0%

##### 家族構成

	回答数	割合
ひとり暮らし	58	9.3%
夫婦のみ	135	21.7%
子育て世帯※ <sup>1</sup>	131	21.1%
親と子ども世帯※ <sup>2</sup>	111	17.8%
親と子ども世帯※ <sup>3</sup>	118	19.0%
三世同居	52	8.4%
その他	17	2.7%
合計	622	100.0%

※1 回答者が親で 18 歳未満の子どもと同居する世帯

※2 回答者が親で 18 歳以上の子どもと同居する世帯

※3 回答者が子ども

##### 居住地域

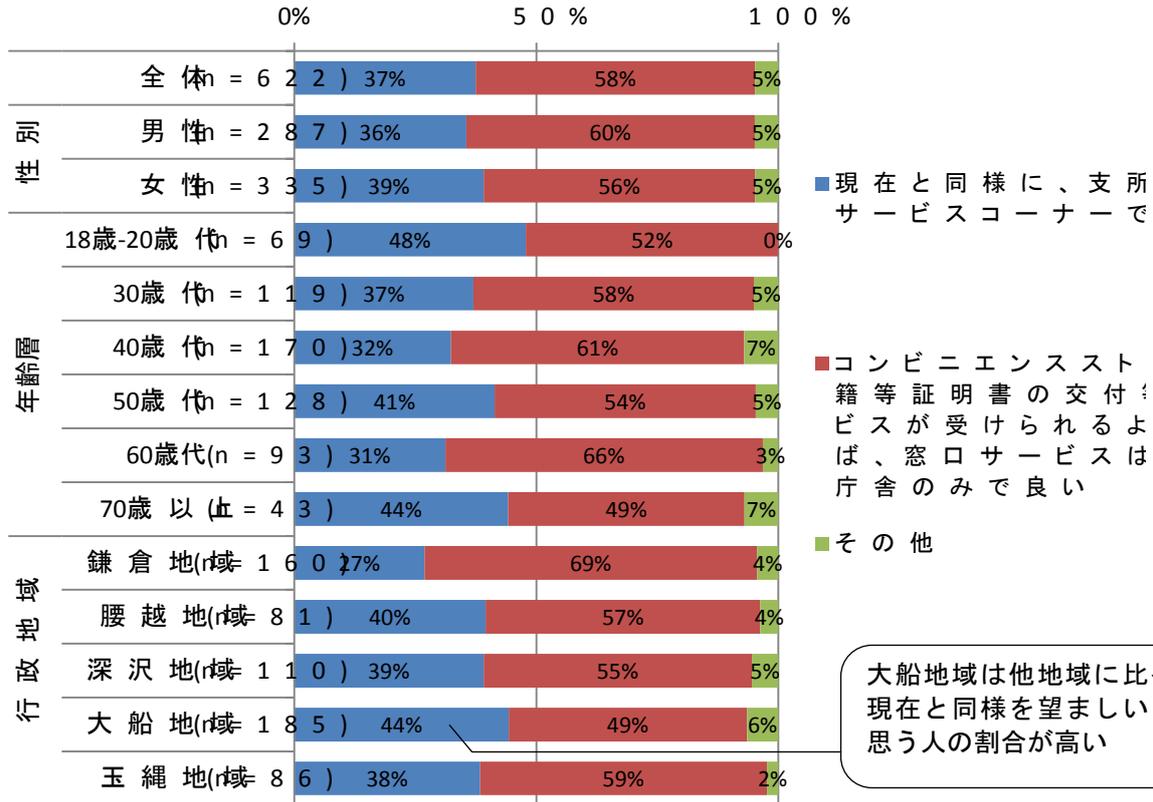
	回答数	割合
鎌倉地域	160	25.7%
腰越地域	81	13.0%
深沢地域	110	17.7%
大船地域	185	29.7%
玉縄地域	86	13.8%
全体	622	100.0%

##### 最寄りの鉄道駅までの距離

	回答数	割合
500m未満	212	34.1%
500m～1km未満	197	31.7%
1km～2km未満	153	24.6%
2km以上	60	9.6%
全体	622	100.0%

(2) 支所等の窓口サービスについて

【問1】支所等の窓口サービスについて望ましいと思うものを1つ選んでください。



大船地域は他地域に比べ現在と同様を望ましいと思う人の割合が高い

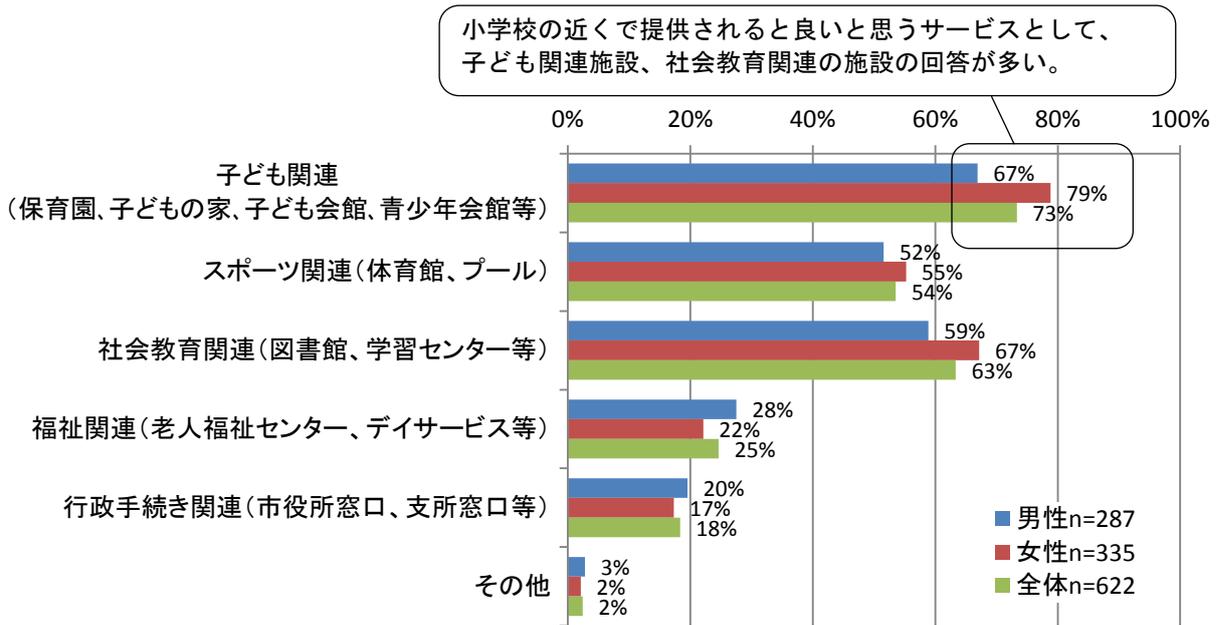
【その他の回答】

- ・本庁と大船支所とルミネ
- ・市民サービスコーナーを廃止する
- ・便利になるのは良いが情報が漏洩しないか心配
- ・インターネットを利用し、支所等の機能を縮小する
- ・窓口サービスにいる常勤職員を減らす
- ・ケースバイケースで
- ・大船と玉縄は市民サービスコーナーと併合で充分
- ・市役所本庁舎でなければ受けられない窓口サービスがなければコンビニ等での窓口サービスの方が利用しやすく便利でよい
- ・1と2の両方
- ・大船支所は不要だ コストもずば抜けて高い
- ・遠い人は困るので両方でやればよい
- ・コンビニ、電子交付を増やし始祖、サービスコーナーの人員削減
- ・2、であっても窓口サービスが市役所本庁のみというのは反対
- ・コンビニエンスストア等で、支払関係のサービスが受けられることは必要、証明書などの発行はコンビニエンスストア等での提供は個人情報の観点から怖いので嫌、支所の窓口サービスが土日も受けられると便利
- ・両方兼用しても良いと思う
- ・コンビニが良い そして、クレジットカードで支

- 払いができるようになれば助かる
- ・支所・市民サービスコーナーを中心に遠方などでいられない場合のためにコンビニエンスストアでの利用を合わせたハイブリッド方式でよい
- ・インターネットの有効活用
- ・大船駅、鎌倉駅などに市民サービスコーナーを設置、窓口サービスは市役所本町のみで
- ・本庁と大船駅ビルの2箇所にする
- ・1と2を組み合わせるとより合理的に
- ・現在と同様の継続とし、職員の人数を・人件費を半減とする 状況を見れば可能です
- ・時間外にはコンビニも利用する
- ・希望退職などを利用し人員削減もしながら施設の規模縮小、コンビニとの提携等使える手段をフルに使ってサービスは維持すべき
- ・窓口・対応時間の拡大
- ・コンビニ等でサービスが受けられるのなら、窓口は今よりは減らしてよいが、複数欲しい
- ・地域の公民館や町内会館などでずっとは無理かと思うが例えば曜日や月何日などのように定期的にサービス受けられると良いと思われる
- ・大船はどちらか廃止 使えない職員多すぎ
- ・支所、市民サービスコーナーを統廃合して継続
- ・窓口でしかできないサービスもあると思うので、支所も必要

(3) 学校の近くで提供されると良いと思うサービスについて

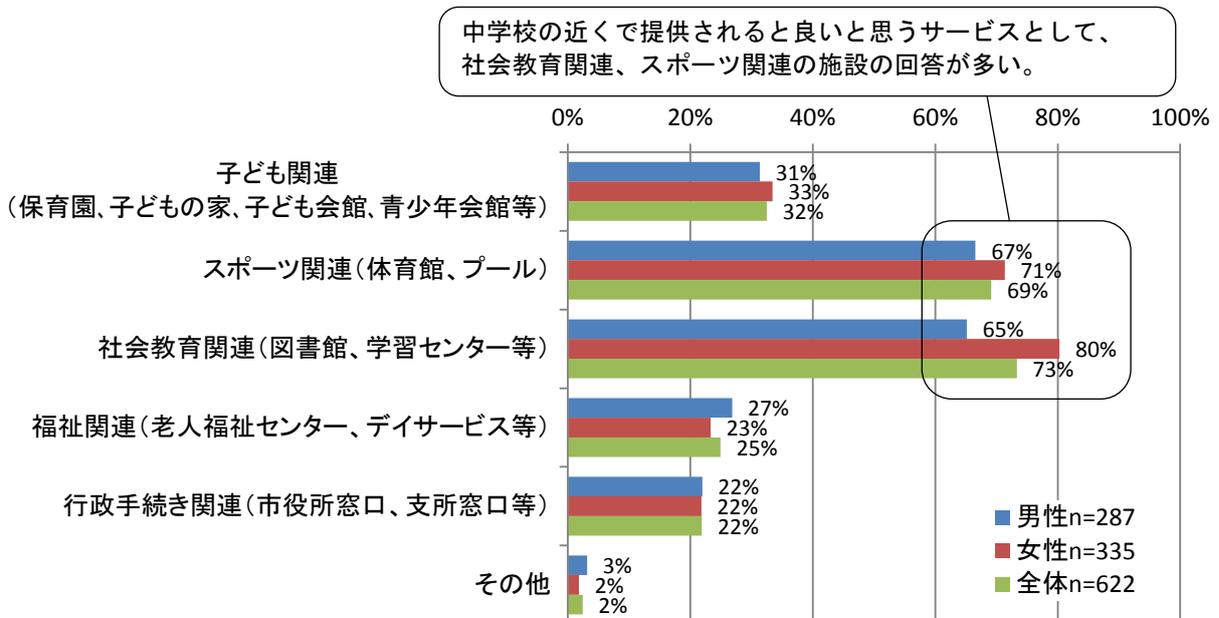
【問2】 小学校の近く（あるいは同じ場所）で提供されると良いと思うサービスについて、当てはまるものを最大3つまで選んでください。



その他回答：特になし、断定できない、これ以上サービスを広げなくてよい(8)

児童保育所、小規模学習コワーキングスペース、フリースクール（登校拒否児などを受け入れる施設等）、駐車場、大学の誘致や美術館・博物館など、一か所でなんでもそろう建物、品川区では公立の小中一貫校が増え上記の全てが集約している

【問3】 中学校の近く（あるいは同じ場所）で提供されると良いと思うサービスについて、当てはまるものを最大3つまで選んでください。



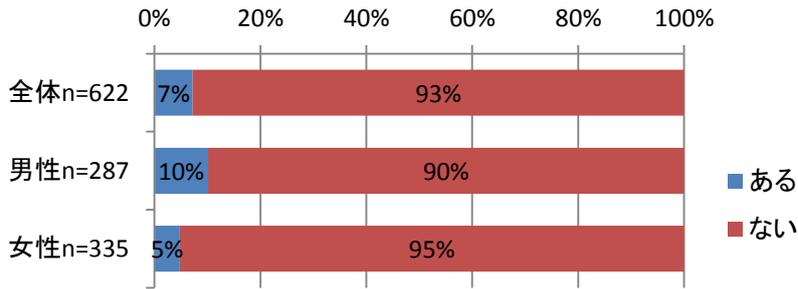
その他回答：特になし、断定できない、これ以上サービスを広げなくてよい(8)

津波退避施設、駐車場、フリースクール、小規模学習コワーキングスペース、大学の誘致や美術館・博物館など、大きなモール

(4) 老人福祉センターについて

【問4】 老人福祉センターで利用したことがある施設はありますか。

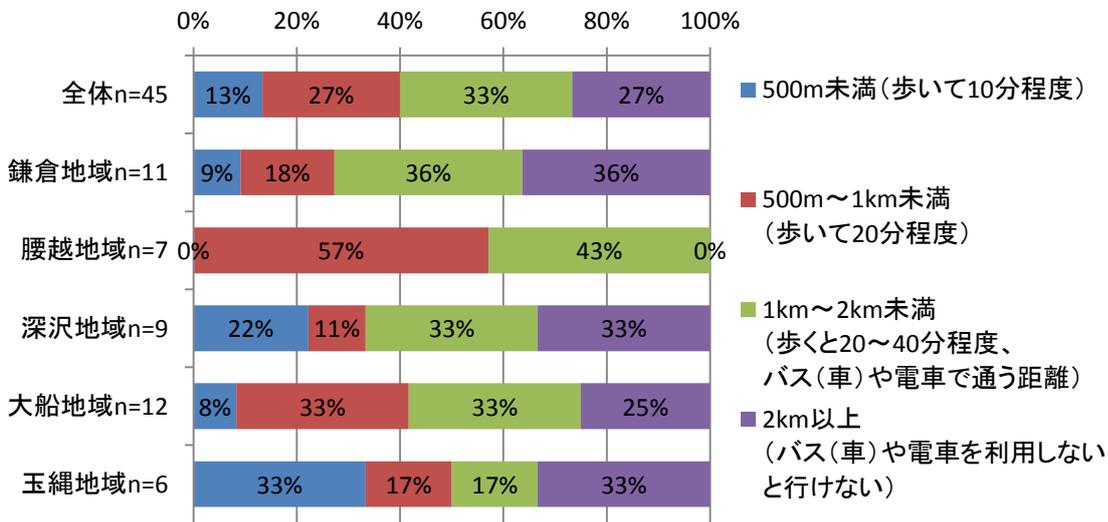
(名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター、老人いこいの家「こゆるぎ荘」)



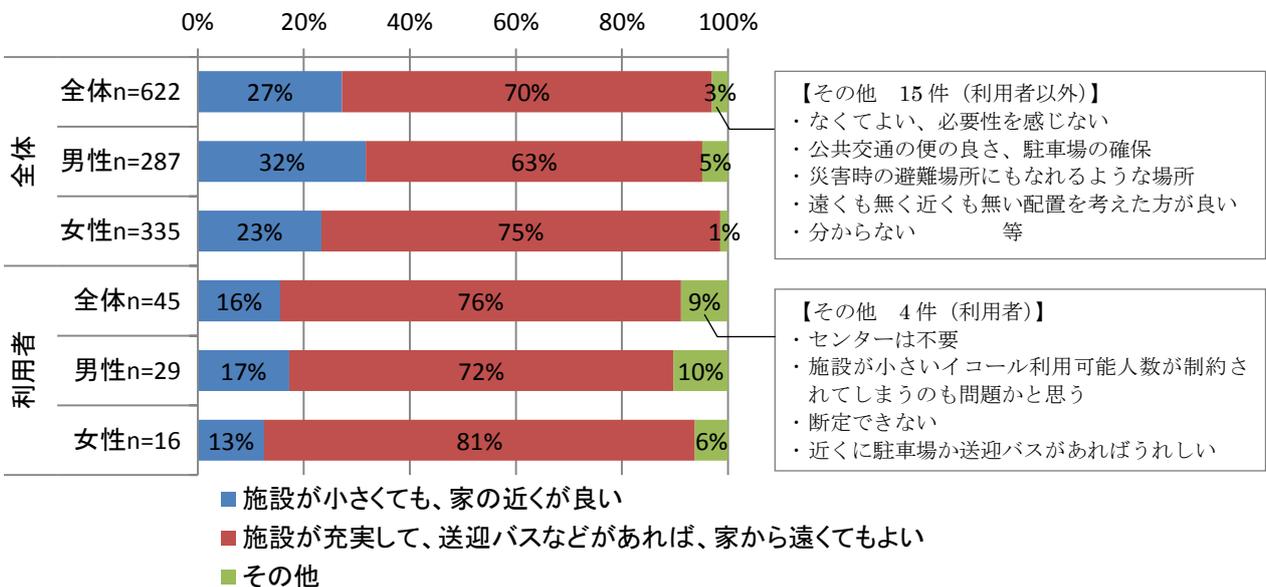
あると回答した人：45人 (問5)

【問5】 あなたのお住まいから、利用したことがある老人福祉センターまでの距離を1つ選んでください。

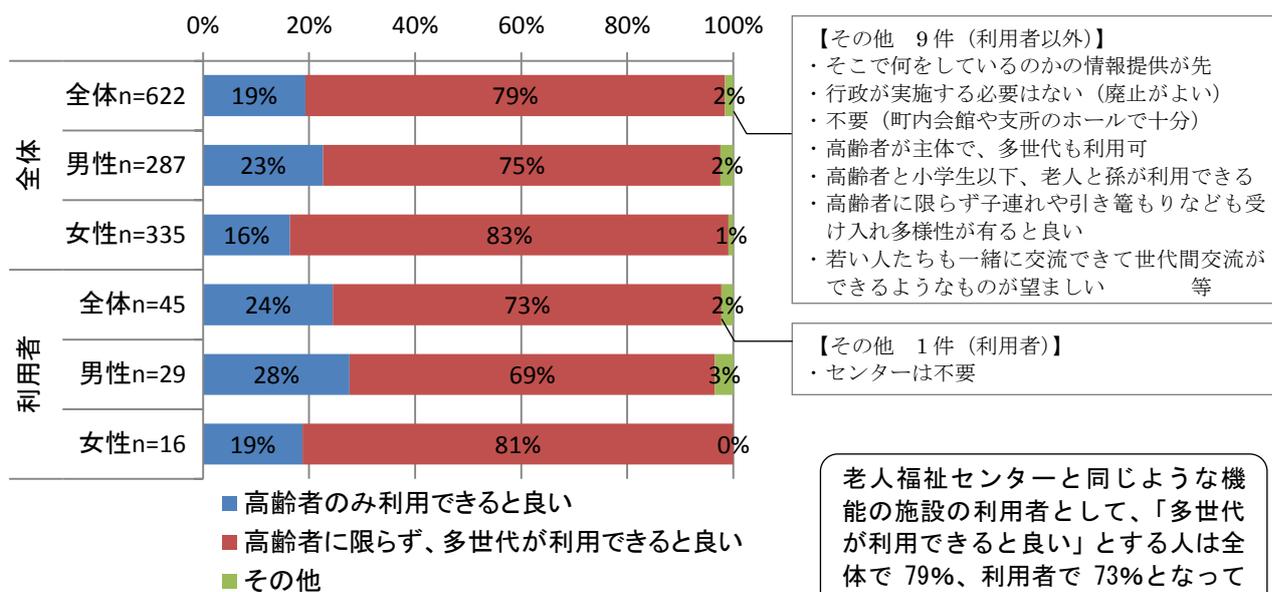
※複数利用したことがある方は最も利用したことのある老人福祉センターについてお答えください。



【問6】 老人福祉センターの立地について、望ましいと思うものを1つ選んでください。



【問7】 老人福祉センターは高齢者専用ですが、同じような機能をもつ施設の利用者として望ましいと思うものを1つ選んでください。



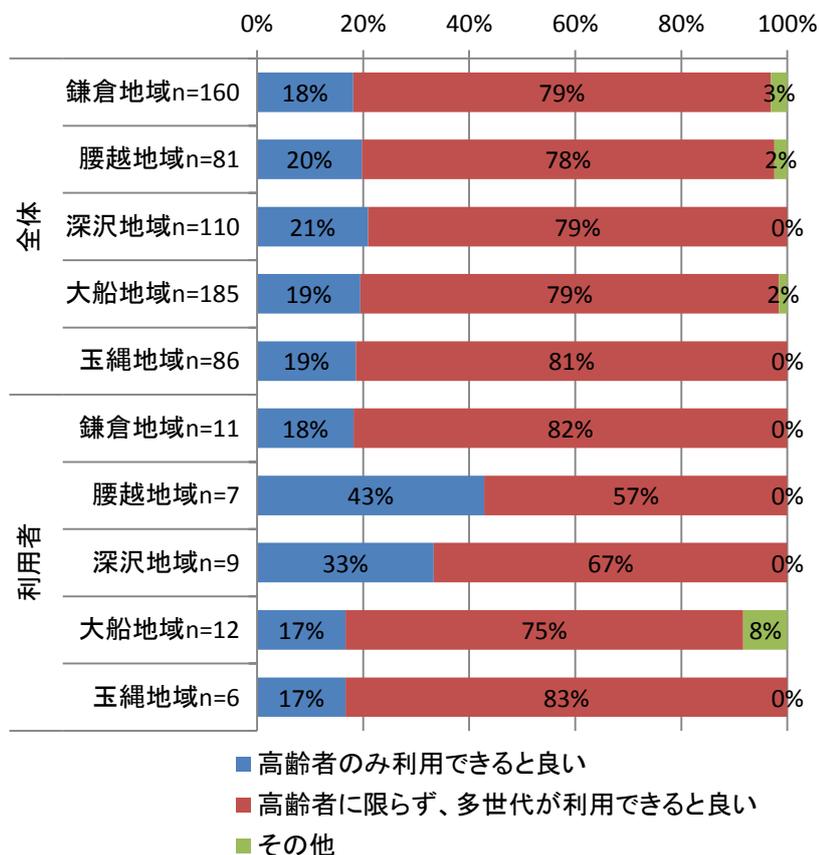
【その他 9件（利用者以外）】

- ・ここで何をしているのかの情報提供が先
- ・行政が実施する必要はない（廃止がよい）
- ・不要（町内会館や支所のホールで十分）
- ・高齢者が主体で、多世代も利用可
- ・高齢者と小学生以下、老人と孫が利用できる
- ・高齢者に限らず子連れや引き籠もりなども受け入れ多様性が有ると良い
- ・若い人たちも一緒に交流できて世代間交流ができるようなものが望ましい 等

【その他 1件（利用者）】

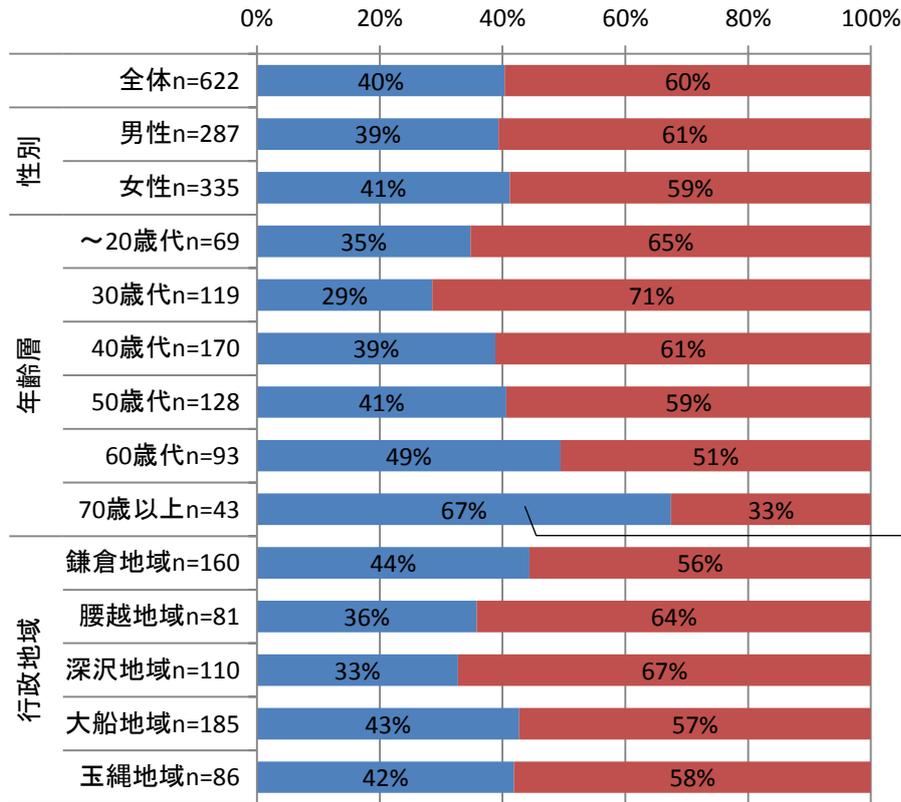
- ・センターは不要

老人福祉センターと同じような機能の施設の利用者として、「多世代が利用できると良い」とする人は全体で 79%、利用者で 73%となっている。



(5) 社会教育施設について

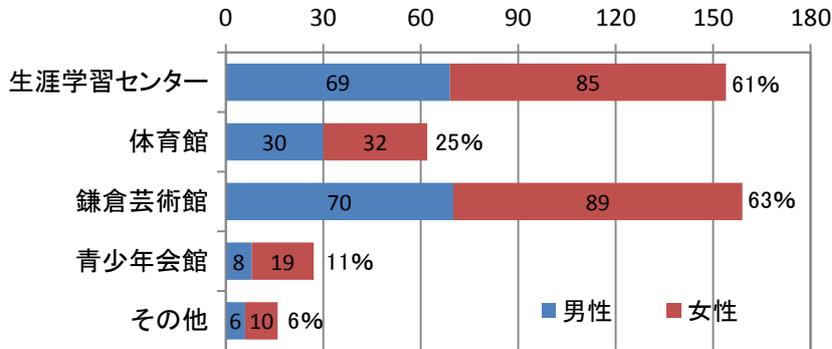
【問8】 あなたは生涯学習活動（講座の受講・各種教室・スポーツ教室等）で市内の公共施設を利用していますか。



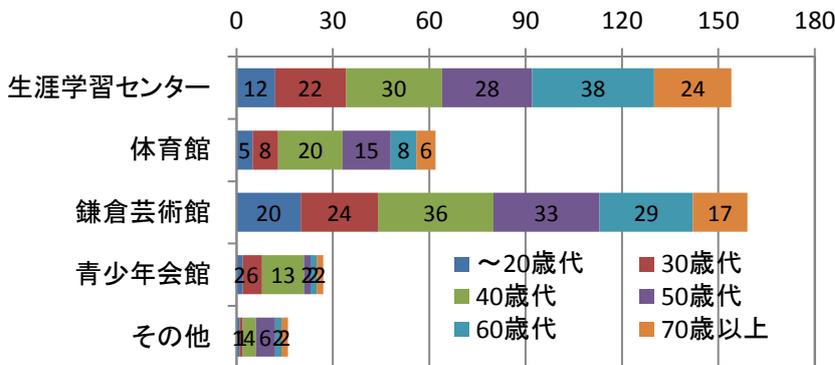
70歳以上の67%が生涯学習活動で市内の公共施設を利用している

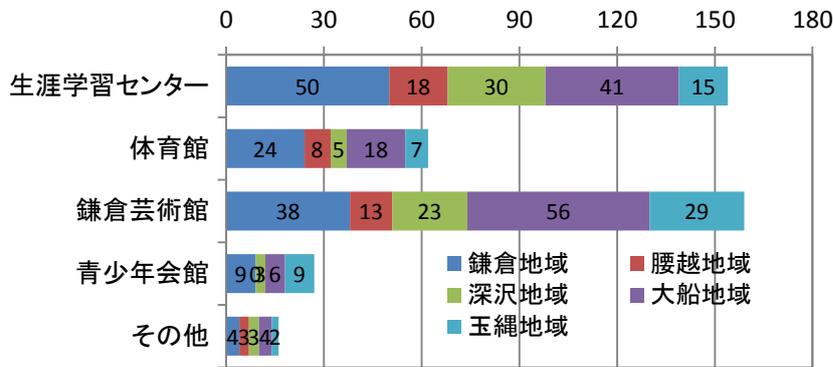
■ 利用している ■ 利用していない

↓ 利用していると回答した251人の利用場所（複数回答可）

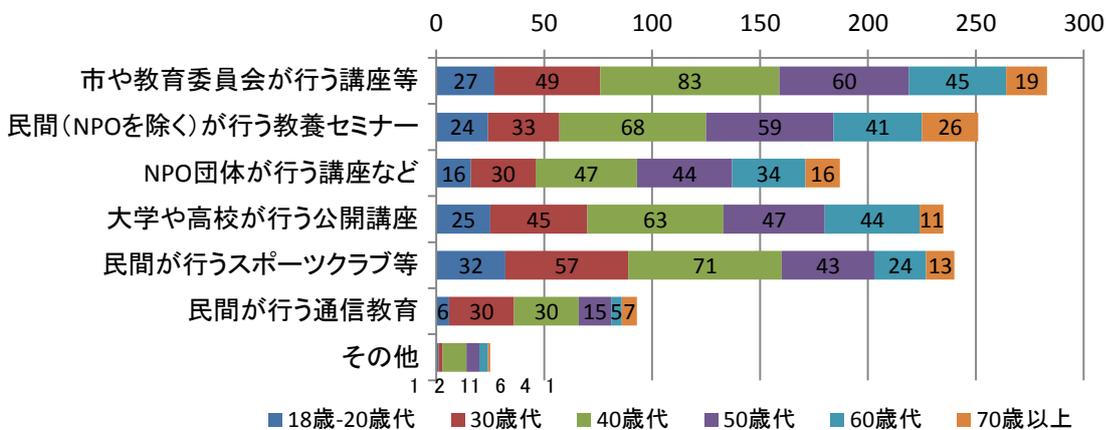
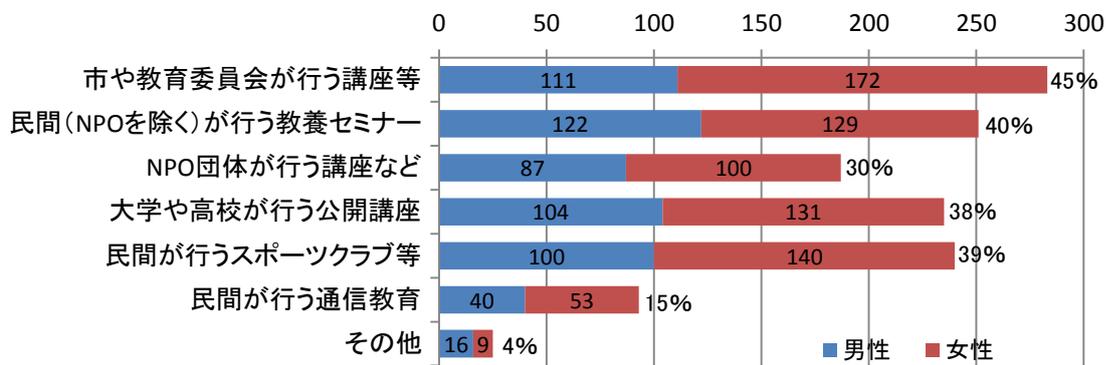


- 【その他 (16)】
- ・ 笛田公園テニスコート
  - ・ 教養センター
  - ・ 山崎こもれび温水プール(3)
  - ・ 市営プール
  - ・ 鎌倉武道館(2)
  - ・ 見田記念体育館
  - ・ 大船行政センター
  - ・ 学校開放施設
  - ・ 図書館
  - ・ NPOセンター
  - ・ 鎌倉市公園協会の講座
  - ・ 町内会会館
  - ・ 男の料理教室





【問9】 あなたが生涯学習活動（講座の受講・各種教室・スポーツ教室等）を行う場合に、どのような機会を利用したいですか。最大3つまでお選びください。  
 ※生涯学習活動を行う予定のない方も行う場合を想定してお答えください。(n=622)

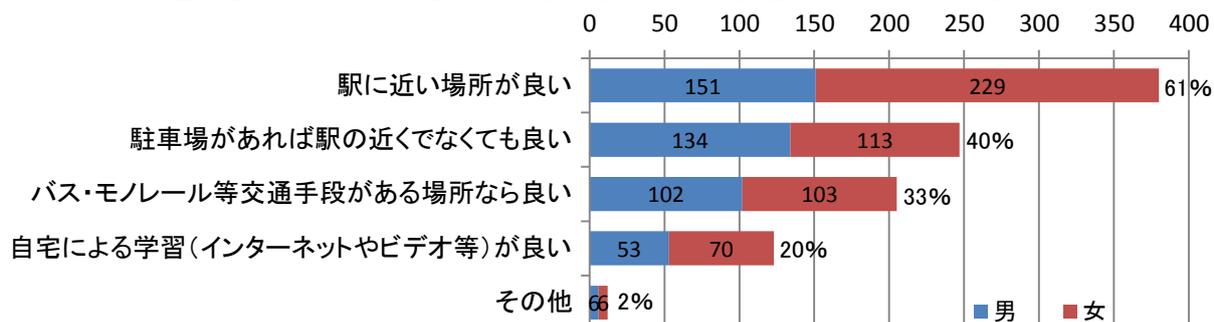


【その他の回答】

- ・施設がいない(2) その他空いている場所は沢山ある
- ・コンサートや芸術、公演、図書、自習
- ・低料金の英会話教室、無料の講座
- ・ない・必要でない(7)
- ・利用したくない
- ・アクセスが悪いので利用しないと思う
- ・行政が関わっているものには参加したくない
- ・生涯学習は個人で行うべきもので行政が主導すべきでないとする(2)
- ・何かをやりたいと思っているが商業ベースではできにくい個人の教室や講座セミナーなど個人ベースの(安めの)取組の応援など
- ・サークルの仲間とミーティング
- ・テーマ・内容により、公共・民間に限らず、利用する(2)

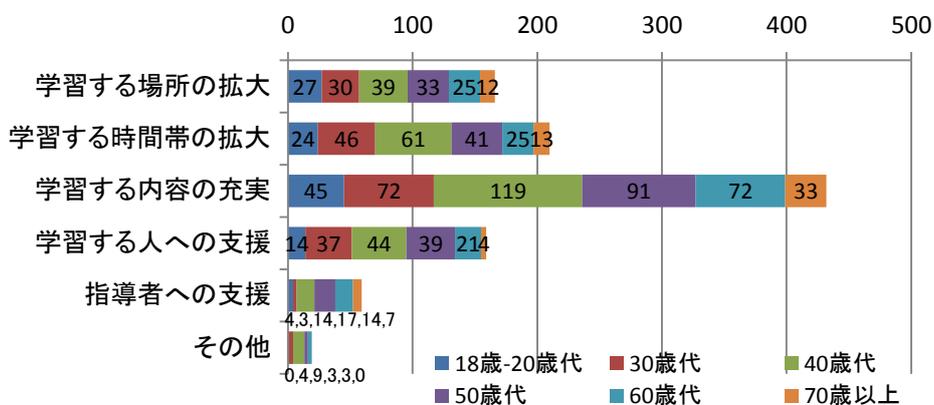
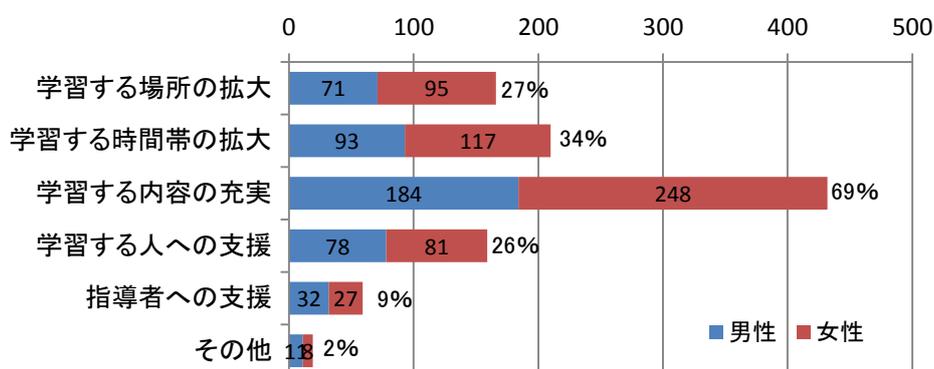
【問 10】 あなたが生涯学習活動を行う場合に、希望する場所はどこですか。最大2つまでお選びください。

※生涯学習活動を行う予定のない方も行う場合を想定してお答えください。(n=622)



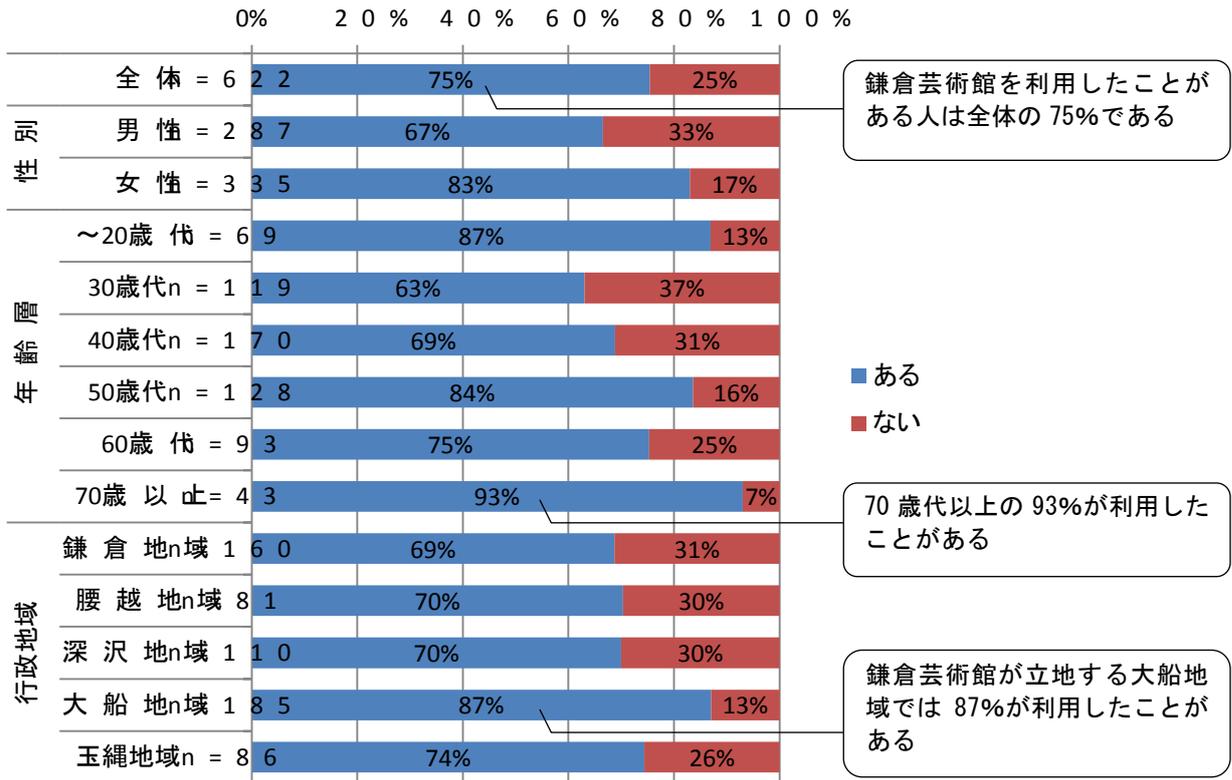
【問 11】 あなたが今後の生涯学習活動に期待することは何ですか。最大2つまでお選びください。

※生涯学習活動を行う予定のない方も行う場合を想定してお答えください。(n=622)



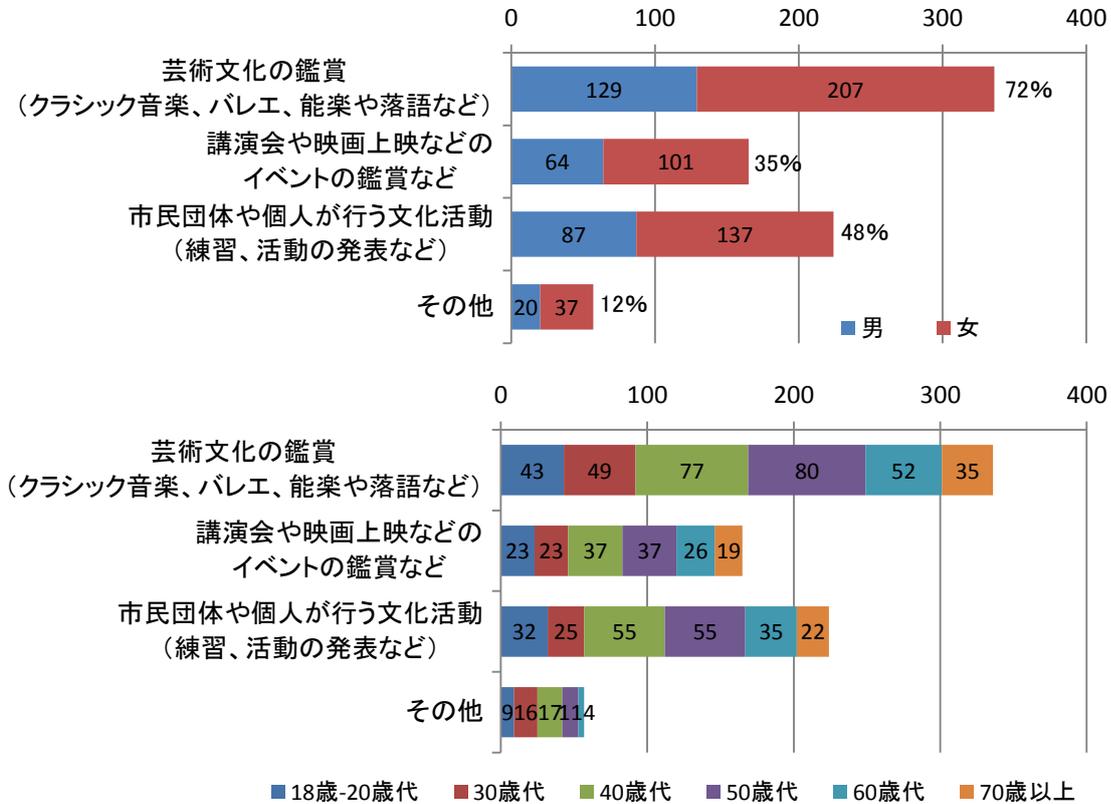
(6) 鎌倉芸術館について

【問 12】 鎌倉芸術館を利用したことがありますか。

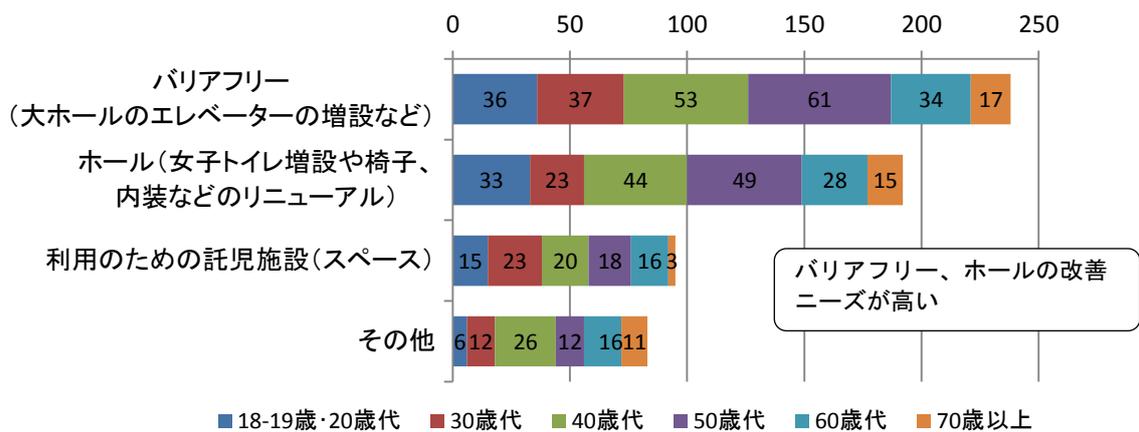
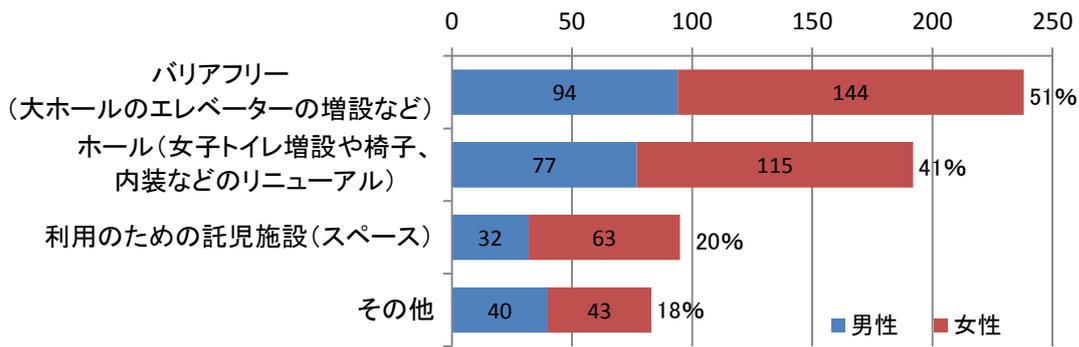


↓ 利用していると回答した469人：問13・問14

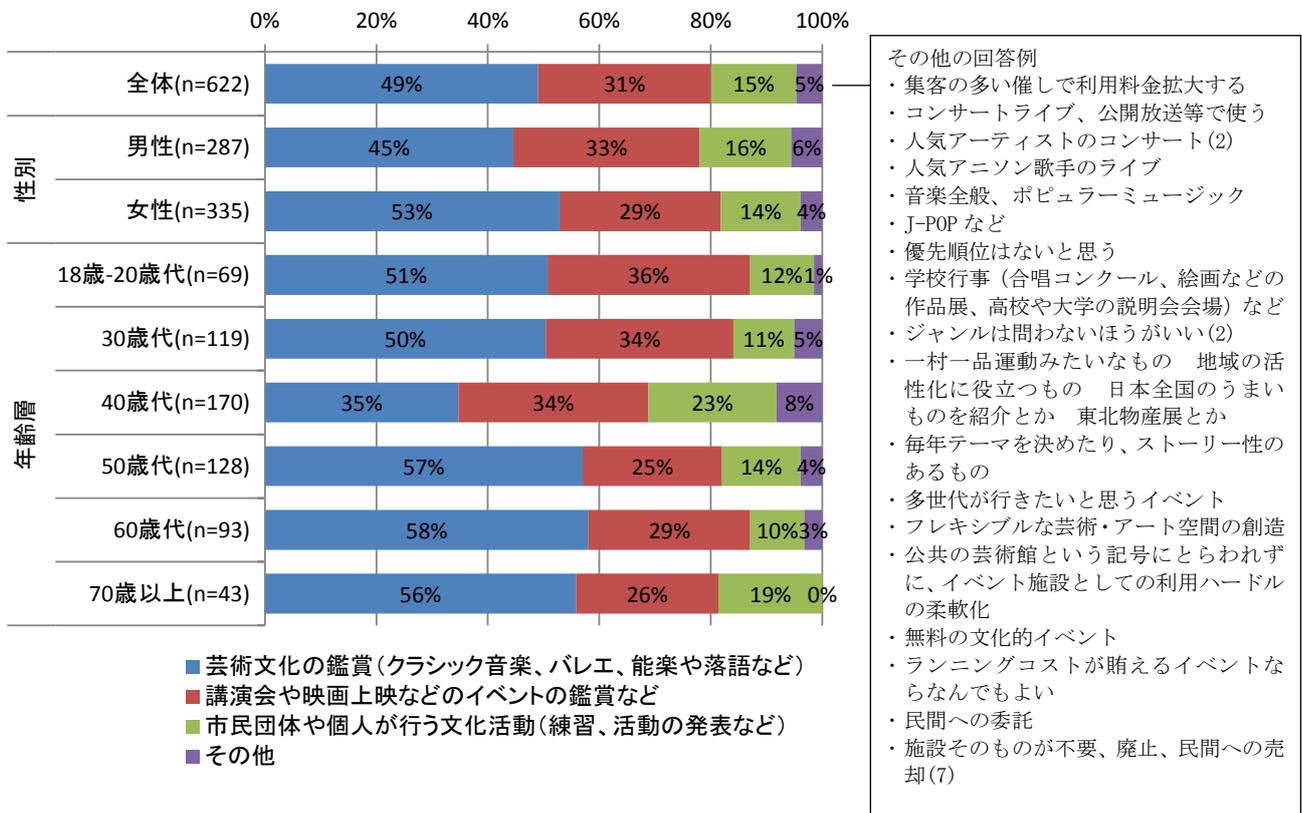
【問 13】 どのような目的で利用したことがありますか。複数回答可



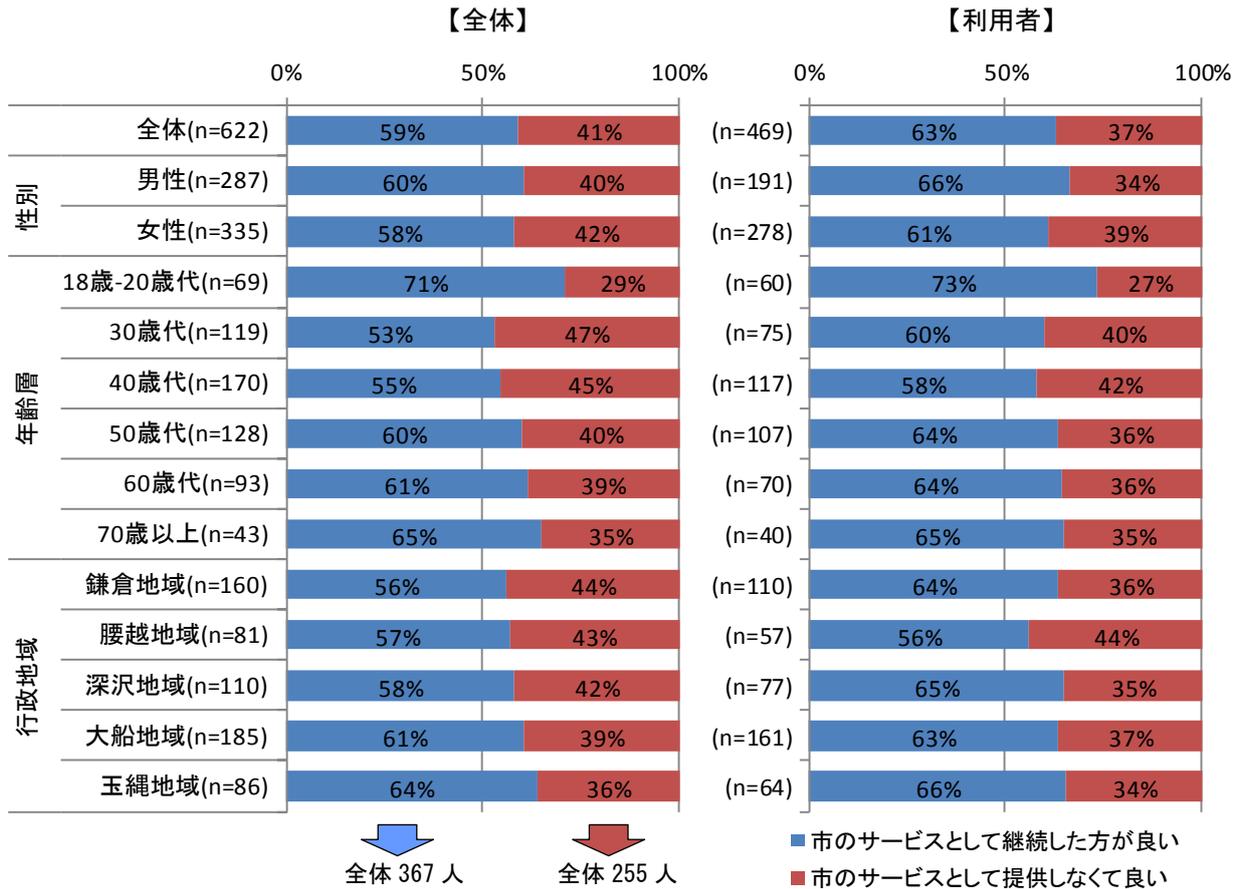
【問 14】 利用料金が高くなったとしても、今後設置すべき設備、施設などがありますか。  
 あてはまるものを選んでください。複数回答可。  
 ※利用していると回答した 469 人に対する設問



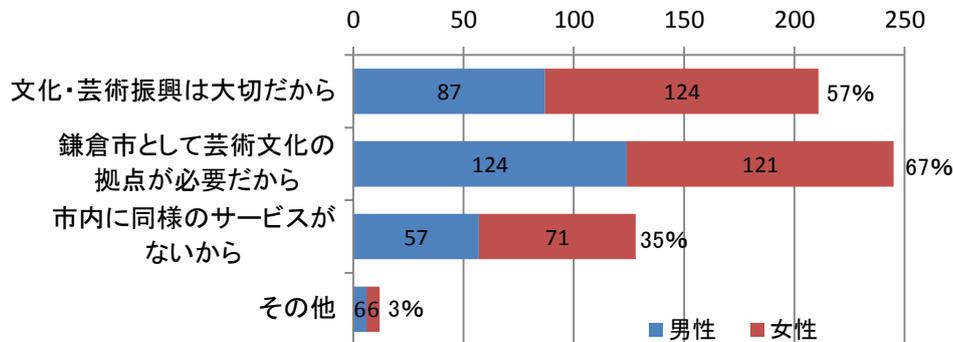
【問 15】 鎌倉芸術館は、芸術文化の鑑賞や市民団体等の文化活動の場として利用されていますが、今後優先したら良いと思うものを1つ選んでください。



【問 16】 鎌倉芸術館の今後のあり方について、望ましいと思うものを1つ選んでください。



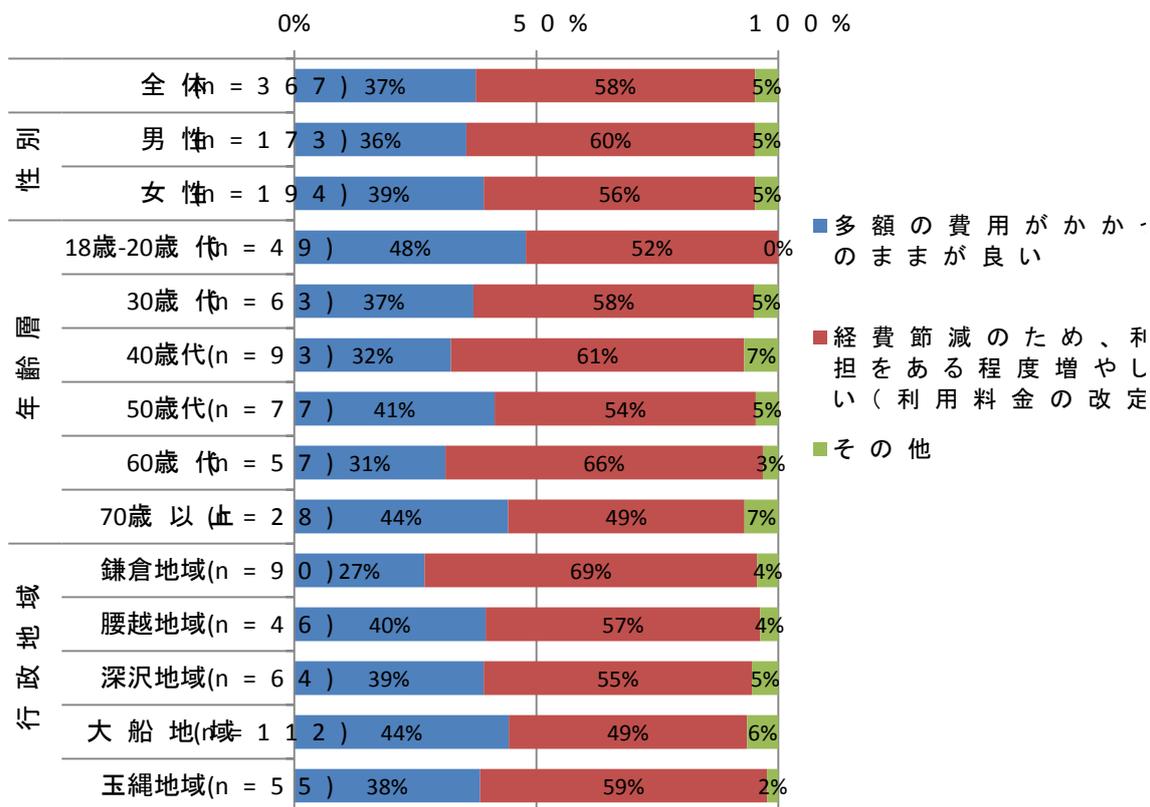
【問 17】 問 16 で、市のサービスとして継続した方が良いとお答えした方にお聞きします。その理由をお答えください。複数回答可。  
(市のサービスとして継続した方が良いと回答した 367 人)



【その他の回答】

- ・学校団体に使用しやすいから
- ・小学校の頃の発表の場として大変思い出があるから
- ・いつもサークルで活動の場として鎌倉芸術館を利用しているが、その拠点として利用しているから
- ・音響が良いので
- ・学習センターホールを越える収容人数の設備がないときびしい
- ・半官半民等の検討も必要
- ・大きな場所が市民にとって使いやすいことは大事だと思うので
- ・鎌倉が廃れてきているように思う 年寄りばかりで活気がない 京都の友人を案内することがあったが、年寄りの街と言われた 民間では限界がある 市に主導してほしい
- ・松竹の撮影所があった誇りを忘れてはならない
- ・芸術館での公演を楽しみにしている市民が多く居るから
- ・市民が気軽に利用できるような安価な施設があるとよいと思う
- ・何でも協賛しておもしろい市、アクティブな市と宣伝

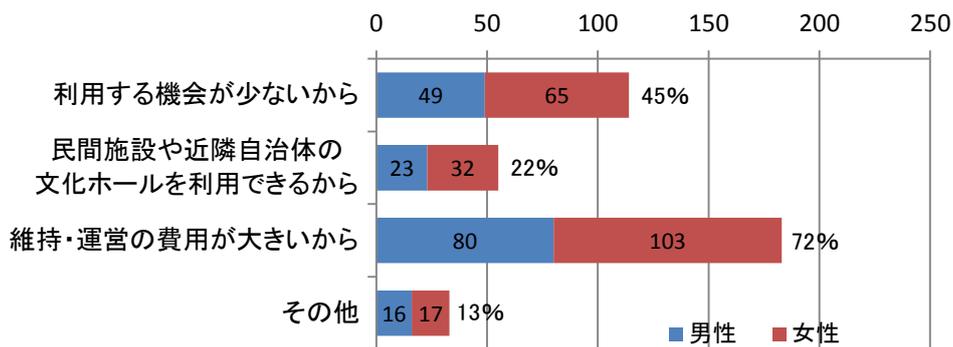
【問 18】 問 16 で、市のサービスとして提供しなくてが良いとお答えした方にお聞きします。市としてサービスを継続する際の料金形態について、望ましいと思うものを1つ選んでください。（市のサービスとして継続した方が良いと回答した 367 人）



【その他の回答】

- ・現状よりコスト削減ができる所がないかを探ることがまず第一だと思う 広告費を取れないとか 費用がかかるということを前提としてしまう考えだといひ知恵が生まれない
- ・もっと魅力のあるオケやアーティストよび収益をあげる努力をして欲しい
- ・一律増減ではなく、ケースバイケースで柔軟に対応しては
- ・現状を維持して欲しいので積極的にコンサート等を誘致してほしい
- ・一部関連の企業に委託も考えては
- ・少ない人数でも利用できるように、費用を減額してほしい
- ・1が望ましいが、2を考えてでも残す必要がある
- ・個人利用等は料金低減するなどメリハリが必要
- ・市民には安価で
- ・費用が増えるか減るかが問題ではなく、利用者を増やすことが必要
- ・利用しにくい場所にあるので、料金を高くするとさらに利用者が減る どこかの会社の商品発表の場として貸したりアイデアを出して欲しい
- ・運営にかかっている無駄なコストを削減し、料金は改定せずに今まで通り利用できるようにする
- ・収益事業を行う
- ・維持管理費用の見直しが先で、話の順序がおかしい
- ・なし
- ・ほかの方法を考える
- ・ゴミ回収費用など、市民に負担させないで欲しい
- ・民間に委託させてる
- ・利用スペースを減らして経費を削減する、社員の給与を減額にする
- ・費用と内容のバランスを取るのは市の仕事です その能力がないのならなぜ芸術館をつくったのですか
- ・もう少し詳細が分からないと回答できません
- ・大々的な世界的な興行など何か鎌倉ならではの例えば、七里ガ浜日ロシアバレエ発祥の兄弟がいたなどというようなことなどを基点とした何かしらの誘致しつつ収益を上げてその他は市民の地道な活動については無料とは行かないとしても安価な利用料金で活用できると良いと思われる
- ・機材持込可にすれば良い
- ・民間のスポンサーを募り、共催としての継続
- ・アルバイトなどで雇用費の削減はできないですか

【問 19】 問 16 で、市のサービスとして提供しなくてが良いとお答えした方にお聞きします。  
その理由をお答えください。複数回答可。  
(市のサービスとして提供しなくて良いと回答した 255 人)



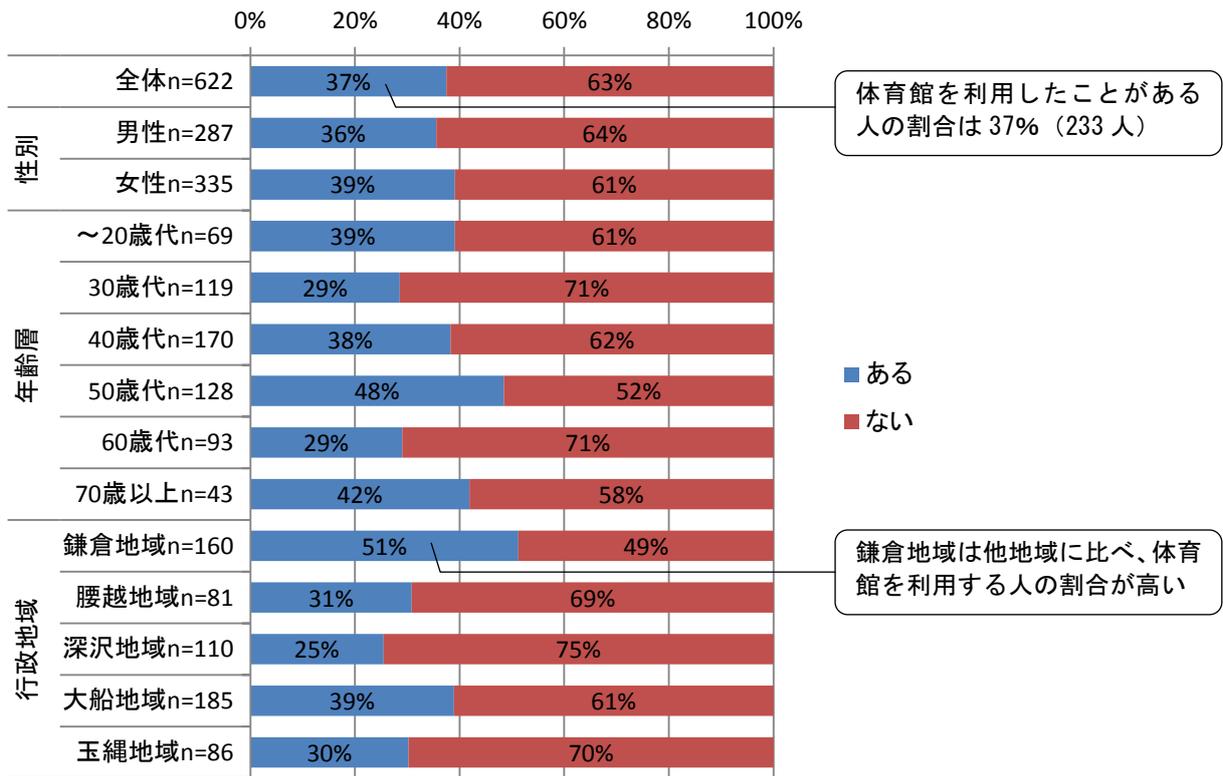
【その他の回答例】

- ・鎌倉芸術館は必要だと思うが、市としてやるべきなのかは疑問
- ・文化都市としての発信ができるなら民営でも構わない
- ・公共機関であると利用が制限される
- ・事業委託しているのになぜ市のサービスといいきれるのか理解できないから
- ・鎌倉財政がきびしいようなので
- ・運営を民間委託するなどにより、箱は維持しながら利用促進が図れる
- ・施設や事業そのものは必要だが別に市でやる必要はないと思う 希望があれば民間に売ってしまえば
- ・人権費削減
- ・催しがつまらない
- ・利用者と費用拠出者の居住地にギャップ、頻繁利用者と非利用者のギャップが大きいから
- ・鑑賞したいと思うものが来ない
- ・サントリーがスポンサーとしてついてきてくれるから
- ・地域が大船だから
- ・民間活用でも管理運営会社の取捨選択次第で質

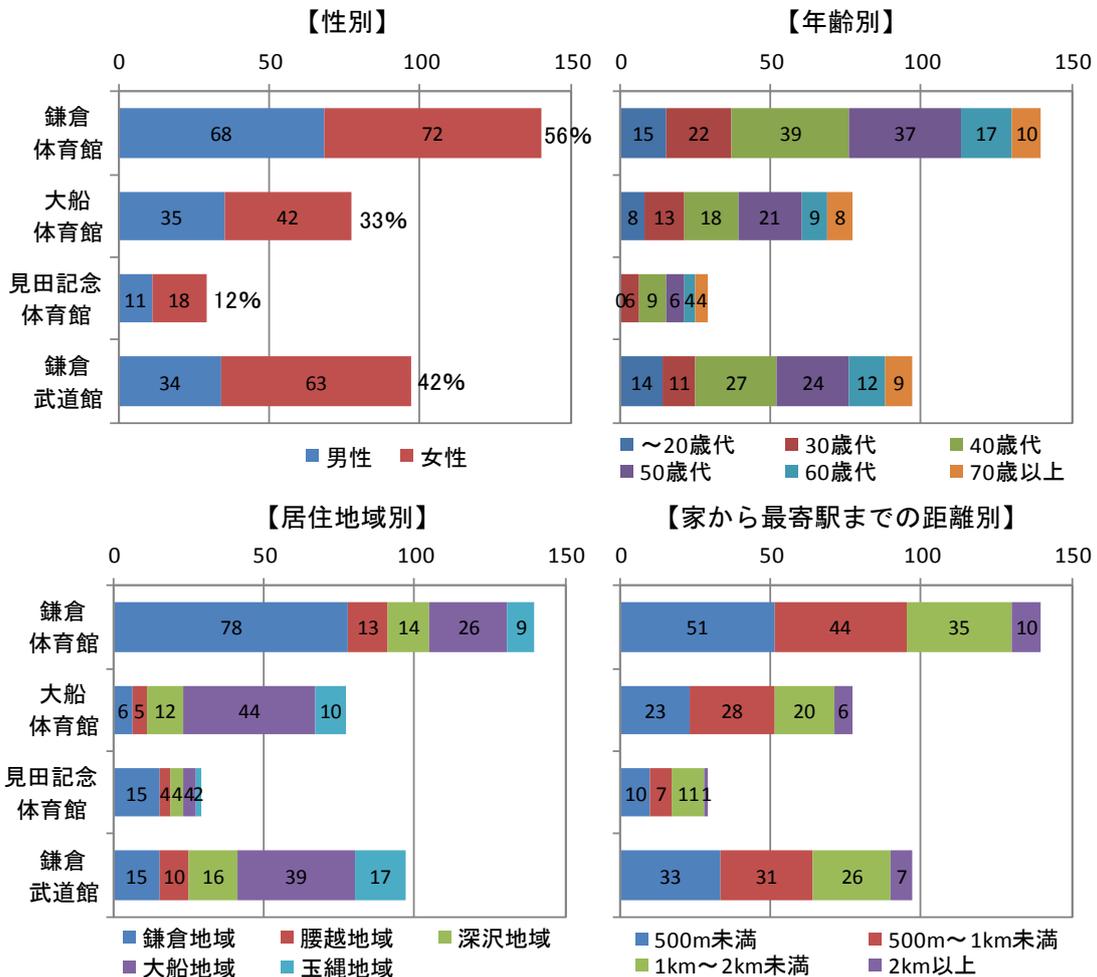
- は確保できる
- ・市のサービスで利用客が少なければ、民間に委託してもいいのでは
- ・発表会などは別の場所でやって欲しい
- ・民間の方が幅広いジャンルで使うようになりそう
- ・民間委託等（民間に委託した方が良い、民間事業とした方が効率的かつ経済的に運用されると思う、民営化すべきである 等）(10)
- ・横浜に簡単に行けるので、わざわざ鎌倉芸術館利用しなくてもいいと思う
- ・税金で維持していると
- ・主催者になる機会は殆どない
- ・市外の利用者が大半を占めるから
- ・市民の一部しか使用しない施設なので、費用を生涯学習センターや図書館の充実にまわして欲しい
- ・芸術館など無駄な施設はいらない その分、ゴミ焼却施設建設に力をいれてほしい あと世界遺産登録に金を使うことも反対

(7) 体育館について

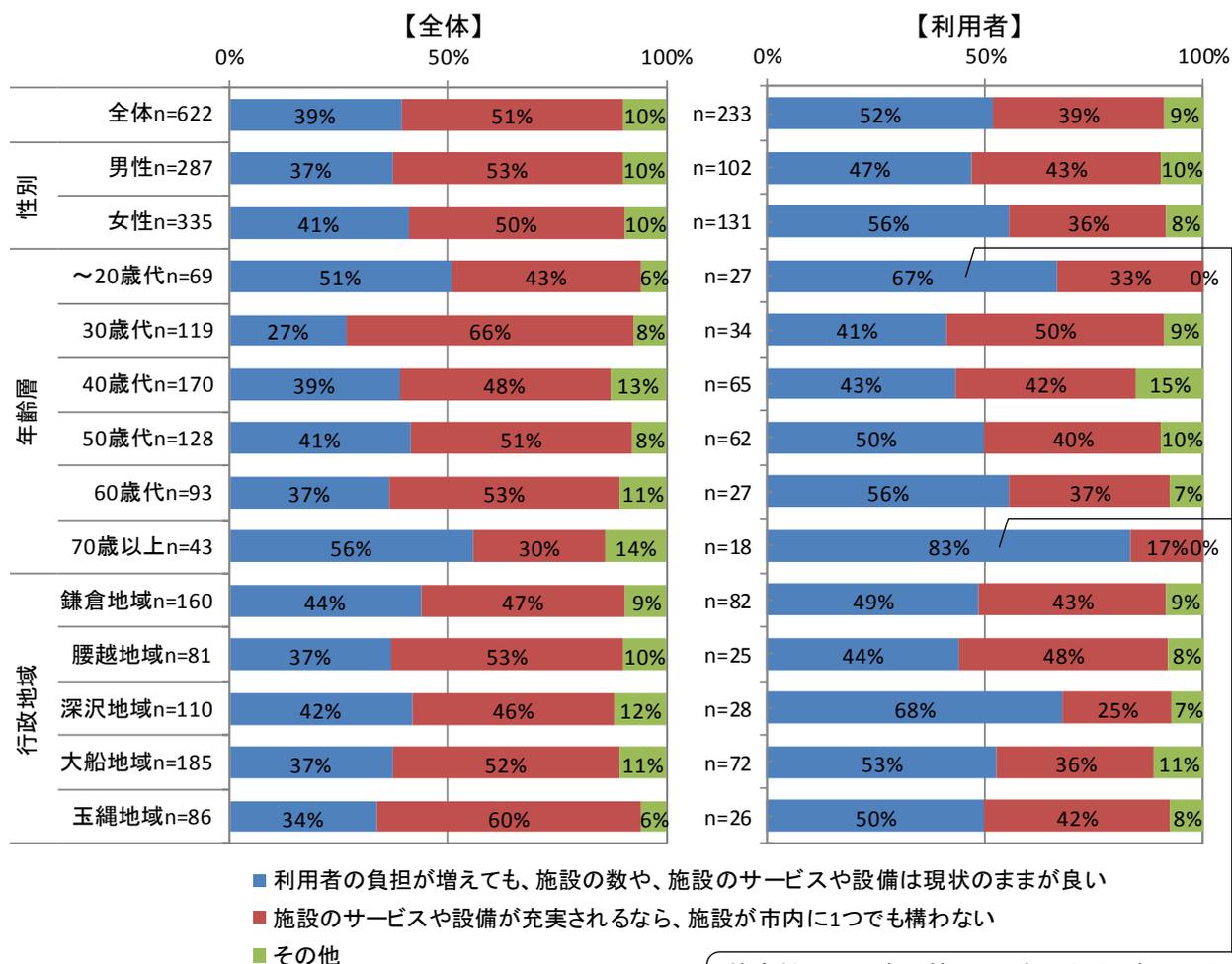
【問 20】 鎌倉体育館、大船体育館、見田記念体育館、鎌倉武道館のいずれかを利用したことがありますか。



あると回答した 233 人の利用場所 (複数回答可 : 平均回答数:1.47)



【問 21】 体育館の今後のあり方について、望ましいと思うものを1つ選んでください。



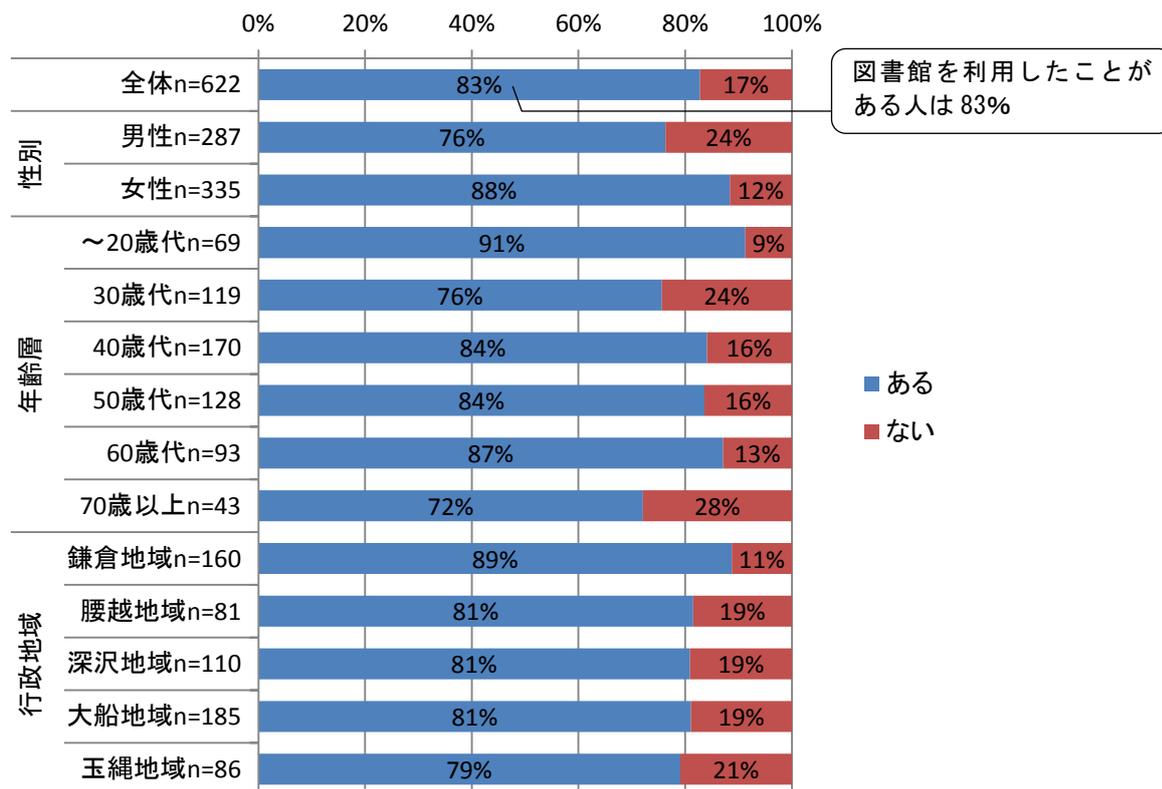
体育館の利用者、特に20歳代と70歳代以上は現状のままが良いとする割合が高い

【その他回答の一部】

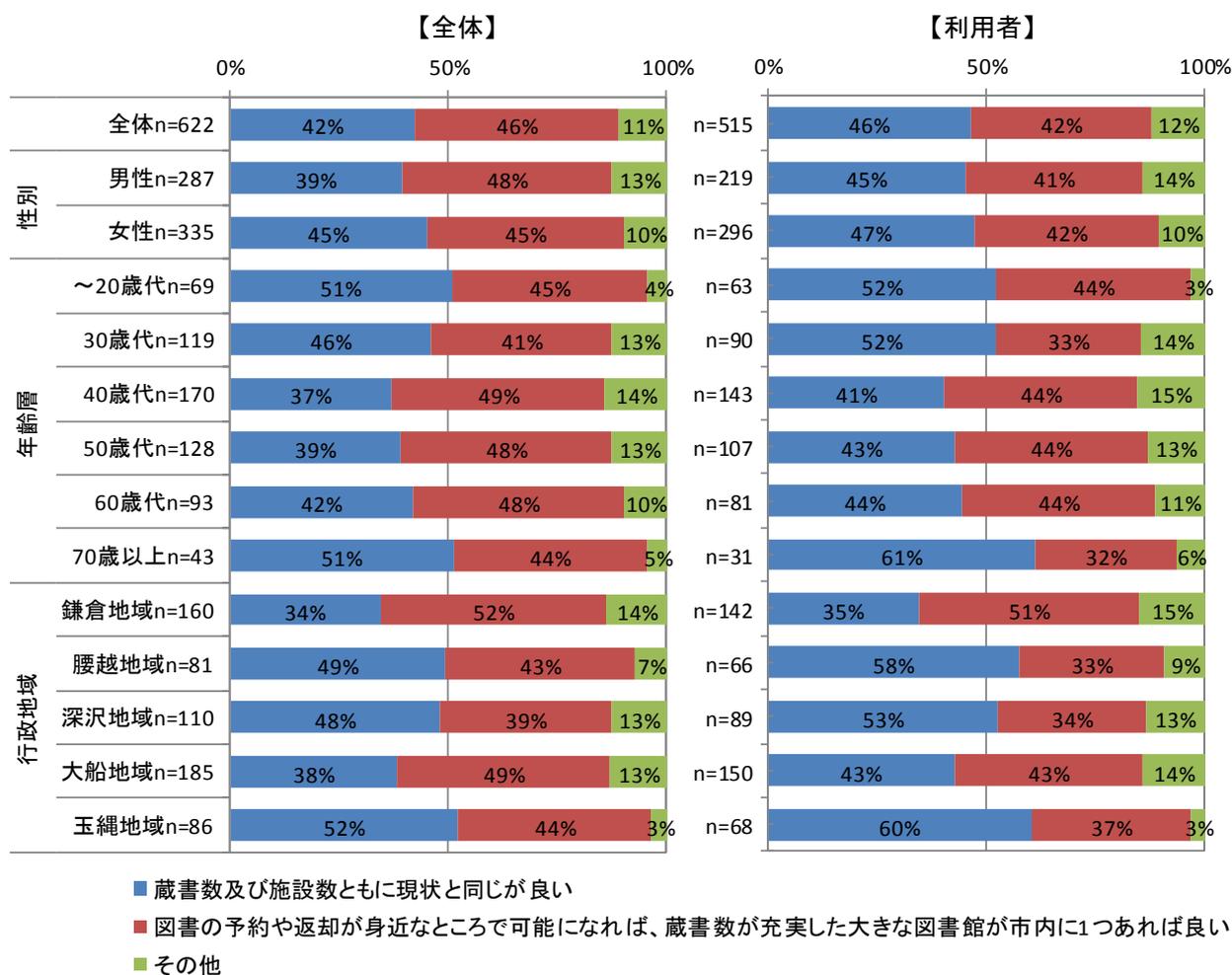
- ・送迎サービスを民間と協力して整備する
- ・スペースを減らして経費を削減する、社員の給与を減額にする
- ・隣接市の施設を低価格で利用できるようにしてほしい
- ・最低限の設備でいいので利用額を減額したほうがいい
- ・まずは施設利用手続きのハードルを下げるべき
- ・若干の利用者負担増でも、もっと多くの施設が出来て使用予約率の改善を計って欲しい
- ・藤沢市の善行の体育センター並みの施設が出来れば市内に一つでも良いのでは
- ・拠点を絞っての再編成
- ・武道館は廃止してもよいが、他の施設は、特に鎌倉体育館と見田体育館は絶対に必要
- ・市の身の丈を考えずに作ってしまい維持費がかかっている もっと身近な焼却場等に力を入れてほしい
- ・数を減らしてもいいかもしれないが、スポーツ施設として多目的（大体育館、小体育館、プールなど）であるほうがいい
- ・武道専門の鎌倉武道館を原則残して、体育館を1つに集約にしてプール付きにする
- ・必要ない(2)
- ・費用対効果で決めるべき(2)
- ・災害時の備蓄基地としての機能(2)
- ・サービスが充実すれば2施設程度で良い(6)
- ・3施設程度が良い(2)
- ・利用者の負担は増やさずに現状のまま(2)
- ・施設が1箇所は不便(2)
- ・不便なところはならない、利用できる体育館がない(4)
- ・民間委託等(4)
- ・サービスや設備が充実した施設をもっと増やすべき(5)
- ・学校体育館開放なども考えると良い 学区開放を前提に削減(6)
- ・わからない、判断できない(7)

(8) 図書館について

【問 22】 図書館を利用したことがありますか



【問 23】 図書館の今後のあり方について、望ましいと思うものを1つ選んでください。



## 【その他回答の一部】

- ・インターネットによる貸し出し・返却を可能にする
- ・本を安く購入する リサイクル、寄附の促進(2)
- ・もっとキレイに、広くしてほしい(5)
- ・学習室等を広くしてほしい(2)
- ・高齢者対策の充実が不可欠
- ・図書館は必要ない
- ・今後は蔵書の電子化を進めることにより、図書館という箱は不要になる方向で考えるべきでは
- ・1つでは少なすぎる 中央図書館と大船図書館の2つを残すべき
- ・市内に1つでは少ないと思うが、大きな図書館を作るのであれば数を減らしても良いと思う
- ・子供が利用するのであれば、学校図書館を充実すればいい TSUTAYA が提供している宅配利用でもいいのでは
- ・子供や学生が図書館で勉強することも考えると、各地区にある方がよい
- ・施設数は現行のままで良いが蔵書数を増やしてほしい(7)
- ・施設数を従来の5館に AV 資料専門図書館を
- ・小学校などを利用し、閲覧や勉強が出来るスペースがあると良い
- ・町内会館など返却場所を増やし、移動図書館的に町内会館や学校施設をまわる等、図書館が近くにない地域の対策
- ・蔵書は増やしてほしい(12)
- ・蔵書、施設数とも増やしてほしい(5)
- ・蔵書数は減らしてもいいと思う
- ・蔵書数や規模やサービスも含めて、利用に値する充実した図書館をせめて一つは欲しい
- ・大きな図書館の蔵書を増やしその他は縮小
- ・大船か玉縄のどちらかを廃止すべき(距離が近い)
- ・大船図書館は閲覧コーナーが極端に狭いので改善してほしい
- ・中央図書館だけでよいが、営業時間を夜11時までのばしてほしい
- ・中心となる図書館の蔵書を増やし、小さな支社を増やしてネットなどで本の移動ができれば良い
- ・駐車場を拡充してほしい(3)
- ・全ての公共施設を巡る巡回バスを
- ・駐車場が広ければ市内に一つでもよい
- ・電子書籍の充実やネット予約・配達等のサービスが充実すれば、市内に一つあればよい(2)
- ・近隣の市に対し、図書館がお粗末すぎる(2)
- ・文化都市の図書館としてふさわしくない 全面的な改定をすべき
- ・施設数は2以上で蔵書数を充実させたまともな図書館を望む
- ・民間(CCC など)への委託を検討した方がよい(5)
- ・民間の活用及び複合施設化(2)
- ・予約した本の受取、返却が身近であれば、市内に1つでもよい(2)
- ・利用したくなる図書館づくり
- ・他市や県の図書が利用できると良い(2)
- ・他の図書館にあるマンガの貸し出しができるようになってほしい
- ・藤沢市の方が、蔵書が充実しているので、共同運用したほうが良い



## 資料5 平成26年2月開催の公共施設再編計画市民ワークショップの開催結果について

### 1. 開催概要

公共施設再編の概念や取組を、再編シミュレーションを通して体感的に把握することにより、参加した市民との認識の共有化を図ることを目的に、市民ワークショップを開催しました。

#### (1) 日時

第1回 平成26年2月1日(土) 9時30分～12時00分

第2回 平成26年2月8日(土) 9時30分～12時00分

#### (2) 場所

市役所本庁舎2階 全員協議会室

#### (3) 参加者(第1回、第2回ともに同じ方)

1日目 36名(10代1人、20代4人、40代6人、50代5人、60代9人、70代11人)

2日目 20名(10代1人、20代2人、40代4人、50代3人、60代4人、70代6人)

※無作為で抽出した市民1,500名を対象に通知し、申込のあった47名を参加予定者とした。

### 2. 市民ワークショップの開催結果

1日目では、公共施設再編に向けた市の取組状況を報告するとともに、学識有識者から先進事例をご紹介いただき、公共サービスのあり方について意見交換を行いました。

2日目は、1日目の内容を踏まえ、対象地域を大船駅周辺に限定し、公共施設再編シミュレーションを行いました。

#### (1) 公共施設再編の取組状況の報告

「マンガでわかる公共施設再編の取組」(平成25年10月発行)を使い、鎌倉市の公共施設再編の取組状況を報告しました。

#### (2) 先進事例の紹介「発想転換の公共施設再編」

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である南学氏から、国内外の先進事例をご紹介いただき、図書館を中心に、施設と機能を切り分け、必要な機能をどの場所で提供すべきかを考えることが重要であることなどをお話いただきました。

紹介いただいた事例を次頁に整理します。



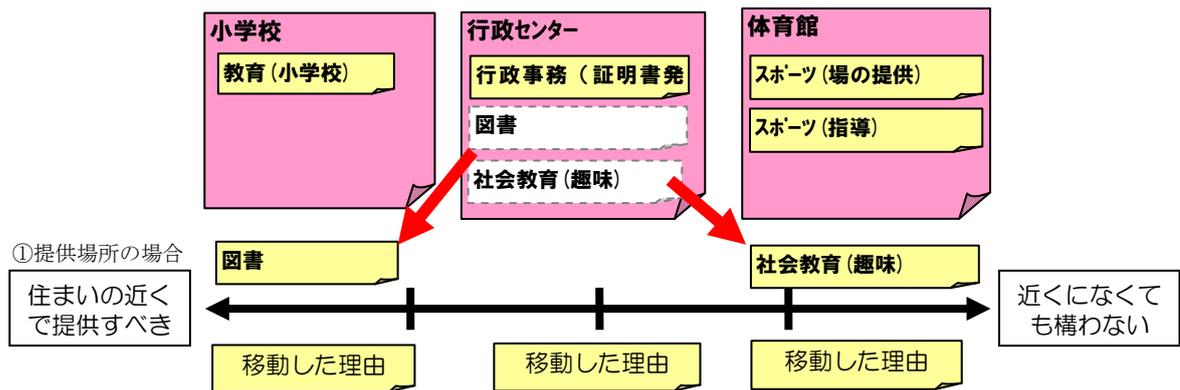
【紹介事例】

<p><b>武蔵野プレイス</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館、生涯学習センター、青年館の複合施設</li> <li>・施設はカフェを中心とした構成</li> <li>・図書館のセルフカウンターでは効率的な貸出返却が実現</li> <li>・自由に使える空間と有料のオフィス空間を設置</li> <li>・パフォーマンススタジオは利用者(青年)による自主管理</li> </ul>
<p><b>統合した小学校に町立図書館を併設した事例</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化が進む小学校を統合化</li> <li>・統合に合わせ蔵書数5万冊の町立図書館を小学校に併設</li> <li>・文部科学省による学校への補助金を有効的に活用</li> <li>・学校の正門(児童の入口)と図書館のエントランスは別</li> <li>・学校の敷地内に100台以上の駐車場を確保</li> </ul>
<p><b>学校敷地に地域体育館を設置した事例</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日17時までは、学校体育館としての利用が最優先</li> <li>・17時以降と土日休日はスポーツクラブとして利用</li> <li>・クラブハウスには集会室や浴室など充実した設備を設置</li> <li>・NPOが指定管理者として運営(中学のクラブ活動も指導)</li> <li>・2,500人の市民が会員となり、独立採算で運営</li> </ul>
<p><b>台湾・台北市の無人図書館</b></p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・無人図書館として貸出機能を充実</li> <li>・地下鉄駅構内の約60坪の図書館は6時~24時まで開館</li> <li>・公園内の約200坪の図書館も無人で運営</li> <li>・ガラス張り、カード入場、監視カメラ設置等で防犯対策</li> <li>・1人の職員が、週に2、3回の巡回で返却本を再配架</li> </ul>

(3) サービスと施設について考える

6つの班(各6名)に分かれて意見交換を行い、鎌倉市の公共施設について、施設(建物)とサービス(機能)を切り離し、①場所、②費用負担、③市民ニーズとのズレの3つの視点で評価しました。

- ①公共サービスの提供場所
  - ②公共サービスの費用負担
  - ③公共サービスの市民ニーズとのズレ
- 公共施設の内容を、施設カードとサービスカードで表し、評価軸上のどこに、サービスが位置付けられるかを、各班で検討し、配置の理由を付箋に書いて貼ってもらう。



(4) 再編シミュレーション

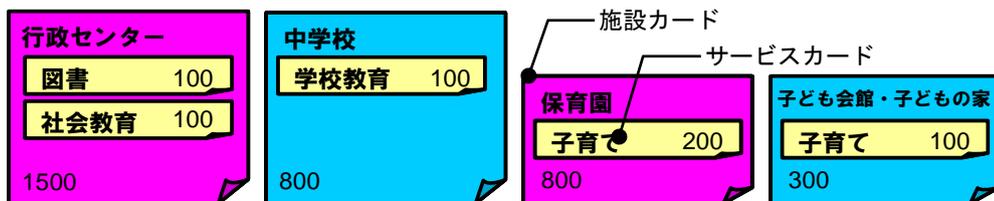
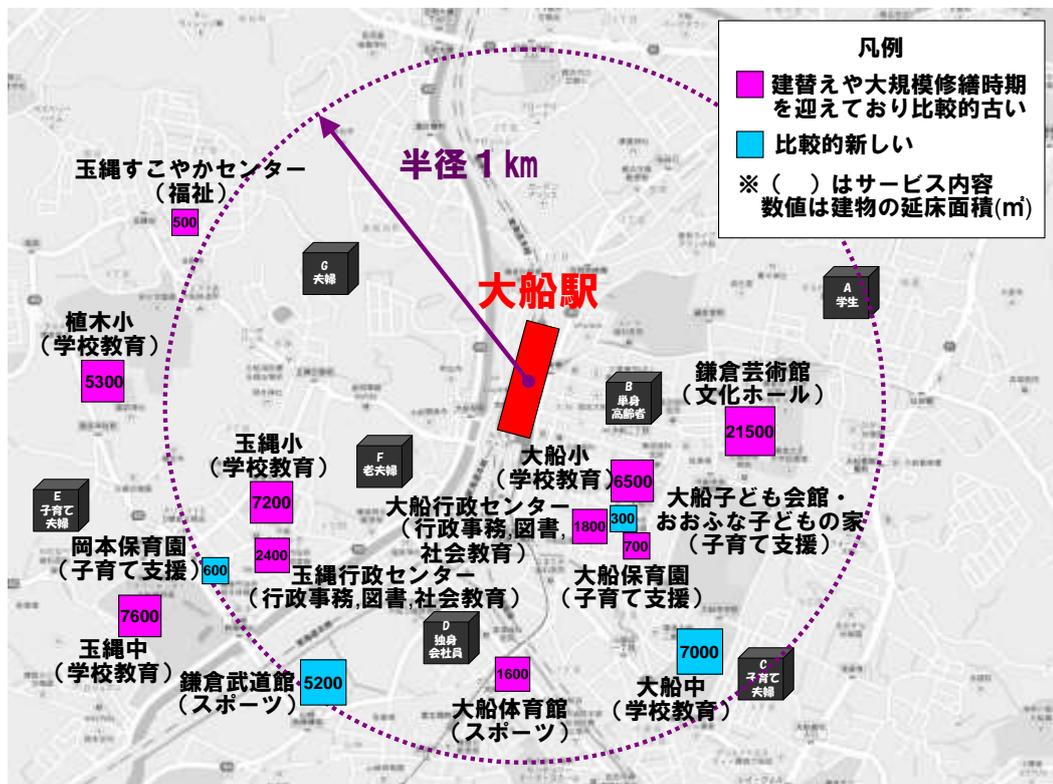
①検討の前提条件

1日目と同じ班ごとに、10～20年後の大船駅周辺の地域住民になったつもりで、適正な公共サービスを維持しつつ、老朽化した公共施設を再編していくシミュレーションを実施しました。

ルールは、公共施設を施設カードとサービスカードに置き換えて、カードを移動しながら再編を検討し、トータルコストをポイントに見立てて削減する内容で行いました。

【再編シミュレーションの検討ルール】

役割	割り当てられた立場（学生、独身会社員、子育て夫婦、夫婦、老夫婦、単身高齢者）で意見交換
対象地域	大船駅から半径1kmの範囲の代表的な市民利用施設を対象
設定時期	10から20年後（少子化で各校3教室分の空きが発生する想定）
検討条件	各施設のトータルコストをポイントに置き換え、全体20000ポイントを10000ポイントに削減する



※施設カードは建物の大きさと建物の古さで4種類を設定

対象地域とカードのイメージ

### 3. 意見交換の概要

#### (1) サービスと施設について考える

①場所、②費用負担、③市民ニーズとのズレの3つの評価軸について、議論された内容のうち、6つの班で共通する複数の班から出た意見や特徴的な意見を以下に整理します。

#### 【意見交換の概要】

<b>①場所</b>		<b>できるだけ「住まい」の近くで提供すべき施設やサービスはどれですか？ 逆に、必ずしも近くになくても構わない施設やサービスはどれですか？</b>
<b>複数の班から出た意見</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもが利用するサービスは住まいの近く（通いやすい場所）で提供すべき</li> <li>• 文化ホールや博物館などは、日常的な利用頻度が比較的低いため、住まいの近くでなくとも構わない</li> </ul>
<b>特徴的な意見</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 行政センターは、駅の近くなど便利な場所が望ましい</li> <li>• 保育園は、保護者の通勤もあるため、なるべく利便性が高い場所が良い</li> <li>• 高齢者福祉サービスは、送迎バスなどの環境整備も重要</li> <li>• 図書サービスや放課後の子どもの居場所を提供するサービスは小学校の近くが望ましい</li> </ul>
<b>②費用負担</b>		<b>できるだけ利用者に負担を求めず、市の税金を使って提供すべき施設やサービスはどれですか？ 逆に、できるだけ利用者に負担を求めるべき施設やサービスはどれですか？</b>
<b>複数の班から出た意見</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 必要不可欠な行政事務、学校教育、障害者福祉サービスは税金を使って提供すべき</li> <li>• 社会教育、スポーツ、文化など、趣味で利用する、サービスを受けたい人が利用する、民間でも提供できるサービスは、利用者に負担を求めるべき</li> </ul>
<b>特徴的な意見</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 施設の管理は行政が負担し、サービスは民間で提供する方法もある</li> <li>• 学校教育や高齢者及び障害者への福祉サービスは、利用者の負担が高くなってはいけない</li> <li>• 学生割引などのサービスがあっても良い</li> <li>• 図書サービスは、内容によって利用者が負担すべきサービスもある</li> </ul>
<b>③市民ニーズとのズレ</b>		<b>現在、市が提供している行政サービスの内容と、市民のニーズとズレている施設やサービスはどれですか？</b>
<b>特徴的な意見</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校では地域性を利用したサービス提供ができるとよい(空き教室で行政窓口など)</li> <li>• 子育てサービスは複数あるが、縦割りの弊害で施設が分かれている</li> <li>• 子どもの遊び場が不足している</li> <li>• スポーツ、診療サービスは民間施設でも利用できる(民間のサービスを利用したい)</li> <li>• 高齢者福祉サービスは、中途半端な機能であると感じるため見直しが必要</li> <li>• 保育園は、待機児童がいるためサービスの拡充や改善が必要</li> <li>• 勤労福祉会館の役割がわからない</li> <li>• トイレ等の設備が古く汚い</li> </ul>

## (2) 再編シミュレーション

各班の再編提案の概要を以下に整理します。

第2回の意見交換風景



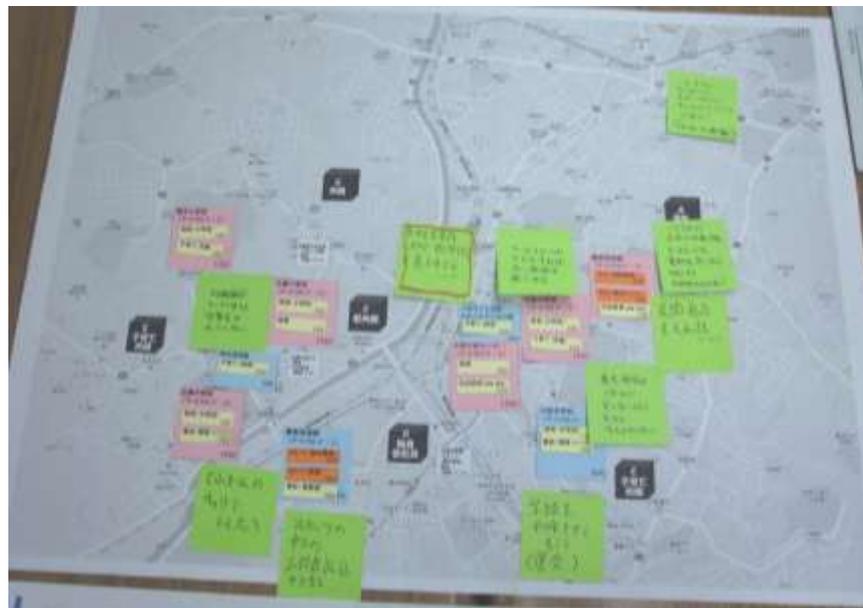
ゲームの対象地域（大船駅周辺）と公共施設の配置



【各班の再編提案の概要】

班	コンセプト	再編の考え方	主な再編提案
1	学校を活用しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校は適度に分散しており活用しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政センターの統合</li> <li>体育館と武道館の統合</li> <li>スポーツや文化サービスは、個人の趣味なので利用料を値上げ</li> <li>サービスを集約化する代わりにコミュニティバスの運行</li> </ul>
2	私も混ぜて	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもからお年寄りまで使える施設・交流する施設</li> <li>自分にとって気持ちの良いまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育館は民間施設を利用</li> <li>玉縄行政センターは大船や駅ビル内を利用</li> <li>学校で学童保育を実施</li> <li>文化ホールは市で提供する必要は無い</li> <li>市民活動で日々利用するサービスの料金の値上げは必要ない</li> <li>公だけでなく民の活用</li> </ul>
3	世代間交流と利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスを減らさず、老朽化した施設を減らす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政センターの統合</li> <li>体育館と武道館を統合</li> <li>学校の複合化</li> <li>子育てサービスは駅近くに配置</li> <li>スポーツや福祉の利用者負担を増やす</li> </ul>
4	生活密着 バランスタウン 大船	<ul style="list-style-type: none"> <li>玉縄地域と大船地域のバランスを考慮</li> <li>子育て関係をまとめる</li> <li>関連サービスをまとめ、相乗効果を図る</li> <li>駅よりも住まいの近くにサービス配置</li> <li>趣味の活動は遠くてもOK</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に図書と子育てサービス（保育）を複合化（ただしセキュリティが重要）</li> <li>社会教育（教養・趣味の講座）は遠くても利用しに行く</li> <li>体育館と武道館を統合</li> </ul>
5	ふれあいの街 大船	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもからお年寄りまでふれ合いのチャンスを増やす（見守りができる）</li> <li>収益を考慮した料金設定</li> <li>コンパクト化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に子育てと福祉サービスを複合化</li> <li>スポーツ、文化、社会教育サービスは、料金を見直す（学割、10回以上の利用で安くする等）</li> <li>ふれあいセンターの設置</li> </ul>
6	鎌倉に自信を取り戻す！	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政センターを核に機能拡充（機能統合）</li> <li>子どもとお年寄りにやさしい、高齢者に配慮したサービス</li> <li>図書館（蔵書）を駅近くに集中</li> <li>無駄を減らす（跡地等の有効活用）</li> <li>ネーミングライツで財源確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者向けサービス拠点の設置</li> <li>学校体育館の一般利用</li> <li>行政センターで子育て支援（放課後児童の居場所）</li> <li>小学校に保育園</li> </ul>

1 班の再編提案



2 班の再編提案



1 班 コンセプト『 学校を活用しよう』

再編の考え方  
 ① 行事・活動の場を確保  
 ② 学習の場を確保

	削減				売却	料金収入 (利用者負担)		サービス 向上
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード 理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>
ポイント	600							
合計	30000	150		3000	700			-100

2 班 コンセプト『 おもちゃで』

再編の考え方  
 ① 行事・活動の場を確保  
 ② 学習の場を確保

	削減				売却	料金収入 (利用者負担)		サービス 向上
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード 理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 行事・活動の場を確保</li> <li>② 学習の場を確保</li> </ul>
ポイント	6,800							
合計	12,000		800	4,500				-100

3 班の再編提案



4 班の再編提案



3 班 コンセプト「世代間交流と利便性」

再編の考え方  
サービスエリアを、エリア別に再編し、サービスエリアを拡大する。

	削減				売却	料金収入 (利用者負担)		サービス 向上
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード 理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>
ポイント	6,100		100		3,500	700		-100
合計	70,300							

4 班 コンセプト「生活実着パワースタウン・大船」

再編の考え方  
サービスエリアを、エリア別に再編し、サービスエリアを拡大する。

	削減				売却	料金収入 (利用者負担)		サービス 向上
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード 理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> <li>サービスエリアを拡大する</li> </ul>
ポイント	5,100		300		3,500	800		-100
合計	70,300							10,600



### (3) 成果発表と総評

各班に提案内容を発表していただいた後、参加者による投票形式で最優秀案を選出しました。

また、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である増井玲子氏から次のような総評をいただきました。

- ・公共施設の再編により施設が減ったとしても、サービスのあり方や利用方法を見直すことによって、機能性の向上や新たな効果が期待できる。それらが議論されていた。
- ・ゲームでは資産売却、利用者負担を考えたが、参加者からネーミングライツ、IT化などの手法提案もあったように、様々な工夫が考えられる。たくさんの提案があり有意義であった。
- ・今回は、大船駅周辺という限られた範囲でのシミュレーションだったが、各班でコンセプトや再編の考え方が異なったように、1つの答えを導き出すことは難しい。
- ・公共施設再編の取組は鎌倉市全体や隣接する自治体との連携も考えていくことが重要である。

図 発表の様子



図 増井委員による総評



### (4) 参加者からの意見と感想

最後に、参加者から、以下のような意見や感想をいただきました。

- ・公共施設再編においては、鎌倉市のまちづくりの理念も重要である。
- ・ワークショップを通じて、今後、鎌倉市の公共施設がどのように変わっていくのか興味が湧いた。
- ・子どもの視点で見ると、自分達が提案したものとは違った方向になるかもしれない。
- ・民間活用や売却等の収益性を高める考えも必要。
- ・公共施設の理解を深めてから改めて考えたい。

#### 4. 参加者アンケートの集計結果

(平成26年2月8日出席の20名の方の回答)

##### ①市民ワークショップへの参加の動機

1 市の広報やホームページなどを見て、以前から公共施設の再編に興味があったから	1人 (5%)
2 市民ワークショップの案内チラシを見て興味を持ったから	11人 (55%)
3 その他*	7人 (35%)

※その他回答：案内がきたから、鎌倉市の行政そのものに関心があったから 等  
無回答 1人

##### ②市民ワークショップの内容

第1回 (2/1)	「公共施設再編の取組状況の報告」は理解できましたか				<b>【主なコメント】</b> ・財政不足の為には必要である。 ・計画性不足だった。 ・数字、グラフなどで表現されていて理解しやすかった。 ・鎌倉市の現状が少し理解できた。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
13人 (65%)	7人 (35%)	0人	0人		
第1回 (2/1)	「発想転換の公共施設再編」(南学氏)は理解できましたか				<b>【主なコメント】</b> ・図書館をただ本を貸し借りをする施設ではなく、人とのふれあいであったり、食事の出来る施設に変えるのは面白いと思った。 ・写真があって分かりやすかった。鎌倉にも図書館と集会室、カフェの複合施設がほしいと思った。 ・他の地域の取組など聞いて大変参考になった。 ・考え方が変わった。目からうろこだった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
15人 (75%)	5人 (25%)	0人	0人		
第1回 (2/1)	ワークショップ(公共サービスの評価)の内容は理解できましたか				<b>【主なコメント】</b> ・それぞれの立場によって評価も様々だと感じた。 ・時間がなくてじっくり検討ができなかった。 ・何がムダなのかを考える機会になった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
13人 (65%)	6人 (30%)	1人 (5%)	0人		
第2回 (2/8)	ワークショップ(公共施設再編シミュレーション)の内容は理解できましたか				<b>【主なコメント】</b> ・すんなりゲームに入れた。 ・人口分布や利用率等のデータがなかったので、イメージだけで検討してしまった。 ・どの地域に何が必要なのかを考える機会になった。 ・学校教育にも使えるかも。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
15人 (75%)	4人 (20%)	1人 (5%)	0人		
全体	ワークショップに参加して良かったですか				<b>【理由】</b> ・他の班の発表をきくことで、自分では考えもつかなかった意見などがあり参考になった。 ・いろいろな方の意見が聞いて勉強になった。 ・皆さんと意見を交えながら、市の将来について考えられる事が素晴らしい。 ・これからの公共施設の運営を見守る意識ができた。 ・知らなかった事がわかった。
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1		
17人 (85%)	2人 (10%)	1人 (5%)	0人		

全 体	ワークショップに参加して公共施設に対する認識は変わりましたか			【変わった点】
はい 4	← 3	→ 2	いいえ 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当たり前にならずとあるものと思っていたが、そうではないのだと認識した。</li> <li>・コスト的な無駄を省くという点では変わらないが、「サービスは増やすことすらあるので、減らせない」と思った。</li> <li>・自分にも降りかかってくる問題なので、まじめに考えなくてはと思った。</li> <li>・現状を見つめ直すいい機会になった。</li> <li>・利用しやすくするには、子供と大人が関わりやすくする。</li> <li>・鎌倉市にある公共施設を知らなかったのがわかった。</li> </ul>
12人 (60%)	5人 (25%)	2人 (10%)	1人 (5%)	

### ③再編シミュレーションでわかりづらかった点、やりにくかった点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅近の設備の整理は難しい。</li> <li>・ 今日3人だったので意見がまとまり易かったが、6～7人いたら時間が足りないと思う。</li> <li>・ 各施設の利用状況についてももう少し理解を深めてから参加したかった。</li> <li>・ 市としてどこまで減らして行くのか見通しを知りたかった。</li> <li>・ 再編シミュレーションは各班の議論に基づいて考えたものなので、優劣をつけるものではないと思う。2日間にわたって考えたものに点数をつけられるのは悲しい。参加して考えたということを評価してほしい。</li> <li>・ 市のサービス目標の説明があると良い。ワークショップの結果をどう利用するのか。</li> <li>・ 行政サービス（住民票など）に関するカードがあると良かった。新しい施設の提案ができると思えば幅が広がると思った。</li> <li>・ 少しコンサルの考え方に沿ったシミュレーションに偏っていた感じがした。議論はいろいろな意見が出ておもしろかった。</li> <li>・ 時間が足りない。もう少し問題点を具体的に示してもらえれば良い。</li> <li>・ 「近くになくてよい」が、家に対してなのか、駅に対してなのか、それ以外なのか、わかりにくかった。</li> <li>・ ゲームはやや複雑。検討の時間が短かった。</li> </ul>
--

### ④その他公共施設再編の取組について

<p><b>【公共施設再編に関すること】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民営ショップとの協力を考えよう。</li> <li>・ もっと民間活力を使ったほうが良いと思う。</li> <li>・ 鎌倉で行う事、県で行う事、国で行う事を明確にする事で再編が考えやすくなるのでは。</li> <li>・ 「市の施設、サービス」を、民間の施設や団体・人にある程度移す（例：大船駅前の仲通りを高層化せず、現状を快適に変えて、その中に市のしていたサービス等を移す）。</li> <li>・ 売却した土地などに、低額（割安）で泊まれる宿泊施設や皆が集える、例えば温泉など（利用料を取る）を作り、市民が生き生きと楽しく過ごせるという事を大事にすることが重要と考える。</li> <li>・ サービスとは際限のないものとの前提に、優先順位を決めて施設造りをやってほしい。</li> <li>・ チマチマした考え方だけでなく、大英断も必要と考える。</li> <li>・ ムダをはぶき、収益を考えなくてはいけない時に来ていると思う。 unnecessaryな箱物が多いように思う。</li> <li>・ 支所機能を核とすれば様々な施設を集約できると思う。</li> <li>・ 人との意見交流の中から色々の取組が出てくると思う。</li> <li>・ 特定の人しか使っていない施設は見直した方がよい。 →空地になったら売却。又は主要施設やホールに“ネーミングライツ”を導入したらよい。 (市の財政からみると新たな収入がないと再編自体がムリだと思うので) →その際、公募する企業は、公共的なもの（例えば、江ノ電、京急、湘南モノレールなど）がよい。</li> </ul>
--

#### 【ワークショップに関すること】

- ・ これからも続けてほしい。
- ・ 利用状況・収支バランス等のデータが少ないので判断できないサービスが多い。もっとデータを。
- ・ 再編を検討した地域で、レイ・ウェルが除外されていた。入っているともう少し良案となったと思う。
- ・ もう少し広い範囲での討議がしたかった。
- ・ 参加者には事前に配布資料を送付すべき（作業の進み具合がはかどる）。
- ・ TQC の知識が必要であり、この時間の割り振りではまとめるには少々無理でないか。
- ・ 大雪の為、出席者が少ない。事前に連絡すべき。
- ・ 実際にどのように再編計画が市から出てくるのか、楽しみになった。今回の参加者向けの報告会のようなものがあつたらよいと思った。



## 資料6 平成26年6月開催の公共施設再編計画市民ワークショップの開催結果について

### 1. 開催概要

平成26年2月開催の市民ワークショップに引き続き、公共施設の再編を進めるにあたり、市民目線での問題点、サービス向上に向けて望むこと、利害調整のポイントを把握すること等を目的に、市民ワークショップを開催しました。

#### (1) 日時

平成26年6月21日(土) 13:30～17:00

平成26年6月28日(土) 13:30～17:00

#### (2) 場所

市役所第3分庁舎 1階 講堂

#### (3) 参加者(2日間同一参加者)

1日目 33人 男21人・女12人、無作為13人・公募20人  
30代2人、40代8人、50代4人、60代8人、70代11人

2日目 29人 男18人・女11人、無作為10人・公募19人

※ 無作為：無作為で抽出した市民1,000人を対象に通知をし、参加者を募集

公募：ホームページや広報誌で周知し募集

### 2. 市民ワークショップの開催結果

前回(平成26年2月開催)の市民ワークショップでは、対象地域を大船駅周辺に限定し、公共施設再編シミュレーションを行いました。今回は、市域を大きく3つのエリアに分け、エリアごとの特徴などを踏まえた公共施設再編シミュレーションを行いました。

#### (1) 公共施設再編の取組の報告

鎌倉市の公共施設更新問題の現状と、公共施設再編の取組経緯、「公共施設再編計画基本方針」の概要を報告しました。

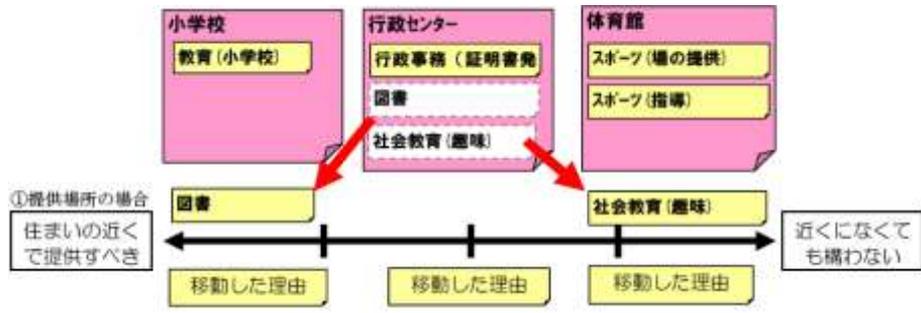
#### (2) 先進事例の紹介「発想転換の公共施設再編」

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である南学氏から、先進事例の紹介をしていただきました。



(3) サービスと施設について考える

3つの地域（鎌倉、腰越・深沢、大船・玉縄）に分かれて6つの班（各班約6名）で意見交換を行い、鎌倉市の公共施設について、施設（建物）とサービス（機能）を切り離し、①場所、②費用負担の2つの視点で評価しました。



評価の方法



検討の様子



理由（付箋紙）

検討結果の例（6班）

#### (4) 再編シミュレーション

##### ① 検討の前提条件

市域を鎌倉エリア、腰越・深沢エリア、大船・玉縄エリアの3エリアに分け、各エリア2グループ(計6グループ)で2日間にわたり検討を行いました。

検討のルールは、公共施設を施設カードとサービスカードに置き換えて、カードを移動しながら再編を検討し、トータルコストをポイントに見立てて削減する内容で行いました。

再編シミュレーションで適用できる手法は次の4つとし、検討の最後に、独自または拡充したいサービスを1つ追加ができる時間を設けました。

##### 【再編シミュレーションの検討ルール】

役割	割り当てられた立場(学生、独身会社員、子育て夫婦、夫婦、老夫婦、単身高齢者)で意見交換
設定時期	約20年後(少子化で各校3教室分の空きが発生する想定)
検討条件	各施設のトータルコストをポイントに置き換え、施設とサービスのトータルコストを削減する
検討する再編手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの廃止</li> <li>・サービスを移動し、サービス提供を行わない施設の廃止</li> <li>・廃止した施設の土地の売却</li> <li>・サービスの民営化・料金改定</li> </ul>

##### 【ポイントの設定】

	鎌倉エリア	腰越・深沢エリア	大船・玉縄エリア	合計
施設に係るポイント	3,170	3,620	3,180	9,970
サービスに係るポイント	2,210	1,640	2,160	6,010
合計	5,380	5,260	5,340	15,980

※目標は、施設に係るポイント9,970の50%削減

##### 【検討エリア】



②各班の再編提案の概要（個人の意見も含みます）

	班	コンセプト	再編の考え方	主な再編提案	削減ポイント
鎌倉地域	1	減らせばよいつてもんじゃない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄り、子供たちが交流できるまち</li> <li>・自然を大事にしたまち</li> <li>・若い人たちが来たくなるまち</li> <li>・文化を伝えられるまち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て、教育、高齢者施設は集約</li> <li>・スポーツ、文化施設は民間委託</li> </ul>	610／3170
	2	資産はスリムに付加価値サービスは民間活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺用地を民間利用で有効活用（表駅には拠点整備、旧警察用地も活用）</li> <li>・寄付された文化施設は、収益施設化</li> <li>・学校の多機能化</li> <li>・県、国、民間の空き施設を活用する（特に市役所）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所は県施設や民間ビルへ機能を分散</li> <li>・保育、高齢者施設は集約</li> <li>・図書館は各学校へ分散し、民間委託</li> <li>・スポーツ、文化施設は民間委託</li> <li>・消防施設は学校へ集約</li> <li>・窓口サービスや地域活動支援は民間委託</li> </ul>	2800／3170
腰越・深沢地域	3	学校へ行こう全てのサービスがあります	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校へ教育保育サービスを集約</li> <li>・学校のプールはもったいない（使用頻度が低い）</li> <li>・趣味サービスは民間委託でサービスアップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政センターの統合、サービスは駅やコンビニへ移動</li> <li>・小学校、学童保育、保育、子どもの遊び場は同じ施設に集約</li> <li>・学校プール（授業も）は廃止、民間施設を利用</li> </ul>	2100／3620
	4	CO-WORK するフレンドシティ鎌倉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なところに多目的施設を分散</li> <li>・安心、安全なまちづくり</li> <li>・行政と民間の協同作業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園と高齢者施設は、機能を統合</li> <li>・子ども会館は空き家を利用して、機能を地域に点在</li> <li>・市営住宅は民間委託して、家賃を支援</li> </ul>	1390／3620
大船・玉縄地域	5	サービスの集約化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設サービスは集約化</li> <li>・代わりに空き家、バス、ITクラウドでネットワーク化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政センターの統合、サービスは人の多い施設へ機械を設置</li> <li>・子ども会館は学校開放して、廃止</li> <li>・武道館と体育館の統合、消防も統合</li> <li>・交流施設は空き家を利用して、民間委託</li> <li>・市営住宅は民間委託して、空き家を活用</li> <li>・学校プールは廃止、民間施設を利用</li> </ul>	2280／3180
	6	ミニバスによる活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能の集約</li> <li>・施設の分散</li> <li>・民営化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政センターの統合</li> <li>・学習の機会や場所の提供、スポーツは民間委託</li> <li>・市営住宅は売却または民間施設を活用</li> </ul>	910／3180

1班（鎌倉地域）の再編提案



2班（鎌倉地域）の再編提案



**1班 コンセプト** 『 坂をせぼり、2本のびのび』

再編の考え方

- ・ 坂をせり、子供と水が交流できるまち
- ・ 自然と大暮りしたまち
- ・ 若い人も水遊びできるまち

〇 文化施設活用がまち

	削減				売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (費増らしき)
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード								
理由								
1日目								
2日目		1,170		1,210	220			
合計					1,100	1,5,380		

**2班 コンセプト** 『 資産は又リムに。 住居付加価値サービスは区内活用。』

再編の考え方

- ・ 駅周辺の用地を 区内利用で有効活用 (表駅には拠点整備、加賀野用地活用)
- ・ 場外とまち文化施設活用 活性化、学祭の事前化
- ・ 区員内の空き施設を活用する (料+体制)
- ・ 国電線ネットワーク化 分散

	削減				売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (費増らしき)
	施設		サービス			カード	理由	
	カード	理由	カード	理由				
カード								
理由								
1日目								
2日目		1,600	1,170	1,210	930	410	-200	
合計					2,800	1,5,380		



5班（大船・玉縄地域）の再編提案



6班（大船・玉縄地域）の再編提案



5班 コンセプト『サービスの集約化』

再編の考え方  
 施設サービスは集約化、代わりに空車・バス、ITが中心でネットワーク化

	削減		売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (顧客サービス)
	カード	理由		カード	理由	
カード	カード	理由	売却	理由	利用料金改定	サービス向上
理由	理由	理由	理由	理由	理由	理由
ポイント	1日					
ポイント	2日	740 / 2,180	640 / 2,180		180	-200
合計			1,080		2,280 / 1,940 (増減)	

6班 コンセプト『機能の集約 施設分散 民間委託』

再編の考え方  
 ミニバスによる活荷化

	削減		売却	利用料金改定・民間委託		サービス向上 (顧客サービス)
	カード	理由		カード	理由	
カード	カード	理由	売却	理由	利用料金改定	サービス向上
理由	理由	理由	理由	理由	理由	理由
ポイント	1日	440				
ポイント	2日	640 / 2,180	70	70 / 2,180	480	-300
合計			910		1,940 / 1,940 (増減)	



検討の様子



発表の様子

### ③ 削減ポイント

1班、3班、5班の組合せと、2班、4班、6班の組合せによる3地域合計（市域全体）の削減ポイントは、両案ともに削減目標の50%を達成しました。

	1班・3班・5班	2班・4班・6班	削減目標
削減ポイント	4,990	5,100	—
削減率	50%	51%	50%

### （5）講評

鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員である増井玲子氏から次のような講評をいただきました。

- ・ 公共サービスを低下させないことをきちんと考えられていた。その上で削減目標である50%を達成した提案となったことが素晴らしい。
- ・ 提案内容には懸念されることについて対応策まで検討されていた点が、とても良かった。
- ・ 地域のことを一番ご存知なのは、やはり住民の方々であることを改めて実感した。

### （6）参加者の感想

最後に、参加者から、以下のようなご意見やご感想をいただきました。

- ・ 鎌倉市がどんな町にしたいのかコンセプトを示すことが必要である。
- ・ 削減目標を達成する提案を考えたが、守るべき施設についての議論も必要である。
- ・ シミュレーションにより参加者のコミュニケーションが図られた。
- ・ 20年後の鎌倉が見えなかったので、10年後くらいの設定がよい。
- ・ 開催日程が厳しく、施設の情報も不足していた。
- ・ 子育て世代の意見が重要であり、参加しやすい環境づくりが必要である。



## 【サービスの提供場所】

凡例

住まいの近くで提供すべき ←  → 家からの距離ではなく、駅の近く等 → 近くになくてもかまわない

※斜線の部分は、検討ができなかった項目

サービス		場所							
		1班	2班	3班	4班	5班	6班		
回答のばらつきが小さい	保育	1.0	1.0	3.0	1.0	3.0	4.0	家からの距離の他、送り迎えの経路による(駅の近くや、家と駅の間など)	
	学校教育	1.0	5.5	3.0	1.0	1.0	1.0		同じ場所が良いという班が多い
	学童保育	1.0	6.0	3.0	1.0	1.0	1.0		
回答のばらつきが大きい	子どもの遊び場	5.0	1.0	3.0	1.0	1.0	1.0	災害時に避難拠点となる場所	
	学校で行っている地域開放 (サークル活動等の場の提供)	1.0	7.0	1.0	1.0	1.0	2.5		
	青少年の交流と活動の場	1.0	2.5	3.0	2.0	1.0	3.0	健康な高齢者に対する考え方(手厚くする必要はない、身近にあった方が良い等)で、違いがある	
	高齢者の健康増進	7.0	1.0	6.0	2.0	1.0	3.0		
	高齢者の社会活動支援	3.0	1.0	6.0	2.0	1.0	6.5		
	回答のばらつきが小さい	高齢者の介護、生活支援等	5.0	1.0	6.0	2.0	1.0	1.0	徒歩で利用できない人が多い、送迎等サポートがあれば、遠くてもよい
		サークル活動の場の提供	1.0	2.5	3.0	1.0	3.0	7.5	
		図書サービス (資料収集及び提供)	6.0	3.5	1.0	1.0	1.0	3.5	取り寄せが近くでできれば
		学習の機会や場所の提供	1.0	7.0	3.0	1.0	1.0	6.5	駅近、駐車場、巡回バス等があれば、遠くても良い
		音楽・演劇等の鑑賞	7.0	6.0	1.0	1.0	1.0	4.0	小さい体育館は近くが良い 大きい体育館は遠くても車で行く
展示・イベント等の場の提供	7.0	2.0	1.0	1.0	1.0	6.5			
スポーツ(場の提供)	7.0	6.0	1.0	4.0	1.0	3.0			
回答のばらつきが大きい	スポーツ(指導)	7.0	6.0	1.0	4.0	1.0	3.0	スポーツは駐車場やアクセスが確保できれば、遠くても良い	
	地域活動支援	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	6.5		
	窓口サービス	4.0	4.0	6.0	4.5	4.5	2.0	本庁舎でしかできない手続きがあり支所を利用して いない、手続きをあまり利用していない等	

駅近、ついでに寄れる所、コンビニ、  
他施設内に併設

本庁舎でしかできない手続きがあり支所を利用して  
いない、手続きをあまり利用していない等

## 【サービスの費用負担】

凡例

税金を使って提供すべき ←  → 利用者に負担をもとめるべき

※斜線の部分は、検討ができなかった項目

サービス		費用負担					
		1班	2班	3班	4班	5班	6班
回答のばらつきが小さい	保育	2.0	3.0	2.0	2.5	4.0	2.5
	学校教育	1.0	斜線	2.0	1.0	2.0	1.0
	学童保育	2.5	6.0	2.0	2.5	4.5	4.0
	子どもの遊び場	2.0	2.0	2.0	1.0	斜線	4.0
回答のばらつきが大きい※	学校で行っている地域開放 (サークル活動等の場の提供)	斜線	斜線	5.0	1.0	6.0	7.5
	青少年の交流と活動の場	3.0	斜線	4.5	斜線	斜線	斜線
	高齢者の健康増進	5.0	2.0	4.0	2.5	斜線	3.0
回答のばらつきが小さい	高齢者の社会活動支援	2.0	2.0	3.0	2.5	斜線	3.0
	高齢者の介護、生活支援等	2.0	2.0	1.0	2.5	斜線	2.0
回答のばらつきが大きい※	サークル活動の場の提供	斜線	斜線	6.0	6.5	斜線	7.0
	図書サービス (資料収集及び提供)	4.0	7.0	斜線	2.5	斜線	4.5
	学習の機会や場所の提供	斜線	斜線	4.0	6.0	斜線	2.0
回答のばらつきが小さい	音楽・演劇等の鑑賞	4.0	4.0	斜線	6.0	斜線	7.0
	展示・イベント等の場の提供	4.0	斜線	斜線	4.5	斜線	7.0
	スポーツ(場の提供)	7.0	6.0	斜線	6.5	斜線	7.0
	スポーツ(指導)	7.0	6.0	斜線	6.5	斜線	6.0
	地域活動支援	斜線	斜線	5.0	4.5	斜線	5.0
	窓口サービス	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

子ども関連サービスは税金を使って提供すべき

親がある程度負担するべきでは。施設は市負担、サービスは受益者負担。

もっとNPOやボランティアを募るべき(人を使うシステムをつくるべき)

個人で行うもので、公共が提供する必要はない

受益者が多いため公共サービスで提供すべき、

鑑賞、イベント、スポーツは利用する人・しない人がいるため、利用者が負担  
料金設定を細かく(市内・市外の利用者に分ける)

※交流、健康増進、学習の機会や場所の提供など、比較的身近で提供されるものは、評価が分かれる

## (2) 再編シミュレーション

「サービスと施設について考える」で議論された内容と同様に、学校に子ども関連施設等を複合化することや、利用者が限定されるようなもの(例えばスポーツ)については、集約化の方向で提案がされています。

サービスの集約の提案と併せ、施設が減ることを補完する策として、ミニバスや空家の活用を提案された班が複数ありました。

また、地域の特徴として、鎌倉地域に文化施設が集まっているため、建物は残しつつ、運営を民間委託とする内容や、若者を集めるための方法として、駅近くで公共施設をオフィスを転用する等のアイデアが出されています。

【サービス別の再編アイデア】

地域・班	鎌倉地域		腰越・深沢地域		大船・玉縄地域	
	1班	2班	3班	4班	5班	6班
学校	・保育・子ども関連、福祉関連を複合化(高齢者と子どもは同一施設で活動した方が効果的)	・子育て、学習、消防を複合化	・学校プールの廃止(利用率が低い) ・子ども関連をまとめる	・小中学校の運営を民間委託 ・体育館の地域開放	・学校開放 ・プールの廃止	・教育機能の集約
保育	・学校に複合化	・福祉施設へ複合(多世代交流)	・学校に複合化		・民間委託、小中学校に複合化	
学童保育	・学校に複合化	・学校に複合化	・学校に複合化	学校に複合化	・学校に複合化	・学校に複合化
子どもの遊び場	・学校に複合化	・民間委託	・学校に複合化	空家を利用(機能を点在)	・廃止(学校開放ができれば不要、公園・校庭に)	・学校に複合化
高齢者福祉(健康増進等)	・学校に複合化		・民間委託(設備・サービスの向上)	統合し、プールに複合化	・空家の活用	
福祉(介護、障害者支援等)	・統合、民間委託	・民間委託	・民間委託(料金の補助を行う)	・民間施設の活用(民間の福祉施設もある)	・民間委託、空家の活用(交流施設は対象を限定しない)	・民間委託
図書	・駅近くから他の建物へ	・学校に分散。駅前に貸出窓口設置	・学校に複合化	・維持(移動反対。利用者がいる。)		・学校に複合化
生涯学習	・統合(趣味、学習を一緒にする)		・学校に複合化			・統合
スポーツ	・市営プールの廃止 ・体育館の民間委託	・学習センターに複合化	・民間委託		・武道館に集約(ある程度狭い部屋が多い方が使いやすい)	・武道館に集約
文化施設	・維持(残しておきたい。民営ギャラリーと連携)	・建物は残し、収益施設として民間利用			・芸術館の利用拡大・多目的ホールに転用	
市営住宅			・1箇所を集約	・民間住宅の利用(家賃の補填で対応)	・民間委託	・売却か民間委託
本庁・支所機能		・民間テナントビルに分散(窓口を民間対応)	・1支所を廃止	・維持	・窓口の廃止(市民サービスコーナーに統合)	
消防		・学校に複合化			・複合化	
追加・拡充したい機能 その他	・オフィスが少ないため、駅に近い公共施設をオフィスとして貸し出す	・インキュベーション(若者を集める) ・高齢者サービスの拡大	・保育の拡充(若い人が住みやすく) ・100円バス(遠い施設を利用できる)	・地域包括ケアセンター ・集会所5箇所(多目的施設を分散)	・芸術館の多目的サービス(自分で行う芸術活動の時代→学習センター) ・保育の拡充	・子ども達の総合施設(外で遊べる場) ・高齢者のための施設 ・ミニバスの活用



#### 4. 参加者アンケートの集計結果（平成26年6月28日ご出席の29名の方の回答）

##### ① 市民ワークショップへの参加の動機

1 市の広報やホームページなどを見て、以前から公共施設の再編に興味があったから	9人(33%)
2 市民ワークショップの案内チラシを見て興味を持ったから	10人(37%)
3 その他	8人(30%)

無回答 2人

##### ② 市民ワークショップの内容

6/21	「公共施設再編の取組状況の報告」は理解できましたか				【主なコメント】 ・理解できたが、多くの市民にもっと知らせてほしいと思った。 ・鎌倉市として10年後、20年後に向けてのビジョン等が見えないので、一般論しかわからなかった。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
13人	7人	3人	5人		
	(45%)	(24%)	(10%)	(17%)	
6/21	「発想転換の公共施設再編」(南学氏)は理解できましたか				【主なコメント】 ・全く違う地域の事例の写真を交えて非常に参考になった。 ・新しく効率的な考え方でした。 ・長所と短所と両方を知りたかった。 ・再編、削減、効率化が主でしたが、行政サービスの質の再編もあってほしい。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
14人	7人	5人	3人		
	(48%)	(24%)	(17%)	(11%)	
6/21	ワークショップ(公共サービスの評価)の内容は理解できましたか				【主なコメント】 ・施設とサービス・機能を分離するという考え方をよく理解できたとともに、重要性の認識を深めることができました。 ・グループ討議の時間がもっとあるとよい。役割で考えるというのは良かった。 ・サービス、施設の内容がよく分からない。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
14人	8人	5人	2人		
	(48%)	(28%)	(17%)	(7%)	
6/21 6/28	ワークショップ(公共施設再編シミュレーション)の内容は理解できましたか				【主なコメント】 ・ゲーム感覚で一つ一つの施設の果たしている役割と現状の深い理解もなく、簡単に切り捨てられていた。 ・内容は理解できたのですが、その目的やこのことをどのように鎌倉市が活用していくのかが、よく伝わってこなかったです。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
13人	9人	5人	2人		
	(45%)	(31%)	(17%)	(7%)	
全体	ワークショップに参加して良かったですか				【理由】 ・大変勉強になった。いろいろな市民の考えを知ることができた。こういう機会を是非また設けてほしい。 ・問題をシンプルにするシミュレーションのフレーム、進め方、参加者のモチベーション、効率のいい議論の進行とともに、バランスよく充実感のあるワークショップでした。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
16人	6人	3人	4人		
	(55%)	(21%)	(10%)	(14%)	
全体	ワークショップに参加して公共施設に対する認識は変わりましたか				【変わった点】 ・施設は、ただそこにあればよいと単純に考えていたが、そこに存在させることの難しい側面がいくつもあると分かった。 ・再編の必要性は認識していましたが、市民同士の実感を伴った意見で各施設の必要性、優先度等自分ない視点での認識を持てた。
はい	←	→	いいえ		
4	3	2	1		
13人	5人	3人	8人		
	(45%)	(17%)	(10%)	(28%)	

### ③ 自由意見について

#### 【再編手法について】

- ・ IT 関連が足りなかった印象を持ちました。
- ・ 公共施設の利用率をもっと上げることを考えたい。（利用率が低いから収支が合わない）
- ・ 守るべき施設、民営化はできない施設、再編できない施設。まずそこをしっかりと定めるべきだと思った。その上で、再編できる施設は再編する必要がある。
- ・ 民間の力を用いることも良いが、市民力で市民との協働を是非再編に活かしていただきたい。
- ・ 古い建物を壊すのは簡単だが、歴史的施設は何とか残してほしい。
- ・ 農のセンターとして、地産地消の生産拠点化。
- ・ メガソーラーの導入。
- ・ 緑あふれる住環境への再開発など。
- ・ 行政窓口サービスについて、例えば IT サービスを利用した 24 時間電子市役所的な「サービス」についての検討がほしい。
- ・ 小学校の統廃合はしないという事でしたが、根本的な対策としての検討は必要かと思います。例えば、稲村ガ崎小学校と七里ガ浜小学校を統合して、七里ガ浜小学校に集約し、稲村ガ崎小学校の児童は「スクールバス」で七里ガ浜小学校に運ばば稲村ガ崎小学校を高齢者向け施設として再利用できると思います。札幌の資生館小学校の例を用い、今後の学校の集約化を検討してみてください。
- ・ 県の施設や市の施設の活用を各班の中に活かしてもよかったと考える。
- ・ 今回のメインテーマは、箱物のリニューアルコストの削減だった為、売却・集約等の手段が多かった中で、民間委託も提案された。
- ・ 民間委託、即利用料金アップではならないと思う。利用料金アップは、箱物が遠くなってしまうことに対する”がまん”で済むのに比べ、市民の活動を阻害する度合いがはるかに大きい。
- ・ 寄付された建物は指定管理で経費を掛けるだけでなく、賃貸して収益をあげる方法を考えるのも一つの形だと思った。
- ・ 施設再編の前に、市内の交通渋滞を先に計画してほしい。商業車の乗り入れはよいが、観光客や市民の乗り入れは正月に規制してほしい。それでなければ、施設再編を実行し、他に移転、統合しても活かされない。
- ・ 今後、お金をかけないで、公共施設に赤ちゃんからお年寄りまで多くの市民が集えるようにするために、施設を大切に管理運営していく力を持つ市民が市内に大勢いるので市民に愛される小さな施設を点在させること、大型複合施設で民間が儲かるのではない、それこそ発想の転換をして頂きたいと思います。
- ・ サービスや再編による運営は、地元の事業者、NPO など民間の知識やアイデアを公募し、OPEN な審査のもとに委託すべき。
- ・ 旧鎌地区の担当で、班としてはドラスティックなプランを提案しましたが、他班の発表も各地区それぞれの事情と課題を十分にふまえていて非常に示唆に富んでいました。
- ・ 特に大船、玉縄地区は住宅地の過疎化、高齢化の課題とともに農地を含めた広大な土地のポテンシャルを有効活用することができるし、旧鎌ではできない先進的な地域経営、地域経済モデルを実現できるのではという大きな可能性を感じました。
- ・ 行政サービスのあり方は不変ではないので、利便性を高めてほしい。江東区役所では夜 8 時まで開庁していたり、土日も開庁しています。世の中が 24 時間化しているのに、行政は旧態のままではないか？利便性が高まれば、市役所ではなくて近くのコンビニでまかなえるのという話になるのでは？このような市のあり方を説明してほしい。
- ・ 存続の危機に面する市民団体も出る可能性すらあると思う。利用する団体毎の実態に合わせたキメ細かい行政サービスを考えて欲しいと思いました。
- ・ 岩瀬在住ですが、鎌倉都民にならない為にも道路行政をしっかりとやれば、なくなる様に思う。（トンネルの充実(新設)が交通が良くなると考えます。

#### 【再編シミュレーションの前提条件について】

- ・ 近未来のこととしてとらえたかった。
- ・ どんな町にするかの基本と根本的な財政問題が見えない。
- ・ 「グランドデザイン」がない。
- ・ つまり、20 年後の市としてのコンセプトの提示が必要だと思う。
- ・ 20 年後という想定でしたが、将来像に対する夢とか想像力の面でもう少し広げて頂けたら住みよ

い町づくり楽しい町づくりになれたともいました。

- Methodology として最初にコンセプトづくりから入れば、結果が少し違ったのではないのでしょうか。
- 20年後ではなく、10年後を考えることが重要であろう。作業内容を事前に知る機会も必要であろう。
- 建築設計の立場から。建物の寿命を築年数で判断してほしくない。建築史的な見解もあるし、住民としての思いも建物に込められていることを理解した上で、各施設の活用が歴史文化都市鎌倉には必要であると思います。
- データをワークショップの参加者に事前にもっと出してほしい。施設ごとの歴史、年間維持コスト、耐震工事にどれくらいかかるのか。売却すると収益はどうかなど、データがあれば話も深まったと思う。
- 総括の意見交換でも出ていたが、市のサービス提供の大きな方針、街づくりの大方針、20年後のビジョン（市政、市民の暮らし、市民の構成など）といった大前提を市長や担当部局から説明があって、施設再編コストカット以外の側面での共通の目標、市としての理念、地域ごとの役割分担などの共通認識を持って進められた方がよかったと思う。
- この30年間で、市町村合併が増えて、次には道州制まで予想される。

#### 【ワークショップの進め方について】

- 進行の仕方について、一日目意見を出す時間が無く進んで残念でした。
- ワークショップの司会は市役所、職員がやるべきであり、コンサルタント会社も市民ではないせめて神奈川県内でセレクトしてほしい。再編計画のメンバーにも問題があるであろう。市民で選ぶべきであるし、市民ボランティアの講師も出来る。ペイを払うのはもったいない。市民をバカにしているのではないか。
- 無駄を省くための取組に無駄が多すぎだと感じました。南氏、増井氏、パシフィックコンサルタンツ2名の方、ボランティアでなさっているならともかく、市の予算をどれだけ使っているのか是非公表してください。
- 鎌倉に越してきて、この鎌倉を愛しています。市役所で働いていらっしやらない方が、何人も参加していて、その方たち中心で、もっと民主的に二日を過ごせたのではないかと思います。
- 短い時間で、その中でも度々ストップがかかり、一つ一つの施設の現状に関して、余り知らない人を含め、ゲーム感覚で、無くしたり、統合したり、どんな意味があるのでしょうか。
- ゲーム形式は良いか？ゲームにはまると、どんどん施設を売却する方向に走ってしまう。これはまずい。ゲームの形を再検討してほしい。残すべきものは残すとのコンセプトも必要。
- 今回のワークショップは、進行など全てがパシフィックコンサルタンツに丸投げしていて、人件費を考えただけでも、税金の無駄使いを思いました。鎌倉市の職員の方が、研修しそれを実施すればよかったのでは無いのでしょうか。
- 目的に市民の意見を聞くとはありましたが、それぞれの市民の感じている課題を話す時間も無く、スピードでゲームを進行していく、この手法は子どもじみていて、不快に思いました。実態を掴もうという意図は全く見えず、ゲーム感覚でこの施設は廃止⇒売却⇒経費削減ということのみ目的となり現実的でないバーチャルの中の達成感を味わうことになってしまい、問題を感じました。
- グループ討議でも、よい意見が出されていたのですが、途中で電気をつけたり消したり、説明あつたりで時間足らずでした。でも1グループのコンセプトとこんな街にしたい項目はみんなの思いでまとめられたと思いました。

#### 【ワークショップの参加者募集について】

- 公共施設再編のワークショップというよりも自分の意見を言いたい人ばかりが集まってしまい、新しい意見は少なく、少し残念な感じでした。
- 年齢が高い。若い人がいなければ意味がない。
- ワークショップ日付の設定に無理がある。こういった場なら参加したい人は多くいるはず。申し込みが直前過ぎるし、同じ月の土日の長時間をなかなかさけない働き盛りの30代、40代、託児を設けるなどしてほしい。人選に問題がある。講義中に昼寝をしている年寄りたち。男女比や年齢に偏りがありすぎる。実際に公共施設利用が多いのは主婦じゃないのか。20代～40代がほとんどいない。子育て世代がいないのはどうなのか。
- ワークショップで参加者を居住年数も考慮の上、組み合わせたほうがよいと思う。居住年数の浅い人が活発であると思うが、居住年数に応じて、土地への想いの強さや認識に差があるのは当然のことなので、交流といった意味でも新旧居住者の比率を50/50にした方がよいかと思いました。

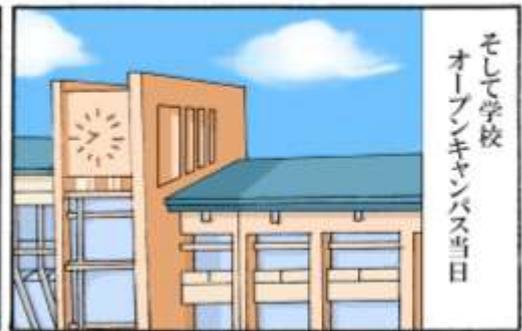
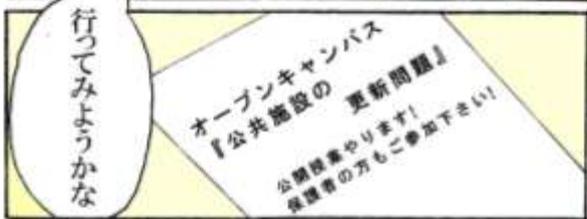
- 極論ですが、高齢者の方は、クレームばかりで後ろ向きな意見が多いので、参加しないでほしいです。代わりにリアルに子育て世代や学生、20代前半のサラリーマン、OLなどを参加促進したほうがいいです。
- 市民に対しての周知が足りず、参加人数も予定より少なかったのではないかと。2週続きの土曜では公共施設をよく利用する主婦、子育て世代の参加はほとんどなく、実態が見えにくいと思いました。

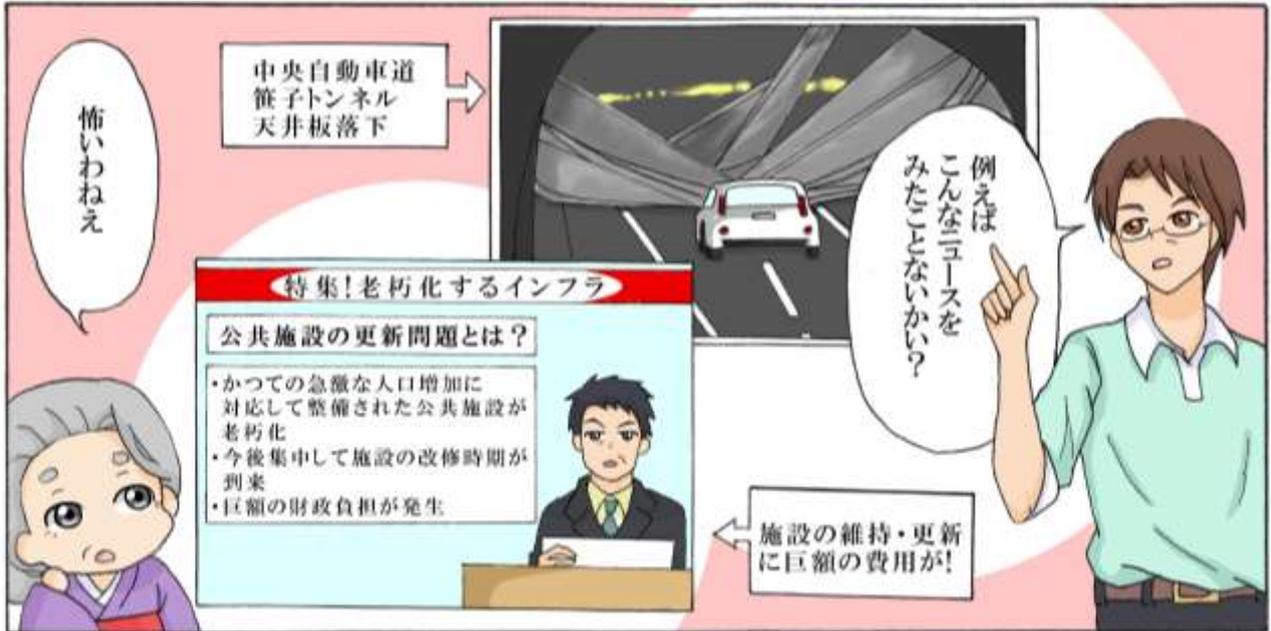
#### 【その他】

- 市役所を無くすというシミュレーションが出てきたことに何を感じられたでしょう。地方自治の基本を担う市役所に対してです。
- 今後も市民の意見を聞く機会を設けてほしい。
- 公共施設の再編については、より多くの市民の意見をくみ取り、集約し、その上で専門家の方と市が具体的に進めていくべきものだと思うので、このようなワークショップよりもより多くの市民の方に情報を提供し（インターネットだけでなく）、具体的な意見を聞く場を設ける方が良いのではないかと思います。
- 情報公開の立場から、市民感覚の新しい発想で充実したワークショップになったという曖昧な結論にしないで、参加者から指摘があった数々の問題点を全て議事録として公開され、次回以降、改善していただきたいと思います。
- 行政施策にどのような影響を与えるのか。今後のまとめ作業結果が公開されると良い。

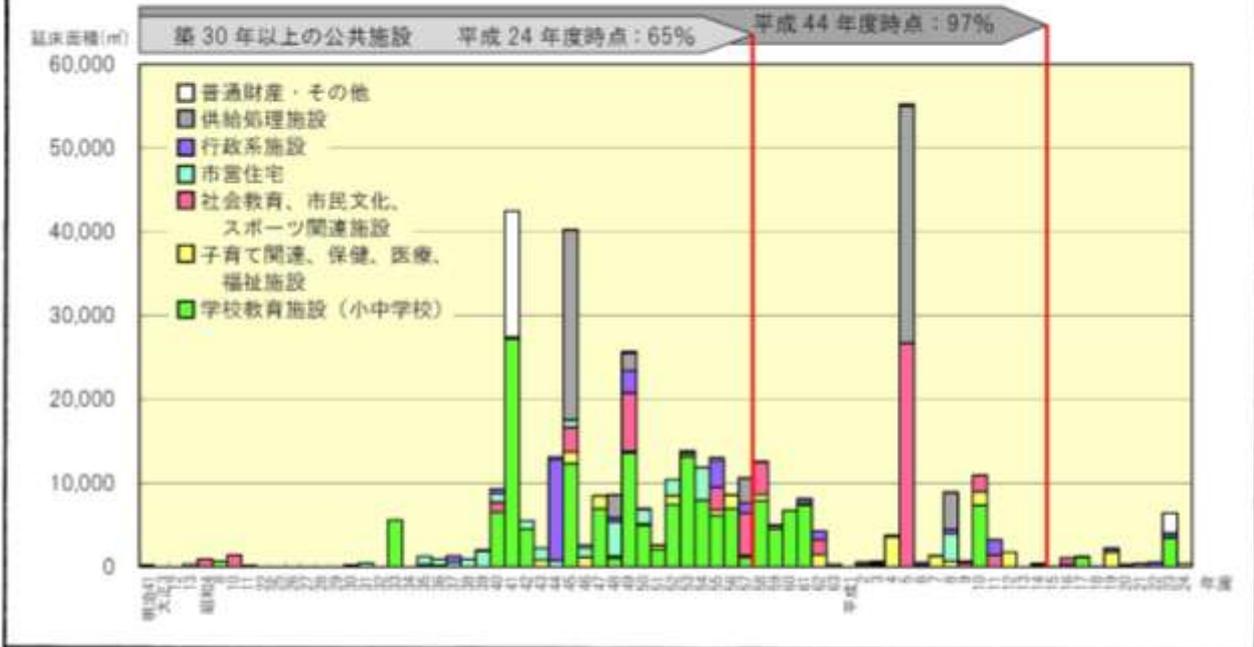


※作品中に登場する人物は実在しません。





【 公共施設の築年別整備状況 】



**築30年以上の公共施設**

平成24年度 65% だったのが・・・  
↓20年後  
平成44年度 97% に！

**老朽化した建物が増加**

つまり

鎌倉市の公共施設は昭和40年代から50年代に多くつくられている

上の図を見てください

おばあちゃん、そんな簡単にいくかしら？

でも建て替えや改修をすれば問題ないよね

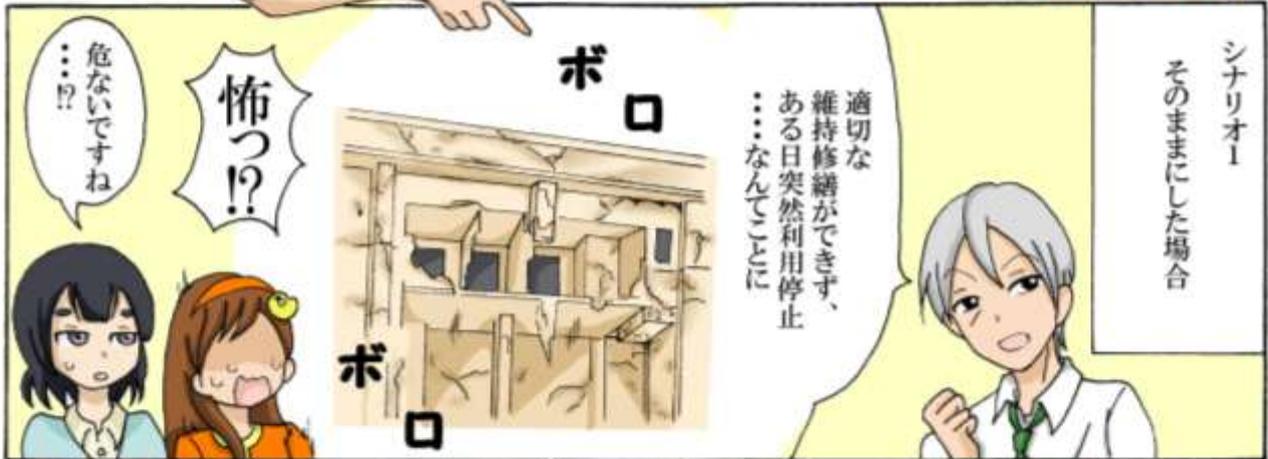
公共施設は税金でつくって維持管理しているわよね？

うん

少子高齢化とか

社会保障の増加

国や市も財政状況が厳しいと思うの



**公共施設マネジメントの3原則**

- 1 財政負担の小さな公共サービスの実現
- 2 財政と連動した適切な施設保全
- 3 市民が誇れる施設のあり方

こんなのはどうだ？

鎌倉市は公共施設を再編するための基本方針をつくっている

あー、もうどうすればいいの？

解決策はないのですか先生

小町ちゃん

何それ

ポム

①にはいろんな方法があるぞ

① 財政負担の小さな公共サービスの実現

複合化 IT化 一部民営化

統廃合 広域連携

簡単に説明するとこんな感じだ

① 行政サービスのあり方を見直すこと

③ 市民が誇れる施設のあり方

市民力

市民と力を合わせ施設運営をすること

歴史文化 景観への配慮もしていくことだ

② 財政と連動した適切な施設保全

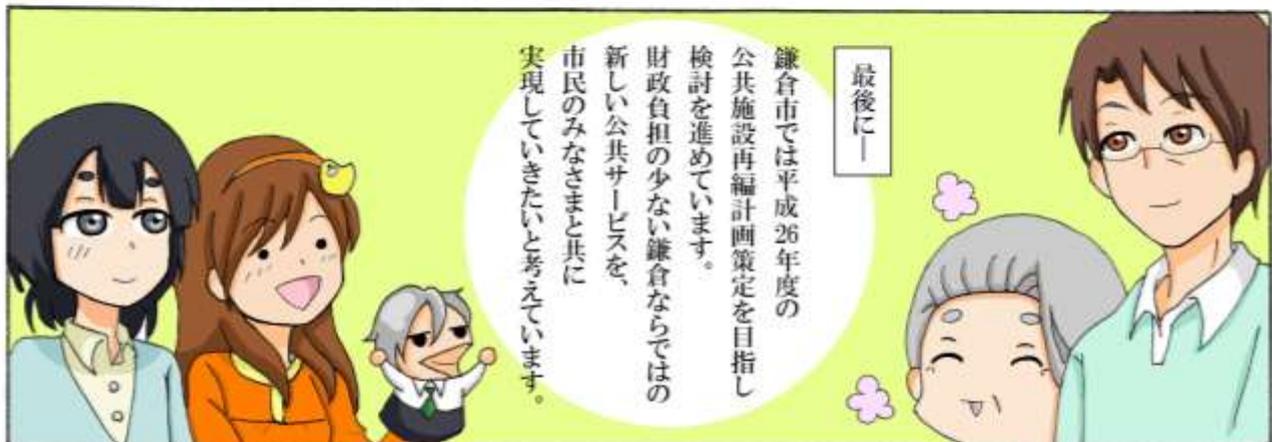
ポロポロ

まだ平気

② 計画的に建替えや改修を進めること

財政を考えて順番を決める!





発行年月 平成25年 10月

発行者 鎌倉市経営企画部経営企画課公共施設再編推進担当  
TEL 0467-23-3000 内線 2565  
Eメール [facility@city.kamakura.kanagawa.jp](mailto:facility@city.kamakura.kanagawa.jp)

制作協力 鎌倉女子大学 学生センター  
鎌倉女子大学 作画研究部

遠藤志保 河原朋香 松坂美羽